

平成23年度
教育に関する事務の管理及び執行
の状況の点検並びに評価結果報告書
(平成22年度対象)

平成23年8月

高石市教育委員会

目 次

1. 点検・評価の概要	2
2. 点検・評価の手法	2
3. 教育委員会委員	4
4. 教育委員会会議状況	4
5. その他教育委員の活動について	7
6. 教育委員会事務局の組織	8
7. 事務局事務分掌	8
8. 決算額の推移	12
9. 平成22年度点検評価シート	
点検評価一覧表	13
健康教育（学校給食の適正な運営管理）	14
学校教育施設の耐震化及び教育環境の整備・充実	15
幼児教育のあり方（認定こども園へのスムーズな移行）	16
幼稚園教育	17
教育行政に関する広報活動	18
信頼される学校づくりの推進と工夫・改善	19
生徒指導	20
学習指導（児童生徒の学力向上に向けた取組み）	21
教職員の資質と指導力の向上	22
支援教育の充実	23
道徳教育・人権教育の充実と推進	24
青少年の健全育成（子ども元気広場、あおぞら児童会）	25
生涯学習の推進	26
生涯スポーツの振興	27
文化財の保護と市民の郷土愛の高揚	28
読書活動の推進（学校支援）	29
文化・芸術の振興	30
高石市教育委員会における教育に関する事務の管理 及び執行の状況の点検並びに評価委員	31
【委員からのご意見】	31
【教育委員会としての総括】	32
資料目次	33

1. 点検・評価の概要

【経緯】

平成 18 年 12 月に教育基本法の改正が行われ、更に平成 19 年 3 月に出された中央教育審議会答申などを踏まえて「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）が改正されました。（平成 20 年 4 月施行。）

この改正の趣旨は、「教育委員会の責任体制の明確化」とされており、その一つとして、同法第 27 条の規定により、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価（以下「点検・評価」という。）を行うこととされました。

これを受け、高石市教育委員会としても教育行政の点検・評価を行うこととするものです。

【目的】

教育委員会は、市長から独立した立場から教育に関する事務を担当する機関として、地方自治体に設置されているものであり、複数の教育委員による合議により意思決定を行い、事務職員等により構成される教育委員会事務局に対し、指揮監督を行っているものです。

今般行おうとしている点検・評価は、地教行法第 27 条に基づき、教育委員会が事務の管理及び執行の状況を自らチェックし、併せて学識経験者等による意見も聴取するものです。

そして、その結果を公表することにより、市民への説明責任を果たすと共に、点検・評価の結果を受け、必要に応じ事務事業の見直しに反映するなど、効果的な教育行政の推進に資するものです。

2. 点検・評価の手法

【対象事業】

今回の点検評価の対象は、地教行法で教育委員会の職務権限とされている事務のうち、平成 22 年度に実施されたものとします。

また、評価の単位は、主に本市教育委員会が策定した平成 22 年度の教育基本方針に掲げた施策体系を基に、教育委員会事務局各担当課の主要な施策・事業を抽出整理したものとします。

平成 22 年度教育基本方針施策体系

学 校 教 育

1. 適正な学校経営の確立
2. 教職員の服務規律
3. 教職員の資質の向上
4. 人権尊重の教育
5. 障がいのある幼児・児童・生徒の教育の充実
6. 学習指導
7. 道徳教育
8. 安全教育
9. 生徒指導
10. 進路指導の充実

11. 健康教育
12. 幼稚園教育

社 会 教 育

1. 生涯学習の推進
2. 青少年の健全育成
3. 文化・芸術の振興
4. 読書活動の推進
5. 社会教育施設の連携
6. 人権啓発の推進
7. 文化財の保護
8. 高石市ふるさと村の活用
9. スポーツの普及振興

【実施方法】

施策ごとに目標の設定を行い、目標に対する主な取組、実績、それによる効果及び課題について整理したうえで、施策の達成度を各担当課において自己評価するとともに、学識経験者等の意見（評価）も踏まえながら、今後の教育行政に生かすために総括を行うこととします。

①点検・評価の年次

前年度（平成22年度）の事務の管理及び執行状況についての点検・評価

②点検・評価の単位

施策単位に評価

③点検・評価の分類

主に教育基本方針に掲げた施策体系を基に、教育委員会事務局各担当課の懸案事項など主要な施策・事業を抽出整理し、点検評価シートを作成する。

④点検・評価の観点

- ・個々の取り組みや事業全体の実施状況及び進捗状況はどうか
- ・施策目標に対する実績及び成果、効率性はどうか
- ・今後の課題や改善策について検討しているか

なお、目標に対する達成度（自己評価）については、以下の通りの基準で行う。

- A（達成）：事業の内容が評価年度に予定していた計画どおり実行されている。
- B（ほぼ達成）：事業の内容が評価年度に予定していた計画どおりほぼ実行されている。
- C（達成に向け進捗）：事業の内容が評価年度に予定していた計画どおり実行できていないが、方向性を確認したうえで達成にむけて進んでいる。
- D（未達成）：事業の内容が評価年度に予定していた計画どおり実行されていない。

3. 教育委員会委員

役 職	氏 名	任 期
委員長	宇田川 誠一 うだがわ せいいち	H26.10.1 まで
委員長職務代理者	西中 隆 にしなか たかし	H27.6.17 まで
委員	原田 文壽 はらだ ふみとし	H24.3.5 まで
委員	西村 陽子 にしむら ようこ	H24.9.30 まで
教育長	佐野 慶子 さの けいこ	H24.9.30 まで

4. 教育委員会会議状況

区分	開催日	議決内容
4 月定例会	4 月 14 日	承認 4 件 報告 職員の人事異動について 社会教育委員の委嘱について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
5 月定例会	5 月 12 日	原案可決 2 件 承認 3 件 議案 高石市教育委員会公印規則の全部改正について 高石市幼稚園条例施行規則の一部改正について 報告 認定こども園の工事等の状況について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
5 月臨時会	5 月 18 日	承認 1 件 報告 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成 19 年度対象)の実施について
6 月定例会	6 月 9 日	原案可決 2 件 承認 8 件 議案 平成 22 年度高石市学校評議員の委嘱について 高石市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について 報告 市長からの意見聴取について 平成 23 年度使用教科用図書採択に係る選定委員会委員の任命等について 高石市社会教育委員の委嘱について 取石幼稚園の廃園に伴う市立幼稚園通園区域の一部変更について 高石市教育委員会における教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価実施要綱の制定について 学校教育施設等耐震化の状況について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について

7月定例会	7月14日	原案可決 2件 承認 2件 議案 平成23年度小学校及び中学校における使用教科用図書の採択について 平成23年度大阪府学力・学習状況調査への参加について 報告 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
8月定例会	8月11日	原案可決 2件 承認 3件 議案 平成22年度第3回市議会定例会提出議案にかかる地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定による意見聴取について 高石市立ふれあいゾーン複合センター条例の一部改正等に伴う関係規則等の整理に関する規則等の制定について 報告 職員の口頭厳重注意について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
8月臨時会	8月25日	承認 1件 報告 平成20年度、平成22年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価結果報告書（平成19年度、平成21年度対象）について
9月定例会	9月8日	選挙 1件 原案可決 2件 承認 5件 選挙 高石市教育委員長の選挙について 議案 高石市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則について 郷土史研究委員の委嘱について 報告 市長からの意見聴取について 職員の人事異動について 学校園におけるハラスメント防止の対応に関する指針について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
10月定例会	10月13日	原案可決 1件 承認 4件 議案 高石市教育委員会表彰について 報告 条件付採用職員の正式採用について 高石市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
11月定例会	11月10日	承認 2件 報告 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
12月定例会	12月15日	原案可決 2件 承認 4件 議案 高石市教育委員会公印規則の一部改正について 平成23年度高石市立小中学校教職員人事基本方針及び取扱いの上の留意事項の策定について

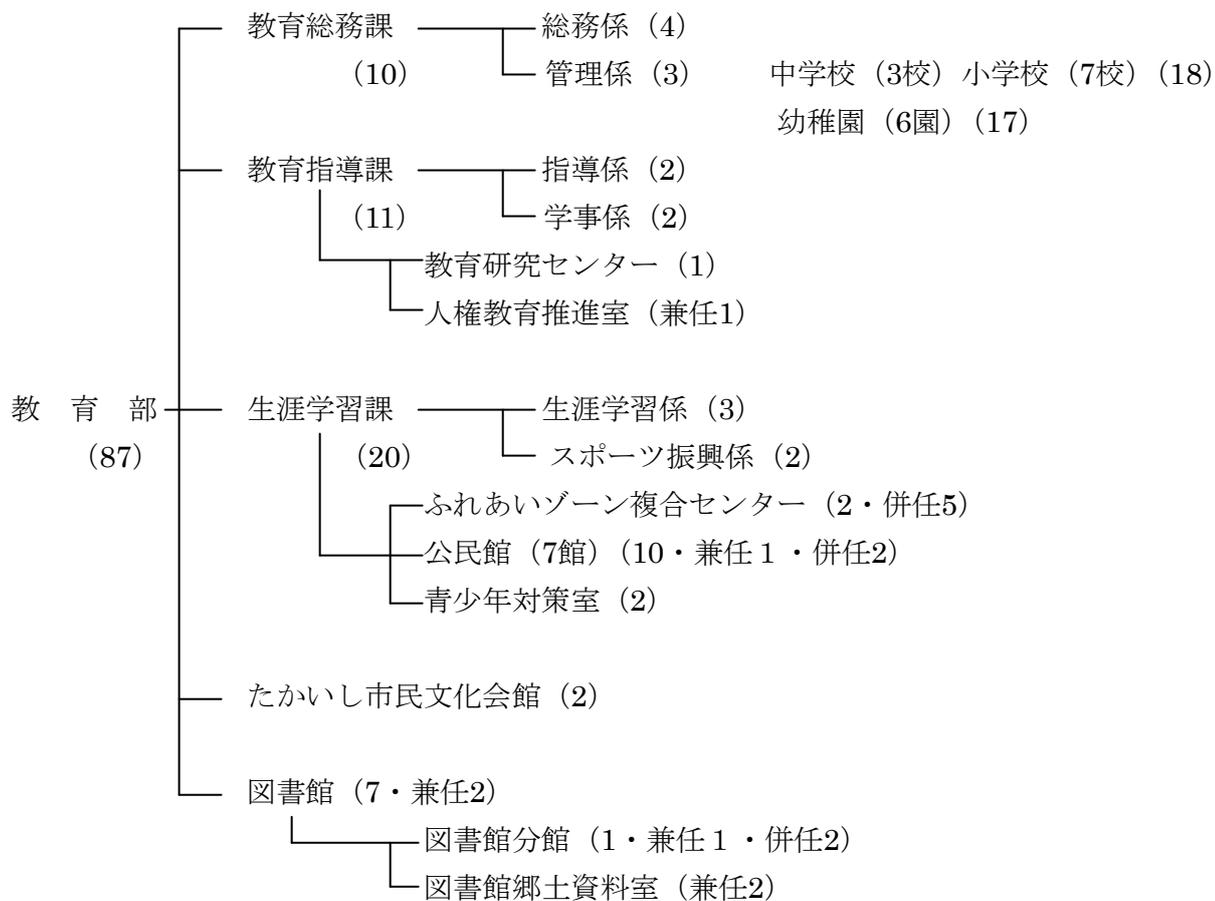
		報告 市長からの意見聴取について 職員の口頭厳重注意について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
1月定例会	1月12日	原案可決 1件 承認 2件 議案 平成23年度教育費予算の要求について 報告 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
2月定例会	2月9日	原案可決 3件 承認 2件 議案 高石市職員の休日等の臨時特例に関する条例の廃止に伴う関係規則の整理に関する規則について 高石市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正について 高石市公民館運営審議会委員の委嘱について 報告 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
3月定例会	3月9日	原案可決 6件 承認 3件 議案 平成23年度教育基本方針について 平成22年度末及び平成23年度当初の教育委員会事務局職員及び委員会の所管に係る学校その他の教育機関の職員の人事異動について 高石市立学校に勤務する教育職員の勤務時間の適正な把握のための手続きに関する試行実施要領策定について 高石市社会教育委員の委嘱について 高石市体育指導委員の委嘱について 高石市公民館運営審議会委員の委嘱について 報告 市長からの意見聴取について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について

5. その他教育委員の活動について

月 日	場 所	行 事 名
4月6日	アウィーナ大阪	平成22年度市町村教育委員会委員長・教育長会議
4月6日	市立小学校	平成22年度入学式
4月7日	市立中学校	平成22年度入学式
4月8日	市立幼稚園	平成22年度入園式
4月22日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会 平成22年度総会・4月定例会・送別会及び懇談会
4月27～28日	ホテル日航奈良	平成22年度近畿都市教育長協議会定期総会
5月13日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育委員会連絡協議会第1回役員会
5月18日	アウィーナ大阪	平成22年度大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会
5月30日	各小学校	運動会
6月2日	東羽衣小・加茂小 高石幼・羽衣幼	新任・転任校園長校 学校訪問・幼稚園訪問
6月3日	高石小・取石中	転任校長校 学校訪問
6月8日	取石幼	転任園長校 幼稚園訪問
6月7日～18日	各幼稚園	第1回教育課程に係る幼稚園訪問（ヒアリング）
6月21日 ～7月2日	各小中学校	第1回教育課程に係る学校訪問（ヒアリング）
7月2日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会7月定例会
7月23日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会夏季研修会
8月26日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会定例会
8月30日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育委員会連絡協議会第2回役員会
10月1日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会10月定例会
10月15日	貝塚市民文化会館	平成22年度近畿市町村教育委員研修大会
10月21日 ～22日	奈良ロイヤルホテル	平成22年度近畿都市教育長協議会研究協議会
11月15日	アウィーナ大阪	平成22年度大阪府市町村教育委員研修会
11月17日	阪南市商工会館	平成22年度大阪府都市教育長協議会秋季研修会
11月19日	KKRホテル大阪	平成22年度大阪府・市町村教育委員意見交換会
11月25日	高石中・清高小・加茂幼	学校園訪問
11月29日	高陽小・高陽幼	学校園訪問
11月30日	岸和田だんじり会館	平成22年度大阪府都市教育委員会連絡協議会 泉北・泉南ブロック都市教育委員研修会
1月14日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会 1月定例会
1月27日	アウィーナ大阪	平成22年度大阪府都市教育委員会委員長研修会
2月2日	アウィーナ大阪	平成22年度近畿都市教育長協議会第3回役員会

6. 教育委員会事務局の組織

()内は、平成22年4月1日現在の職員数。なお、部長・課長等を部・課レベルに含むため、各々の計が一致しない部分がある。また、再任用(8)・再雇用(6)職員を含む。



7. 事務局事務分掌

教育部

教育総務課

総務係

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育委員会の規則の制定及び改廃の事務に関すること。
- (3) 公印の保管に関すること。
- (4) 文書及び物品の收受並びに発送に関すること。
- (5) 情報公開の総合調整に関すること。
- (6) 証書及び公文書の保管に関すること。
- (7) 表彰に関すること。
- (8) 教育行政に係る広報及び公聴に関すること。
- (9) 人事(府費負担職員を除く。)に関すること。
- (10) 幼稚園児の募集及び入退園に関すること。

- (11) 就園奨励事業に関する事。
- (12) 学校給食に関する事。
- (13) 部及び課の庶務に関する事。

管理係

- (1) 学校施設の整備計画及び事業の推進に関する事。
- (2) 学校の設置及び廃止に関する事。
- (3) 学校施設の管理に関する事。

教育指導課

指導係

- (1) 学校教育の企画に関する事。
- (2) 学校教育計画(教育課程、組織及び編成)の指導に関する事。
- (3) 学校教育における研究会、研修会等に関する事。
- (4) 特別支援教育に関する事。
- (5) 学校行事に関する事。
- (6) 教科用図書及び教材の採択並びに取扱いの指導に関する事。
- (7) 教職員の指導及び研修に関する事。
- (8) 生徒指導に関する事。
- (9) 進路指導に関する事。
- (10) 安全教育に関する事。
- (11) 教育相談に関する事。
- (12) 高石市立教育研究センターに関する事。
- (13) 学校教育についての専門事項に関する事。
- (14) 課の庶務に関する事。

学事係

- (1) 学籍及び就学に関する事。
- (2) 通学区域の設定及び変更に関する事。
- (3) 学校の統計及び調査に関する事。
- (4) 就学援助及び扶助に関する事。
- (5) 教科用図書の給与事務に関する事。
- (6) 学級編成に関する事。
- (7) 人事(市費負担職員を除く。)に関する事。
- (8) 奨学金の貸付に関する事。
- (9) 学校保健に関する事。
- (10) 学校園災害共済給付に関する事。
- (11) 学校医の委嘱及び連絡調整に関する事。

人権教育推進室

- (1) 同和問題をはじめとする学校の人権教育(以下この項において「人権教育」という。)における総合企画調整及び推進に関する事。
- (2) 人権教育における指導及び研修に関する事。
- (3) 人権教育における関係機関との連絡調整に関する事。
- (4) その他人権教育における専門事項に関する事。

教育研究センター

- (1) 教育に関する専門的事項の調査研究
- (2) 教育関係職員の研修
- (3) 教育に関する資料の収集及び作成
- (4) 教育相談
- (5) その他教育委員会が必要と認める事項

生涯学習課

生涯学習係

- (1) 社会教育委員等に関すること。
- (2) 生涯学習の企画、立案及び推進に関すること。
- (3) 社会教育における同和問題をはじめとする人権教育に関すること。
- (4) 社会教育関係団体の事務及び指導助言に関すること。
- (5) 社会教育関係事業に関すること。
- (6) 社会教育施設の建設計画等に関すること。
- (7) 社会教育施設の設置及び廃止に関すること。
- (8) 郷土史研究及び市史に関すること。
- (9) 文化財の発掘、保存等に関すること。
- (10) 課の庶務に関すること。

スポーツ振興係

- (1) スポーツ振興のための各種教室及び事業に関すること。
- (2) 体育指導委員等に関すること。
- (3) スポーツ振興関係団体の事務及び指導助言に関すること。
- (4) 体育相談事業に関すること。
- (5) 社会体育施設の建設計画等に関すること。
- (6) 社会体育施設の設置及び廃止に関すること。
- (7) 高石市立体育館に関すること。

青少年対策室

- (1) 青少年指導員等に関すること。
- (2) あおぞら児童会の管理運営に関すること。
- (3) 子ども元気広場推進事業に関すること。
- (4) 青少年関係団体に関すること。
- (5) 青少年健全育成に関すること。
- (6) その他青少年対策に関すること。

ふれあいゾーン複合センター

- (1) 複合センターの総合管理に関すること。
- (2) 複合センター内の市長の所管に属する施設との連絡及び事務の相互協力に関すること。
- (3) 管理組合に関すること。
- (4) 婦人文化センター・温水プールの管理及び運営に関すること。
- (5) 婦人文化センター・温水プールの使用許可並びに使用料の徴収及び還付に関すること。
- (6) 婦人文化センター・温水プールの庶務に関すること。

たかいし市民文化会館

- (1) 文化会館の総合管理に関する事。
- (2) 市民文化ホール及び生涯学習センターに関する事。
- (3) 生涯学習施設・機関の情報収集及び提供等に関する事。
- (4) 生涯学習ネットワークに関する事。
- (5) 文化及び芸術の振興に関する事。
- (6) 文化会館の市長の所管に属する施設との連絡調整に関する事。
- (7) アプラたかいし管理協議会との連絡調整に関する事。

図書館

- (1) 図書館の図書、記録その他資料の収集、整理及び保存
- (2) 個人貸出し及び団体貸出し
- (3) 読書案内、読書相談及び参考調査
- (4) 読書会、研究会、講演会、鑑賞会、資料展示会等の主催及び奨励
- (5) 読書団体との連絡、協力及び団体活動の促進
- (6) 他の図書館、学校、公民館等との連絡及び協力
- (7) 郷土資料の収集、保管、展示等
- (8) その他図書館の目的達成のための必要な事業

8. 決算額の推移（平成20年度～平成22年度）

（単位：円）

款	項	目	20年度	21年度	前年度比較	22年度	前年度比較
10		教育費	2,172,840,433	2,981,394,543	808,554,110	5,350,653,869	2,369,259,326
	1	教育総務費	316,386,692	353,527,116	37,140,424	311,091,392	△42,435,724
		1 教育委員会費	9,520,931	10,182,557	661,626	10,471,074	288,517
		2 事務局費	214,719,267	247,072,645	32,353,378	209,598,590	△37,474,055
		3 教育指導費	89,026,943	92,168,065	3,141,122	87,921,648	△4,246,417
		4 教育研究センター費	3,119,551	4,103,849	984,298	3,100,080	△1,003,769
	2	小学校費	695,162,840	1,221,778,032	523,615,192	2,858,789,067	1,637,011,035
		1 学校管理費	645,286,095	975,502,972	330,216,877	2,804,125,173	1,828,622,201
		2 教育振興費	49,876,745	246,275,060	196,398,315	54,663,894	△191,611,166
	3	中学校費	285,058,706	527,076,693	242,017,987	1,242,002,942	714,926,249
		1 学校管理費	258,576,515	432,089,513	173,512,998	1,214,235,911	782,146,398
		2 教育振興費	26,482,191	94,987,180	68,504,989	27,767,031	△67,220,149
	4	幼稚園費	261,939,413	264,714,552	2,775,139	354,788,836	90,074,284
		1 学校管理費	221,946,447	217,995,691	△3,950,756	305,376,742	87,381,051
		2 教育振興費	39,992,966	46,718,861	6,725,895	49,412,094	2,693,233
	5	社会教育費	486,843,317	485,483,221	△1,360,096	492,492,347	7,009,126
		1 社会教育総務費	135,584,079	138,813,343	3,229,264	159,006,148	20,192,805
		2 公民館費	90,508,808	93,766,446	3,257,638	82,477,148	△11,289,298
		3 遺跡事業費	4,323,435	4,154,824	△168,611	3,202,226	△952,598
		4 図書館費	111,401,975	109,185,612	△2,216,363	115,188,738	6,003,126
		5 婦人文化センター費	7,702,549	9,601,583	1,899,034	2,439,020	△7,162,563
		6 ふるさと村費	8,392,736	9,193,393	800,657	9,265,626	72,233
		7 市民文化会館費	128,929,735	120,768,020	△8,161,715	120,913,441	145,421
	6	保健体育費	127,449,465	128,814,929	1,365,464	91,489,285	△37,325,644
		1 保健体育総務費	33,603,868	39,515,550	5,911,682	22,763,419	△16,752,131
		2 社会体育施設費	93,845,597	89,299,379	△4,546,218	68,725,866	△20,573,513

9. 平成 22 年度点検評価シート

点 検 ・ 評 価 一 覧 表		
課 名	項 目	達 成 度
教育総務課	健康教育（学校給食の適正な運営管理）	B
	学校教育施設の耐震化及び教育環境の整備・充実	A
	幼児教育のあり方 （認定こども園へのスムーズな移行）	A
教育指導課	幼稚園教育	B
	教育行政に関する広報活動	B
	信頼される学校づくりの推進と工夫・改善	B
	生徒指導	B
	学習指導（児童生徒の学力向上に向けた取組み）	B
	教職員の資質と指導力の向上	B
	支援教育の充実	B
	道徳教育・人権教育の充実と推進	A
生涯学習課	青少年の健全育成 （子ども元気広場、あおぞら児童会）	A
	生涯学習の推進	B
	生涯スポーツの普及振興	B
	文化財の保護と市民の郷土愛の高揚	B
図 書 館	読書活動の推進（学校支援）	B
たかいし市民文化会館	文化・芸術の振興	B

項 目	健康教育（学校給食の適正な運営管理）
-----	--------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

【目標】

効率的な学校給食の運営を図るとともに、安全、安心、おいしい給食の提供を図っていく。
 また現在の学校給食調理職員の配置状況や施設整備の状況、更には学校栄養職員の配置状況等を勘案し、残りの各小学校においても順次調理業務の委託を進める。

【主な取組み及び実績】

- ・委託校において試食会を行い、子ども・保護者からもおいしいという声が聞かれた。
- ・厚生労働省の大量調理施設衛生管理マニュアルの改正を踏まえ、本市の学校給食衛生管理マニュアルを見直すことにより、食中毒の発生防止等、さらなる衛生管理の改善に努めた。
- ・平成22年度末をもって小学校3校の委託契約が終了することから、平成23年度から平成25年度までの給食調理業務委託を実施。

	委託料	喫食数	
高石小学校	12,442,500円	62,725食	
高陽小学校	16,695,000円	120,696食	
加茂小学校	16,222,500円	120,367食	(資料 P. 34～36)

【取組みの効果】

- ・給食調理業務委託により、効率的な学校給食の提供が図れている。(資料 P. 37、38)

小学校給食直営・委託経費

1校当たり単価(円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
直営校	26,301,478	32,991,588	33,047,376	37,569,933	37,762,609
委託校	0	14,865,513	15,061,855	16,027,072	16,212,361

- ・安全面や衛生管理面においても、直営校と同等の給食の質が確保できた。
- ・委託校においても、子どもたちから「おいしい」、「給食が楽しみ」などの声があり、また食べ残しが減った等のことから、おいしい給食の提供が図れた。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・喫食数、調理員の配置数を考慮しつつ、さらに委託を進めていく。
- ・中学校給食の導入に向けて、生徒、保護者、教員及び専門家等の意見を聞きながら進めていく。

項 目	学校教育施設の耐震化及び教育環境の整備・充実
-----	------------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

【目標】

平成 21 年 6 月に策定された「第三次高石市学校教育施設耐震化計画“スクール・ニューディール”」に基づき、I s 値が 0.3 以上の残りすべての校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を実施し、耐震化率 100 パーセントの達成を実現する。

また耐震化と同時に大規模改修工事を実施し、学校施設の安全・安心を確保するとともに、学校 ICT の整備など最先端の教育環境の整備を図る。

【主な取組み及び実績】

上記の目標通り、「第三次高石市学校教育施設耐震化計画“スクール・ニューディール”」に基づき、I s 値が 0.3 以上の残りすべての校舎及び屋内運動場について、耐震補強＋大規模改修 37 棟、大規模改修のみ 12 棟、改築 2 棟を実施した。

また各学校に太陽光パネルを設置し、太陽光発電等の自然エネルギーの利用をはじめとしたエコ改修を実施し、その中でも高陽小学校の改築校舎棟（南棟）については、エコスクール・パイロットモデル事業として LED 照明や省エネ型空調を設置、屋上緑化・壁面緑化、緑化部分に散水する為の雨水利用、一部内装の木材利用、リサイクル建材を利用したデッキの設置など、総合的なエコ校舎として整備した。

更に学校教育の情報化の観点から校内 LAN の設置・地上デジタル放送対策を実施し、併せて情報機能の整備を行った。
(別添資料 たかいしスクール・ニューディール)

【取組みの効果】

- ・耐震化 100% 達成と大規模改修工事の実施により、全国ワースト 1 位であった本市の耐震化率が一気に 100 パーセントを達成することができ、学校施設の安全・安心を確保することができた。
- ・各学校に行ったエコ改修により、CO₂削減による環境負荷の低減と環境教育の教材として利用できる環境が整った。
- ・学校 ICT の整備により、校務の効率化を図ることができるとともに、子どもの学力・情報活用能力の向上が期待できる最先端の教育環境が整備された。

【達成度】

A

【今後の課題】

学校校舎の耐震化は達成できたが、今後予想される南海大地震などに備え、非構造部材の耐震化及び学校施設の防災機能の強化などを進めていく必要がある。また教育環境の整備においてハード面だけではなく、環境教育や情報モラル教育など、ソフト面での充実を図る努力も求められる。

また幼稚園施設の耐震化については、市の耐震化計画に則って進めていく必要がある。

項 目	幼児教育のあり方（認定こども園へのスムーズな移行）
-----	---------------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

【目 標】

平成21年11月「高石市の幼児教育のあり方検討委員会」においてまとめられた報告書を踏まえて、これからの高石の幼児教育の方向性・課題について、財政状況を勘案しつつ市民の声にも十分配慮しながら施策の展開に努める。平成22年度においては市立取石幼稚園と市立取石保育所の取石認定こども園への円滑な移行を実施する。

（別添資料『高石市の幼児教育のあり方について』報告書）

【主な取組み及び実績】

- ・「高石市立取石幼稚園及び取石保育所の移管に伴う保育の引継ぎに関する協定書」を締結し、前1年間引継ぎのための教員を取石幼稚園に受け入れた。また法人との間で定期的に引継ぎ会議を実施した。
（資料P.39~41）
- ・認定こども園での給食が自園調理であることから、取石幼稚園の給食に自園調理の取石保育所の給食を利用した。
- ・認定こども園への移行を決定した年度中までに出生している者を対象として、保育料等の保護者負担を公立幼稚園並になるよう補助制度を新たに設けた。

【取組みの効果】

- ・平成23年4月に民営化する認定こども園のスタートに向け、説明会を開き保護者の意見を聴くとともに、幼稚園・保育所と運営法人が連携して引継ぎ保育を順調に行うことができた。
- ・平成22年度に取石幼稚園の4歳児であった園児のほとんどがそのまま取石認定こども園に入園した。（平成22年度 4歳児16名→平成23年度 5歳児15名）

【達成度】

A

【今後の課題】

公立・私立幼稚園の地域的な偏在や耐震性の状況も考慮しつつ、市民の選択の幅を狭めないよう配慮しながら、再編により規模の適正化を図り、教育上適切な集団活動が実施できる教育環境を整備する必要がある。その際には取石幼稚園同様にスムーズに移行できるよう取り組む必要がある。

項 目	幼稚園教育
-----	-------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

遊びや生活を通して、人とのかかわり方、自然やものとのかかわり方、ルールや生活の仕方を身につける多様な環境構成を工夫して、幼稚園教育要領に則した幼児期の育ちや学びを充実させる保育活動を展開する。また、幼・保・小の連携を図りながら幼児の実態や発達段階を踏まえた幼稚園教育の充実に努める。

特に、今年度も昨年度から引き続き、幼稚園教員の更なる資質の向上にむけてさまざまな研修を実施し、改訂された幼稚園教育要領にもとづく保育の充実をはかる。

【主な取組み及び実績】

・幼小連携の一つとしての若手幼稚園教諭による「小学校教育体験活動」を実施するための実施計画案の作成に向けて取り組んだ。(資料 P.42、43)

・幼稚園教育要領にもとづく保育の充実に向けて、主査研修会の内容の充実を図った。(資料 P.44)

- <内容>
- ・支援教育に係る就学及び進路指導について
 - ・発達障害について
 - ・小学校における食育の取組みについて
 - ・児童虐待について

【取組みの効果】

・幼小連携の一つとしての若手幼稚園教諭による「小学校教育体験活動」を実施するための実施計画案ができた。

・「幼稚園担任や支援を必要とする幼児たちの保護者」からの発達相談へと繋ぐことができた。

・各幼稚園の中核となる主査に対して、小学校栄養教諭による「食育」や、教育指導課による「児童虐待」に係る研修等を実施し、幼小連携の重要性を周知できた。

【達成度】

B

【今後の課題】

幼小連携の具体的な取り組みとして、次年度は「幼稚園若手教諭による小学校教育体験活動」を実施し、「幼小中 11 年間を見通した子どもの育ちと学び」「発達段階に応じた一貫性のある保育指導の充実」を図る。

また、幼稚園若手教諭の専門性と指導力の向上をめざし、幼小連携教育、学級経営、保育指導等についての研修を行い小学校教育への理解を深め、幼稚園教諭としての資質の向上を図る。

項 目	教育行政に関する広報活動
-----	--------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

情報公開を積極的に推進するとともに、高石市の教育行政としての考えを周知する活動を行う。
特に、今年度、学力向上に関して市民に公表することで、広く情報提供を行い、子どもの学習状況に関する関心を高める。

【主な取組み及び実績】

- ・平成 22 年度全国学力・学習状況調査は、抽出調査のため、市内の結果公表は不可能であった。そのため、昨年度までの成果・課題等明確にしたうえで、各学校の取組みを市のホームページ上に掲載した。 (資料 P.45 ~47)
- ・生徒指導等の啓発として、夏季休業を迎えるに際し、生活面や学習面等について、直接教育委員会から保護者に向けて通知文を今までと同様に作成し、配布した。また、携帯電話の校内持ち込み禁止についても、保護者向けチラシを配布し、啓発に努めた。このように家庭へ配布することで、学力向上のための環境作りを行った。 (資料 P.48 ~51)
- ・今年度も高石っ子元気っ子プランに基づく「早寝・早起き・朝ごはんキャンペーン」及び「高石市 3 つの朝運動」のリーフレットを作成し、家庭での読書活動の推進に努めるために、幼児・児童・生徒の家庭に配布し、基本的な生活習慣等を啓発する取組みの充実に努めた。 (資料 P.52~59)
- ・ICT 活用について、市のホームページ上に掲載した。 (資料 P.60)

【取組みの効果】

- ・学力向上のための本市の学校の取組内容をホームページで情報発信できた。また、本市の学力の課題を端的かつ明確に発信することで、市民にわかりやすい内容となった。
- ・生徒指導面の啓発を継続してきたことにより、保護者の協力理解が進んだ。
- ・「早寝・早起き・朝ごはんキャンペーン」及び「高石市 3 つの朝運動」のリーフレットは、家庭における学力向上啓発の手段の 1 つとなった。
- ・平成 22 年度においても広報紙による教育相談活動の周知が図られたことにより、市立教育研究センターや教育指導課に多くの教育相談依頼が寄せられた。
- ・ICT 活用の取組みを広く市民に周知することで、ICT 活用の授業参観等を保護者が見学する機会が増えた。

【達成度】

B

【今後の課題】

・広報活動によって得られる効果は大きいですが、情報が全体にきちんと行き届いたかやその成果が図りかねる場合がある。したがって、教育情報の素早い発信を行うとともに、より効果的な広報活動を求め、検証していく。

項 目	信頼される学校づくりの推進と工夫・改善
-----	---------------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

保護者や地域の信頼に応え、地域の実情を踏まえた教育活動を展開するため、校園長が学校・園運営全般にわたり指導性を発揮するとともに、学校における教育活動の成果などを積極的に保護者や地域住民に広くPRすることで、信頼される開かれた学校園づくりを進める。

特に、今年度は、小・中による9年間の子どもの成長を見据えた教育活動を充実するため、学校と地域の連携体制による取組を継続推進し、更に幼・保との連携も加えての地域・家庭による継続的な学校支援の取組を促進する。

【主な取組み及び実績】

- ・「学校支援地域本部事業」や、「すこやかネット」を中心に、地域のボランティアの協力のもと、各学校の様々な行事や放課後学習等において地域の人々との関わりを通じて、児童生徒の学習意欲の向上をはじめ、学校力の高まりが今年度も成果として表れている。
- ・今年度の課題としていた、児童生徒の「豊かな心」の育みの一つとして、取石中学校及び取石小学校が、国事業の道徳教育研究発表会を実施した。その際、学校における発表だけにとどまらず、地域に対しても内容の情報発信を行った。
- ・全国学力・学習状況調査でもみられるよう、本市においても児童・生徒の「基本的生活習慣」を改善する取り組みが必要であるため、全中学校区において、「早寝・早起き・朝ごはんキャンペーン」を展開し、更に「高石市3つの朝運動」の啓発リーフレットを作成し、幼・小・中学校園の保護者に配布した。
- ・家庭との連携した教育活動を意識し、児童・生徒の規範意識の再構築のための「道徳授業」の公開授業等を推し進めた。

【取組みの効果】

- ・地域の人材が、学校園の行事や保育・授業および放課後学習等に参画することにより、地域力を活用した保育力や授業力、また、児童生徒の学力の向上に寄与した。そして、学校園の幼児・児童・生徒が落ち着いた幼・小・中学校の構築が進んだ。
- ・学校園と共に行う地域の協力によるボランティア活動により、学習支援や学校生活の支援等で幼児・児童・生徒の教育環境の充実が図れた。また、「家庭学習の手引き」等を学校が作成し、保護者に配布することで家庭学習の成果も見られた。
- ・配布したリーフレットは、各家庭に周知することで、家庭内での基本的生活習慣の改善や読書活動推進の活性化に役立った。
- ・「道徳授業」の公開授業は、親子による規範意識の向上や学校への協力姿勢を強めた。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・今後は、各中学校区の地域教育協議会と連携をより深め、児童生徒の家庭だけでなく、地域全体へ働き掛けていく取組みを検討・実践していく。
- ・中学校区で、各学校園が子どもの学習や規範意識等で連携し、「知・徳・体」の調和の取れた教育活動を展開していく。

項 目	生徒指導
-----	------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、生きる力を育み、社会的資質や行動力を高めるように指導、援助する。

特に、今年度も小中学校間や関係機関との連携を深めるとともに、教職員がカウンセリングマインド（教育指導に当たる際に必要とされる相談的な考え方や態度）を持って不登校などの課題のある児童生徒を支援するとともに、学校間での連携の下、不登校や問題行動等において早期の対応と未然防止の取組みを推進する。

【主な取組み及び実績】

・各小中学校生徒指導担当者が集まる連絡協議会を定期的に開催し、「不登校児童生徒への効果的な取組み」、「虐待の早期発見と関係機関との連携した対応」、「いじめ・不登校の未然防止に向けた学校体制」等について、各校での取組みの推進を図った。また、学校訪問（不登校ヒアリング）等により、課題のある児童生徒の実態把握に努め、ケースに応じて専門家やボランティア人材等を派遣するなどして、状況に即した子どもの支援を行った。（資料 P.61）

・児童生徒に対する人権侵害事象の防止のための研修会や、教職員の指導力の向上を目的とした「子ども理解研修会」を開催し、学校生徒指導体制の充実と教職員の資質の向上を図った。（資料 P.62）

【取組みの効果】

・各小中学校において、不登校や虐待などの課題のある児童生徒への組織的な対応や校種間・各関係機関との連携の充実を図ることにより、原因を解明した上での取組みが進んだ。その結果、課題のある子どもの行動理由等も理解したうえで、チームとして組織的に指導を行うなど、効果的に個々の児童生徒への課題に応じた取組みが進展した。

・教職員向けの研修会を複数回実施することにより、「集団づくり・不登校・問題行動・虐待」などのそれぞれの内容に関しての教職員のスキルアップを図ることができた。

【達成度】

B

【今後の課題】

・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家を積極的に活用することにより、課題のある児童生徒へのよりきめ細やかな支援を実施する。

・今後さらに、教員への研修や担当者会を充実させ、児童生徒間の良好な人間関係の形成や集団づくりをめざす。特に、来年度は教員が子どもの背景にあるものをさらに理解するために、子ども理解の研修を充実させる。また、小中学校の連携によるケース会議を推進し、不登校やいじめ、問題行動の予防的な取組みをめざす。

項 目	学習指導（児童生徒の学力向上に向けた取組み）
-----	------------------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

「高石っ子元気っ子プラン」が目指す『生きる力』を育むため、一人ひとりの個性や能力を伸ばし、基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、この身につけた知識・技能を活用できる力を養うことで、豊かな表現力を育成し「確かな学力」の定着と向上に努める。このため、学校では、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る学習を充実させるとともに、体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、総合的な学習の時間を中心とした探究的な学習をとおして思考力・判断力・表現力の育成に努める。

特に、今年度は、中学校区を中心に学力向上のための諸課題を分析、検討し、課題解決に向けた小・中合同の研修会や担当者会の充実を図り、より一層の授業力向上を目指す。

【主な取組み及び実績】

- ・全国学力・学習状況調査等の結果分析から本市で取組むべき課題を明確にし、「高石っ子元気っ子プラン」に基づき、各学校園の学校訪問や教育課程ヒアリングを通して、指導・助言を行った。
- ・各校から要請を受け、授業研究及び校内研究協議における指導・助言を行い、学力向上への取組みを進めていけるよう支援した。また、大阪府教育センターが行うパッケージ研修や学習指導ツールのモデル授業と連携し、学校が専門家による指導・助言が受けることができるように支援した。

（資料 P.63～65）

- ・学力向上担当者会を定期的に行うことで、各校の取組みを振り返るとともに共有できるようにした。

【取組みの効果】

- ・各学校が実態に即した学力向上に向けた取組みのプランを策定し、授業力改善に向けて、外部から専門家を招いて校内研修会を実施する、学年ごと・ブロックごとに研究授業を行うなど充実した取組みを進めた。その結果、各校の学力向上委員会等の開催回数増などに見られるように、研究討議等の活性化による教員の授業力向上に向けた認識を深めることができた。

（資料 P. 66）

- ・学力向上に関する効果検証については、全国学力・学習状況調査が抽出調査のこともあり、市としては把握できていない。しかし、学校訪問やヒアリングを通して、子どもたちが積極的に授業での意見発表や基礎基本の反復練習に取り組むなどの成果が確認できた。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・各校の取組みが進む一方で、学力の二極化をはじめとする学力面、生活面で大きな課題は依然として見られる。市としては、各校での取組みを連携して行なえるよう、中学校区を単位とした取組みを進めていく。

- ・基礎・基本の力については一定の成果が見られる一方、表現力等活用する力については、課題が見られる。継続的な取組みを進めていく。

項 目	教職員の資質と指導力の向上
-----	---------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

個々の教職員の専門性や意欲を生かしながら、学校園全体の教育力の向上を図り、学校園教育の質を高めることが重要である。そのために、教職員は常に新たな教育諸課題に機敏に対応できるよう研修に励み、豊かな人間性と高い識見を備え、専門職としての知識・技能を身につけることができるよう指導力の向上に努める。

特に、今年度は、研修等の内容の充実により授業内容、保育内容の改善に取り組み、子どもたちが楽しくわかる授業・保育を行えるよう研修の充実を図る。

【主な取組み及び実績】

- ・さまざまな教育課題に対応できるよう、府教育センター実施の研修については各学校園に周知を図り、積極的な参加を促している。また市としても教員の資質や指導力向上のため、人権教育、支援教育、道徳教育、教科研修、情報教育、子ども理解についての研修などさまざま分野の研修を企画運営している。
- ・初任者研修や10年経験者研修などの総合研修についても、年間を通じて計画的に研修が実施され、対象者はそれぞれのキャリアに応じた教員としての知識、技能の向上に努めた。
- ・今年度は府教育センターのパッケージ研修支援として表現力の向上に取り組んだ研究授業はもちろん、そこに至るまでの指導案の検討や授業後の研究協議の進め方等、校内研究について総合的な支援を受け、学校全体の活性化に取り組んだ。

【取組みの効果】

- ・府や市の研修には各校からの参加があり、研修で得たものを受講者のみのものとせず、校内全体に広め共有することにより、経験の浅い教員の学びの場ともなっている。
- ・総合研修のまとめとして、特に初任者研修では学期に一度研究授業を実施してきた。回を重ねるごとに、これまでの研修や先輩教員から学んだことを取り入れた授業を展開するなど指導力の向上がみられた。
- ・パッケージ研修に関しては、校内研修のあり方について、共通理解を図った上で研修を進めることができ、学力向上にむけ全校挙げての取り組みを推進することができた。 (資料 P.63～65)

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・経験の浅い教員が増えてきている中、これまで以上に課題別の情報提供をするなど、積極的に校外への研修を周知し、資質向上を図る。
- ・ICT活用研修については、教員によるICT機器の活用力の個人差が大きいため、今後も大阪府教育センターでの研修や市独自で講師を招き、効果的な活用法についての研究を進める。
- ・子どもたちが「わかった」「楽しい」と感じられる授業づくりにむけて、研修支援体制を整備する。

項 目	道徳教育・人権教育の充実と推進
-----	-----------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

「高石っ子元気っ子プラン」が目指す『生きる力』を育むため、すべての教育活動を通じて、体験活動等を取り入れながら生命尊重の精神、規範意識の醸成、伝統や文化を尊重する心、郷土を愛する態度等、一人ひとりに豊かな人間性を育む心の教育・道徳教育の充実を図る。また、すべての教育活動の中に、人権尊重の理念を正しく位置づけ幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権学習等の充実を図り人権教育の充実に努める。

特に、今年度は、参加体験型の研修の充実と道徳教育、人権教育の資料の有効活用の充実を図る。

【主な取組み及び実績】

(道徳教育)

・今年度、道徳教育の取組みとしては、取石小学校・取石中学校が、「道徳教育実践研究事業」の最終年度として、研究発表を行った。大阪府を含め、近隣府県からも参加があり、有意義な発表内容であった。その際、教育委員会から、両校で行われた事前の研究授業に積極的に参加し、指導助言を行った。また、教育委員会主催の研修も年間 5 回開催し、特に両校の発表前には、両校が取り扱う内容について、指導助言等を行った。また、過去 2 年間の道徳教育の取組を冊子としてまとめた。(別添資料 高石市道徳教育の取組み、資料 P.75,76)

(人権教育)

・人権教育においては、年間 5 回の人権教育研修会を実施した。特に、「ハンセン病について」は、ハンセン病回復者の方を、「女性の人権について」は、ドーンセンターカウンセラーを講師として迎え、研修を実施した。また、毎年、実施している人権教育担当者会で、国際条約等による人権的な国際感覚のより深い理解を促すとともに、児童・生徒の人権感覚をどのように高めていくかをテーマに検討会を実施した。その際、人権教育の課題に対して、学術的な資料による内容等を学校園の教職員へ伝えた。その他、毎年、人権教育に関わる冊子等を作成し、学校園に配布している。(資料 P.77~78)

【取組みの効果】

(道徳教育)

・取石小学校・取石中学校を教育委員会がサポートすることによって、両校の取組みは市内小中学校に発信され、道徳教育の推進により大きな役割を果たした。また、年間 5 回もの道徳教育研修会を市内で行うことによって、より充実した道徳教育の授業実践を各校が行う契機を得た。

(人権教育)

・人権教育の推進についても、学術的な資料を十分に活用し、他の研修等で学んだ内容を学校園の教職員へ周知することができた。近年課題であったテーマにも踏み込むことができ、羽衣小学校では、同和教育について、先進的な研究発表が実施された。

【達成度】

A

【今後の課題】

今年度、道徳教育、人権教育ともに教育委員会からの働きかけにより、いろいろな形で推進の土台ができた。今後は、この活動をより学校園に効果的に広げるとともに、学校園が自主的に活動する機会をより増やしていくことを目標に取組みを進める。また、今年度の成果を維持できるよう、さらにステップアップを図る。

項 目	青少年の健全育成（子ども元気広場、あおぞら児童会）
-----	---------------------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

【目 標】

地域の児童が放課後や週末に小学校において、安全で安心な活動場所の確保をするとともに、地域のボランティアの協力を得て、子どもの体験・交流活動等の活性化を図り、地域全体で子どもの豊かな成長を育む環境づくりに取り組む。また、児童の保護者が就労等により、昼間家庭にいない児童等についても、学校施設を利用して適切な遊びや生活の場を与え、放課後における児童の健全育成を図る。

【主な取組み及び実績】

・子ども元気広場事業

市内のすべての小学校において、体育館、運動場、図書室等を利用しながら、「子ども元気広場事業」を実施している。ボランティアによるサッカーや卓球、空手などの運動や囲碁、将棋、本の読み聞かせ等の活動を行うことにより地域ボランティアとの交流や、児童が地域ボランティアを通じて様々な体験や会話する機会などができ、また、学ぶ意欲のある児童に対しても、学習アドバイザーによる学び舎（まなびや）事業を実施し児童の放課後の居場所づくりに寄与できた。（資料 P.79）

・あおぞら児童会（学童保育）

各小学校の空き教室等を利用し、あおぞら児童会を開設しており、市内7小学校に11の児童会がある。国のガイドラインに沿った形で児童の適切な遊びや生活の場としての事業を行うことにより、その健全な育成を図ることができた。また、待機児童を作らないことを基本に弾力的な運用を行いながら事業を実施した。（資料 P.80）

平成 22 年度は小学校施設耐震化工事等により、校舎などの使用ができなかったため、夏季休業期間中、小学校に隣接する幼稚園や公民館等を利用しながら、あおぞら児童会を運営した。

【取組みの効果】

・子ども元気広場においては各種行事等の実施により、地域ボランティアとの交流や児童が地域で顔見知りやコミュニケーションができたことで、地域の教育コミュニティづくりが図られた。また、あおぞら児童会では児童が増加したことなどにより、複数クラス化及び待機児童の解消に向けたあおぞら児童会教室の整備等を行い、保護者の保育ニーズ等に対応することにより、あおぞら児童会児童の生活環境の改善が図られた。

【達成度】

A

【今後の課題】

本市のすべての小学校における、「子ども元気広場」及び「あおぞら児童会」の実施により、放課後児童の安全で健やかな活動場所の確保を図るため、今後も総合的な放課後対策の推進に努める。

項 目	生涯学習の推進
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

【目 標】

市民が生涯にわたり、自己実現をめざして学習を継続する機会の充実と生涯の各期や学校、家庭における学習活動など、様々な機会を通じて、社会教育施設と連携をしながら、市民ニーズに対応した、特色ある学習プログラムの提供を行い、学習機会の拡充に努める。

【主な取組み及び実績】

- ・生涯学習の推進については、公民館等において、子どもから高齢者までが気軽に参加できる各種講座や自主事業等の開催及び市民の生涯学習を行う場としての機会提供と同時に施設利用の活性化を図った。 (資料P.81,82)
- ・公民館においては公民館クラブ交流会を各公民館ごとに開催していたが、公民館クラブ相互の交流及び親睦を図るため、各クラブが一同に集い、日々の学習成果の発表や展示会を「アプラホール」のギャラリーや小ホールにおいて、「公民館クラブ交流会」として開催した。 (資料P.83~85)
- また、公民館で実施する公民館事業については、市民から公募を行い、公民館事業企画委員会により、市民の参加による公民館事業の企画立案を行うことにより、市民との協働による各種公民館事業を実施した。
- ・文化活動については、日々における文化・芸術活動などの成果発表や市民相互の交流として、「市民文化祭」をアプラホールで開催し、市展や民謡、菊花展などをはじめ、各種の文化芸術を広く市民に発表すると同時に鑑賞の機会を提供するため開催した。 (資料P.86,87)

【取組みの効果】

- ・公民館での事業をはじめ、市民を対象とした生涯学習における各種事業の実施や発表会の開催などを積極的に行うことにより、学習機会の提供ができた。
- ・公民館におけるクラブ交流事業については、展示発表や演技発表等の新たな事業を実施し、公民館クラブの活性化を図り、他館のクラブとの交流が活発になった。
- ・生涯学習における社会教育施設等の利用促進を促す事業を開催し、施設の貸館事業等を行ったが、公民館の利用増には至らなかった。

【達成度】

B

【今後の課題】

学習機会の提供を行うため、公民館・市民文化会館・図書館などの社会教育施設が連携し、充実した講座や教室の開催により生涯学習を押し進める。

公民館においては、中央公民館が各公民館の中核となるよう、更なる役割は果たしながら公民館相互の連携や情報の提供に努める。

公民館の利用については、さらに利用者の立場に立った、利用しやすいような環境づくりに努めることにより、利用者数の増加を目指す。

項 目	生涯スポーツの普及振興
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

【目 標】

本市のスポーツの振興と誰もがスポーツに気軽に親しみながら健康維持、体力の向上が図られるよう、また、スポーツ各種団体の協力を得ながら、既存のスポーツ施設などを活用した、スポーツ大会の開催、各種事業等の充実に努めるとともに、スポーツ団体の育成やスポーツが交流活動となる場の提供及びスポーツ機会の活性化を図る。

【主な取組み及び実績】

スポーツの振興については、各運動施設等において、市民がスポーツなどに親しむ機会を提供することで、市民同士の交流や健康増進などが行えるよう市民利用促進を行った。各運動施設においても各種スポーツ団体などによるスポーツ活動や、学校教育に支障のない範囲において、学校体育施設を市民に開放しながら、生涯スポーツの環境づくりを図った。また、未就園児から高齢者までを対象とした各種レクリエーション事業等を行うことにより、市民のだれもが気軽に参加できるよう、市民の体力づくりやコミュニケーションづくりができる各種事業を行った。

市民が気軽にスポーツに参加できるよう、鴨公園において市民体育大会を開催しており、幼児から高齢者に至るまでの各年齢層に適した種目の実施や市内自治会による対抗メドレーリレーを行い、市民相互の交流を図った。(資料P.88~100)

【取組みの効果】

市内運動施設や学校施設を活用し、それぞれの施設の特徴を生かしたスポーツプログラムの提供ができた。また、気軽に誰もが参加できるスポーツ教室を実施したことにより、市民へのスポーツを行う機会の提供やスポーツを始めるきっかけの場として、スポーツの参加を促進する取り組みができた。

- ・各運動施設利用状況 平成21年度140,418人 平成22年度146,899人
- ・市民プール利用状況 平成21年度 5,762人 平成22年度 6,380人
- ・市立体育館利用状況 平成21年度 66,596人 平成22年度 69,596人

鴨公園において市民体育大会を開催することにより、多数の幼児から高齢者に至るまでの各年齢層の参加があり、運営面においても各種団体からのボランティア活動が積極的に行われた。

【達成度】

B

【今後の課題】

施設の更なる利用促進及び市民のニーズに対応したスポーツプログラムの提供を行うとともに、利用者の安全に配慮しつつ、既存施設の適切な維持管理を推し進めていく。

今後もスポーツ各種団体の協力を得ながら、スポーツの更なる振興に取り組んでいく。

市民が気軽にスポーツに参加できるよう、市民体育大会を開催するにあたり、幼児から高齢者に至るまでの各年齢層の多数の参加を求め、ボランティアの更なる参加を促し、市民の手で行う大会の成果をさらに高める。

項 目	文化財の保護と市民の郷土愛の高揚
-----	------------------

担当課	生涯学習課・図書館
-----	-----------

【目 標】

市内には、文化遺産等が多数残されており、その時代の歴史や文化を正しく理解し、将来の郷土発展の基礎とするため、これらの文化財を保護するとともに、その継承と活用に努める。

また、文化財等の活用を図るため、図書館郷土資料室において、民具や文化財資料などの展示等を行い郷土愛の高揚を図る。

【主な取組み及び実績】

市内に分布する遺跡は12遺跡あり、平成22年度は大園、水源地、伽羅橋東、羽衣砂丘、取石、富木の各遺跡における開発に伴う調査を行った。

図書館郷土資料室においては「戦国時代の綾井城」をテーマにした展示をはじめ、「ロシア人俘虜収容所」の関係資料や明治から昭和にかけて、高石市の地場産業であった「貝細工」などを展示した。

また、平成22年度から郷土史研究委員の協力を得て、高石のもつ歴史や文化の紹介など歴史的事項から現代的事項に至るまでをクイズ形式でとりあげ、広報たかいしに「なんでも高石学入門」を連載した。
(資料P.101,102)

【取組みの効果】

開発に伴う調査を行ったことにより、大園遺跡では古墳時代6世紀後半の掘立柱建物遺構と弥生時代遺構が分布していることが確認できた。

図書館郷土資料室での資料展示と広報たかいし掲載の「なんでも高石学入門」と連動して、図書館郷土資料室へ訪れる人が増加した。

また、市民が高石の文化や歴史などを知ろうとする意識が高まった。

【達成度】

B

【今後の課題】

郷土の歴史や文化に対する市民の関心が深まるよう、ふるさと意識の醸成に取り組む。

市内から発見された考古学資料や民俗資料等の保管及び歴史的資料の活用を図るため、更なる取り組みが必要である。

項 目	読書活動の推進（学校支援）
-----	---------------

担当課	図書館
-----	-----

【目 標】

- ・ 図書館と学校図書室との連携を図ることで、高石市こども読書活動推進計画の「学校における子どもの読書活動」を支援する。
- ・ 学校司書教諭や小・中学校ボランティア「学校図書館サポーター」との連携を図り、読書活動を推進する。

【主な取組み及び実績】

- ・ 図書館職員や学校司書教諭及び小中学校のボランティア「学校図書館サポーター」合同の講演会や勉強会を開催した。（講師：児童文学評論家 赤木かん子氏） 参加者 70 名
- ・ 学校図書室の蔵書数不足の対策として、団体貸出を行う。
- ・ 大阪府立図書館からの貸出図書（調べ学習資料）等の情報提供を図る。 （資料 P.103,104）

【取組みの効果】

- ・ 講演会や勉強会を開催したことで、学校図書館サポーターの参加もあり、図書館との連携ができた。
- ・ 図書館と学校図書室との交流ができたことで、学校図書館サポーターが図書館のリサイクル展への参加がしやすくなり、学校図書室の蔵書不足が解消された。
- ・ 図書館から学校図書室への情報提供がスムーズになった。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・ 図書館と学校図書室との連携については欠かすことができないので、今後は大阪府立中央図書館が開催する合同研修に参加し、学校図書館への支援について研究していく。
- ・ 調べ学習等の資料について、蔵書を増やし、団体貸出を充実させる。

項 目	文化・芸術の振興
-----	----------

担当課	たかいし市民文化会館
-----	------------

【目 標】

- ・すぐれた文化・芸術に接することにより市民の教養を高め、豊かな情操を養い、文化性の高い地域社会の創出を図る。
- ・定期的に各時代を象徴する市内の文化遺産を紹介し、市民に郷土文化の情報を発信する。
- ・情報コーナーやこどもプラザ等のスペースの活用を検討し、利用促進を図る。

【主な取組み及び実績】

- ・アプラアート展「山の風・海の風」を奈良県川上村と合同で展示会を開催した。
- ・文化会館事業として 43 事業を企画立案した。 (資料 P.105~108)
- ・郷土史等の展示や市民からの寄贈による展示等（中野隆夫氏の遺品）を市民ボランティアの協力で行った。

【取組みの効果】

- ・アプラアート展では、大変好評で来館者数は 1,180 名だった。
- ・文化事業では、アプラ合唱祭 650 名、吹奏楽フェスティバル 610 名、市民ミュージカルは 793 名の入場者があった。いずれも毎年継続している事業である。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・市民参画事業はマンネリ化しないよう企画立案を見直していく。
- ・自主事業についても、事業補助金を有効に使用し、市民のニーズに応えられる事業を展開していく必要がある。

高石市教育委員会における教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価委員
(50音順)

氏名	所属・職
荒木 剛	高石市社会教育委員会議議長
奈良 慶治良	元小学校長
日野 多賀子	羽衣学園理事・羽衣国際大学名誉教授

【委員からのご意見】

- 平成 20 年度から教育基本方針の施策体系に基づき、主要な施策・事業の点検・評価を行ってきたが、導入段階として一つの成果を得ることができ、評価の在り方としてまとまってきた。
- 今後テーマの選び方の視点として、主要な施策・事業に挙げられていない項目や取組んでいかなければならない施策・事業にも着目し、厳正な目で選んでいくことも必要である。
- 施策体系と教育委員会事務局の組織との整理を行い、縦割りが強くなならないよう、教育の内容、受ける側に立った評価を心がける必要がある。例えば地域と一緒に学校を運営していく時に、それぞれの課によって対応が違ふといったことがないように、評価においても受ける側の視点をもっといただきたい。
- 学校施設の耐震化 100%達成はすばらしい成果である。今後は子どもたちの学力向上、健全育成が図られるような取組みが重要である。
- 近年、教員の入れ替わりが多い中、経験の浅い教員の数も増加している。このような状況の中、教育委員会としても学校と連携を図りながら、学級経営や教科指導において経験の浅い教員を中心に研修等による支援を行い、各学校の学校運営が円滑に行なえるよう今後一層の協力体制を構築する必要がある。
- 教師の教育力の向上やさまざまな視野を広げていくということに、これからも教育委員会として引き続きサポートをお願いしたい。
- 元気広場等において、地域のボランティアの活力が必要であり、地域と学校の連携が重要となっている。学校は教育指導課と密接に連携しており、また生涯教育等で地域のボランティアと生涯学習課が密接に連携できていることから、教育指導課と生涯学習課が連動して事業を進めていくという方向性が必要である。

【教育委員会としての総括】

教育委員会の事務の点検・評価制度は、教育委員会の説明責任を確保するとともに、教育行政に関する市民の要望に対する応答性を向上させる目的があり、自己点検・評価に基づいて教育委員会の事務を改善し、市民に対する応答責任を果たすことが重要であると認識しています。

今般、高石市教育委員会として、平成 22 年度の教育委員会の権限に属する事務について、学識経験者（評価委員）の幅広い見地からの貴重なご意見をいただきながら、教育に関する事務の「点検・評価」を実施しました。

評価委員の方々からは、本市の教育行政に対する期待とともに、評価方法や各施設に対する忌憚のないご指摘もいただきました。

今回の「点検・評価」は本報告書の 2 ページから記載した手法により行いましたが、今後の「点検・評価」については、評価委員の方々からご指摘いただいた点も踏まえ、以下の方針で実施いたします。

- ① 客観性のあるわかりやすい目標の設定と、施策の効果が計りやすいよう、定量的な評価指標の設定について検討を進めます。
- ② 評価結果について議論し、その改善策を今後の施策に反映するなど、いわゆる PDCA（Plan 計画・Do 実行・Check 評価・Act 改善）サイクルの仕組みを意識した行政を目指します。

なお、本年度は教育の振興に関する施策を総合的・計画的に推進するために教育基本法第 17 条第 2 項の規定に基づく、教育振興基本計画（（仮称）たかいし教育ビジョン）の策定を予定しております。

※この点検・評価結果につきましては、市役所 2 階行政資料コーナー及び市ホームページにて公表いたします。

資 料 目 次

教育総務課

1	学校給食の状況	3 4
2	学校給食直営・委託経費	3 7
3	引継ぎに関する協定書	3 9

教育指導課

1	幼小連携	4 2
2	幼稚園主査研修	4 4
3	高石市の教育の取組み	4 5
4	保護者向け通知文	4 8
5	早寝・早起き・朝ごはんキャンペーン・高石市3つの朝運動	5 2
6	学校ICT広報	6 0
7	不登校連絡協議会・ヒアリング	6 1
8	生徒指導について	6 2
9	パッケージ研修	6 3
10	授業力・学力向上改善プラン一覧表	6 6
11	支援教育に係る進路指導	6 7
12	道徳教育・人権教育	7 5

生涯学習課

1	平成22年度子ども元気広場実績	7 9
2	あおぞら児童会入会児童数	8 0
3	公民館利用状況	8 1
4	公民館クラブ交流会	8 3
5	市民文化協会	8 6
6	生涯スポーツ	8 8
7	ふるさと村・野外活動センター（キャンプ場）利用状況	9 2
8	社会体育主要事業	9 4
9	運動施設月別利用状況	9 5
10	市立プール入場者数	9 6
11	スポーツ教室受講料	9 7
12	市立体育館室別月別利用状況	1 0 0
13	郷土愛の高揚について	1 0 1

図書館

1	高石市立図書館利用状況	1 0 3
2	平成22年度文化会館事業実績報告書	1 0 5

別添資料 たかいしスクール・ニューデイール

別添資料 『高石市の幼児教育のあり方について』報告書

別添資料 高石市道徳教育の取組み

学校給食の状況

平成22年度月別喫食人数と日数

月	高石小学校	羽衣小学校	高陽小学校	取石小学校	東羽衣小学校	清高小学校	加茂小学校	合計
4	4,724人 15日	7,597人 15日	8,477人 14日	9,205人 15日	9,190人 15日	6,062人 15日	8,563人 15日	53,818人 104日
5	5,848人 17日	9,486人 17日	11,261人 17日	11,815人 17日	10,965人 16日	7,354人 16日	10,492人 16日	67,221人 116日
6	7,584人 22日	11,935人 22日	14,631人 22日	15,318人 22日	15,013人 22日	10,148人 22日	14,548人 22日	89,177人 154日
7	4,130人 12日	6,708人 12日	7,968人 12日	8,316人 12日	8,316人 12日	5,544人 12日	7,961人 12日	48,943人 84日
9	6,387人 19日	9,687人 18日	12,455人 19日	12,632人 19日	13,117人 19日	8,513人 19日	12,121人 19日	74,912人 132日
10	6,473人 20日	10,235人 20日	11,833人 19日	13,416人 20日	13,213人 20日	8,796人 20日	12,611人 20日	76,577人 139日
11	6,424人 19日	10,508人 19日	12,555人 19日	12,927人 19日	13,177人 19日	8,759人 19日	12,307人 19日	76,657人 133日
12	5,394人 16日	8,848人 16日	9,989人 15日	10,768人 16日	11,370人 16日	7,281人 16日	10,544人 16日	64,194人 111日
1	4,731人 14日	7,586人 14日	9,239人 14日	9,393人 14日	9,419人 14日	6,412人 14日	9,234人 14日	56,017人 98日
2	6,390人 19日	10,424人 19日	12,516人 19日	12,935人 19日	13,245人 19日	8,444人 19日	12,350人 19日	76,304人 133日
3	4,640人 14日	8,167人 15日	9,772人 15日	10,002人 15日	10,164人 15日	6,742人 15日	9,636人 15日	59,123人 104日
合計	62,725人 187日	101,181人 187日	120,696人 185日	126,727人 188日	127,189人 187日	84,055人 187日	120,367人 187日	742,940人 1,308日

平成22年度学校給食材料費

月	高石小学校	羽衣小学校	高陽小学校	取石小学校	東羽衣小学校	清高小学校	加茂小学校	合計
4	933,849	1,528,925	1,731,377	1,848,618	1,857,628	1,230,173	1,739,022	10,869,592
5	1,181,330	1,924,146	2,272,130	2,514,863	2,218,354	1,490,717	2,129,477	13,731,017
6	1,490,871	2,381,274	2,879,695	3,270,330	3,071,455	2,029,120	2,883,114	18,005,859
7	812,178	1,323,100	1,564,096	1,625,337	1,634,123	1,086,444	1,553,130	9,598,408
9	1,279,477	1,919,244	2,495,674	2,536,021	2,601,790	1,724,377	2,426,530	14,983,113
10	1,371,241	2,146,392	2,562,059	2,796,533	2,754,517	1,846,757	2,615,081	16,092,580
11	1,308,244	2,156,898	2,567,551	2,627,407	2,686,910	1,798,266	2,532,702	15,677,978
12	1,151,190	1,866,768	2,126,957	2,276,811	2,382,988	1,565,513	2,232,314	13,602,541
1	1,032,330	1,651,612	1,903,018	1,951,265	1,940,318	1,316,886	2,001,337	11,796,766
2	1,495,469	2,437,269	2,935,824	3,050,047	3,067,366	1,994,576	2,872,100	17,852,651
3	1,060,457	1,868,967	2,214,318	2,274,995	2,272,448	1,523,209	2,179,431	13,393,825
合計	13,116,636	21,204,595	25,252,699	26,772,227	26,487,897	17,606,038	25,164,238	155,604,330

平成22年度 1人1食当月別平均単価

月	高石小学校	羽衣小学校	高陽小学校	取石小学校	東羽衣小学校	清高小学校	加茂小学校	合 計
4	197.68	201.25	204.24	200.83	202.14	202.93	203.09	201.97
5	202.01	202.84	201.77	212.85	202.31	202.71	202.96	204.27
6	196.58	199.52	196.82	213.50	204.59	199.95	198.18	201.91
7	196.65	197.24	196.30	195.45	196.50	195.97	195.09	196.11
9	200.33	198.13	200.38	200.76	198.35	202.56	200.19	200.01
10	211.84	209.71	216.52	208.45	208.47	209.95	207.37	210.15
11	203.65	205.26	204.50	203.25	203.91	205.30	205.79	204.52
12	213.42	210.98	212.93	211.44	209.59	215.01	211.71	211.90
1	218.21	217.72	205.98	207.74	206.00	205.38	216.74	210.59
2	234.03	233.81	234.57	235.80	231.59	236.21	232.56	233.97
3	228.55	228.84	226.60	227.45	223.58	225.93	226.18	226.54
合計	209.11	209.57	209.23	211.26	208.26	209.46	209.06	209.44

平成22年度 項目別給食費

月	主 食 費	牛 乳 費	副 食 費	合 計
4月	2,504,728	2,628,994	5,735,870	10,869,592
5月	3,163,074	3,289,647	7,278,296	13,731,017
6月	4,006,369	4,363,974	9,635,516	18,005,859
7月	2,003,934	2,395,133	5,199,341	9,598,408
9月	3,385,089	3,665,540	7,932,484	14,983,113
10月	3,697,704	3,745,671	8,649,205	16,092,580
11月	3,592,756	3,750,289	8,334,933	15,677,978
12月	2,948,814	3,132,282	7,521,445	13,602,541
1月	2,580,556	2,742,340	6,473,870	11,796,766
2月	3,540,195	3,732,946	10,579,510	17,852,651
3月	2,875,656	2,795,227	7,722,942	13,393,825
合計	34,298,875	36,242,043	85,063,412	155,604,330

平成22年度学校給食費内訳表

上段：給食日数 下段：給食費

月	高石小学校	羽衣小学校	高陽小学校	取石小学校	東羽衣小学校	清高小学校	加茂小学校	合計
4月	15日	15日	14日	15日	15日	15日	15日	104日
	933,849	1,528,925	1,731,377	1,848,618	1,857,628	1,230,173	1,739,022	10,869,592
5月	17日	17日	17日	17日	16日	16日	16日	116日
	1,181,330	1,924,146	2,272,130	2,514,863	2,218,354	1,490,717	2,129,477	13,731,017
6月	22日	154日						
	1,490,871	2,381,274	2,879,695	3,270,330	3,071,455	2,029,120	2,883,114	18,005,859
7月	12日	84日						
	812,178	1,323,100	1,564,096	1,625,337	1,634,123	1,086,444	1,553,130	9,598,408
9月	19日	18日	19日	19日	19日	19日	19日	132日
	1,279,477	1,919,244	2,495,674	2,536,021	2,601,790	1,724,377	2,426,530	14,983,113
10月	20日	20日	19日	20日	20日	20日	20日	139日
	1,371,241	2,146,392	2,562,059	2,796,533	2,754,517	1,846,757	2,615,081	16,092,580
11月	19日	133日						
	1,308,244	2,156,898	2,567,551	2,627,407	2,686,910	1,798,266	2,532,702	15,677,978
12月	16日	16日	15日	16日	16日	16日	16日	111日
	1,151,190	1,866,768	2,126,957	2,276,811	2,382,988	1,565,513	2,232,314	13,602,541
1月	14日	98日						
	1,032,330	1,651,612	1,903,018	1,951,265	1,940,318	1,316,886	2,001,337	11,796,766
2月	19日	133日						
	1,495,469	2,437,269	2,935,824	3,050,047	3,067,366	1,994,576	2,872,100	17,852,651
3月	14日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	104日
	1,060,457	1,868,967	2,214,318	2,274,995	2,272,448	1,523,209	2,179,431	13,393,825
合計	187日	187日	185日	188日	187日	187日	187日	1,308日
	13,116,636	21,204,595	25,252,699	26,772,227	26,487,897	17,606,038	25,164,238	155,604,330

小学校給食直営・委託経費比較

(円)

18年度		予算額		1校あたり単価	決算額		1校あたり単価
直 営	正職員	166,901,000	21 人		163,606,004	21 人	
	パート調理員・臨職	22,817,000	21 人		20,504,343	21 人	
	直営校	189,718,000	7 校	27,102,571	184,110,347	7 校	26,301,478
委 託	非常勤(栄養士)	—	— 人		—	— 人	
	調理業務委託料	—	— 校		—	— 校	
	委託校	—	— 校	—	—	— 校	—
19年度							
直 営	正職員	152,576,000	19 人		151,805,078	19 人	
	パート調理員・臨職	12,700,000	17 人		13,152,861	17 人	
	直営校	165,276,000	5 校	33,055,200	164,957,939	5 校	32,991,588
委 託	非常勤(栄養士)	4,411,000	2 人		4,394,525	2 人	
	調理業務委託料	25,337,000	2 校		25,336,500	2 校	
	委託校	29,748,000	2 校	14,874,000	29,731,025	2 校	14,865,513
20年度							
直 営	正職員	151,191,000	19 人		151,087,520	19 人	
	パート調理員・臨職	13,036,000	12 人		14,149,361	12 人	
	直営校	164,227,000	5 校	32,845,400	165,236,881	5 校	33,047,376
委 託	非常勤・パート栄養士	4,742,000	2 人		4,741,010	2 人	
	調理業務委託料	28,034,000	2 校		25,382,700	2 校	
	委託校	32,776,000	2 校	16,388,000	30,123,710	2 校	15,061,855
21年度							
直 営	正職員	143,942,000	18 人		141,822,761	18 人	
	パート調理員	9,525,000	9 人		8,456,971	9 人	
	直営校	153,467,000	4 校	38,366,750	150,279,732	4 校	37,569,933
委 託	非常勤・パート栄養士	7,308,000	3 人		6,448,715	3 人	
	調理業務委託料	46,010,000	3 校		41,632,500	3 校	
	委託校	53,318,000	3 校	17,772,667	48,081,215	3 校	16,027,072
22年度							
直 営	正職員	143,209,000	18 人		143,851,166	18 人	
	パート調理員	9,000,000	7 人		7,199,268	7 人	
	直営校	152,209,000	4 校	38,052,250	151,050,434	4 校	37,762,609
委 託	非常勤・パート栄養士	7,083,000	3 人		7,004,582	3 人	
	調理業務委託料	41,633,000	3 校		41,632,500	3 校	
	委託校	48,716,000	3 校	16,238,667	48,637,082	3 校	16,212,361

小学校給食直営・委託経費比較(1校あたり単価)

(円)

年度	予算額		決算額	
	直営校	委託校	直営校	委託校
18年度	27,102,571		26,301,478	
19年度	33,055,200	14,874,000	32,991,588	14,865,513
20年度	32,845,400	16,388,000	33,047,376	15,061,855
21年度	38,366,750	17,772,667	37,569,933	16,027,072
22年度	38,052,250	16,238,667	37,762,609	16,212,361

人件費内訳

正職員	給料	一般職給
	職員手当等	扶養手当
		地域手当
		住居手当
		通勤手当
		期末手当
		勤勉手当
	共済費	共済組合負担金
		互助会補給金
		健康保険組合負担金
パート調理員	賃金	パート調理員賃金
		臨時的任用職員賃金
	報償費	パート調理員報償費
		臨時的任用職員報償費
非常勤・パート栄養士	報酬	非常勤嘱託員報酬
	賃金	パート栄養士賃金
	報償費	非常勤嘱託員報償費
		パート栄養士報償費
調理業務委託料	委託料	学校給食調理業務委託料

高石市立取石幼稚園及び取石保育所の移管に伴う保育・教育の引継ぎに関する協定書

高石市（以下「甲」という。）と社会福祉法人徳友会（以下「乙」という。）は、高石市立取石幼稚園及び取石保育所の移管に伴い、次のとおり保育・教育の引継ぎに関する協定を締結する。

（目的・内容）

第1条 甲は、保育・教育内容の継続を確保し、子どもや保護者の不安をできるだけ少なくするために、乙と別表1に基づく引継ぎを実施する。

2 甲は、前項の引継ぎのために必要な職員（以下「引継職員」という。）を乙から研修生として受け入れる。

3 甲と乙は、第1項の引き継ぎのために必要な会議を定期的に行う。

4 前3項の期間は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までとする。

（対象施設）

第2条 引継ぎを実施する施設は、高石市立取石幼稚園及び取石保育所とする。

（引継職員）

第3条 引継職員は、甲の指示に従うものとし、研修時間については、甲の職員の勤務時間に準ずるものとする。その他の研修の条件については、甲乙協議のうえ定めるものとする。

2 引継職員は、研修中に知り得た秘密について、その一切を漏らしてはならない。

3 乙は、引継職員が前項の規定に違反したことにより、甲に損害を与えたときは、その損害を賠償するものとし、その賠償額は、甲乙協議して定めるものとする。

4 甲は、引継職員に対する賃金及び勤務に関する手当を支給しない。

5 引継職員の研修期間中の災害補償については、当該災害の原因が甲に起因することが明らかな場合を除き、甲はその責任を負わない。

（負担）

第4条 甲は、引継に要する費用のうち、乙が引継職員を派遣した場合において、当該職員の代替として雇用した職員に係る賃金を、別途甲が定める要綱に基づき乙に補助する。ただし、当該補助金の額は、予算で定める額を限度とする。

（協定期間）

第5条 この協定の期間は、協定を締結した日から甲が前条に定める要綱に規定する実績報告書の提出を受けた日までとする。

（協議）

第6条 この協定の内容に疑義が生じたとき、又はこの協定に定めのない事項については、甲乙協議のうえ、これを定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各1通を保有するものとする。

平成22年4月1日

甲 高石市加茂四丁目1番1号

高石市長 阪口伸六

乙 高石市取石四丁目12番16号

社会福祉法人 徳友会

理事長 嶋田典之

別表 1

引継ぎ事項

1 児童について

- ・一人ひとりの子どもの様子（児童原簿・健康記録・個別の指導計画・個別の教育支援計画等により）
体質、障がい状況、アレルギーの有無、健康状態、食事等
- ・家族構成、生育歴など個別に知っておく必要のあるもの（児童原簿などにより）

2 教育・保育内容について

- ・教育・保育計画
- ・保育のまとめ・保育記録
- ・年間行事
- ・毎月の行事
- ・保健関係
- ・安全管理（危機管理体制を含む）
- ・給食関係

3 保護者との連携

- ・連絡帳
- ・おたより
- ・掲示板
- ・送迎時の対応
- ・行事への保護者の参加
- ・クラス懇談会、個人懇談会
- ・参観、試食会

4 配布書類

5 運営について

- ・保育時間の決定
- ・幼保の連携

6 P T A・保護者会、地域との連携について

- ・P T A、保護者会との連携
- ・地域活動事業
- ・近隣への配慮
- ・関係機関

7 文書について

- ・教育、保育関係書類
- ・入所関係書類
- ・備品関係

幼小連携教育推進（例）

授業交流や行事交流を通じたの幼小連携の意義

- ① 幼小のお互いの授業を参観することで、指導や研修等に役立たせることができる。
- ② 幼稚園の様子を知ることができ小学校入学時からの指導に活かせることができる。
- ③ 小学生になり、幼稚園時代からの幼児の成長を見ることができる。
- ④ 小学校の様子を知ること、幼稚園での指導に活かすとともに、幼児の「小学校進級のスムーズな接続・連携」ができる。
- ⑤ 授業後の研究協議を行うことで、教員同士の親睦・様々な意見交流ができる。

若手教員連携

1. 目的

幼小の教育連携を通して若手教員の専門性と指導力の向上をめざし、教科指導、生徒指導、学級経営、その他対象教員の取り組み課題等について年間を通して研修を行い、お互いに情報交換したり、先輩教員の指導助言を受けたり、教員としての資質の向上を図る。

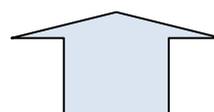
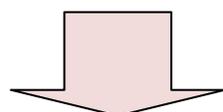
2. 対象者

教職経験 1～6 年、希望者

幼稚園

○水曜日の昼から午後にかけて小学校へ行く。

交流内容 小学校 1 年生の教室で「給食体験」「参観授業」「研究協議」。



小学校

○水曜日の昼から午後にかけて幼稚園へ行く。

交流内容 幼稚園年長組等での「給食体験」「参観授業」「研究協議」。

幼稚園若手教諭による「小学校教育体験活動」(例)

1. 日 時 平成23年7月6日(水)
2. 内 容 小学校教育体験活動《小学校の給食指導～下校指導》
3. 目 的
 - 幼小11年間を見通した「子どもの育ちと学び」を意識し、発達段階に応じた一貫性のある保育指導に役立たせる。
 - 幼稚園若手教諭の専門性と指導力の向上をめざし、幼小中一貫教育・学級経営・保育指導等についての研修を行うことで、小学校教育への理解を深め、幼稚園教諭としての資質の向上を図る。
4. 事 前 小学校受け入れクラスの先生と連絡を取り、打ち合わせをする。
5. タイム・テーブル等

幼稚園教諭	小学校学級体験	○○○小学校教育活動体験		
○○幼稚園 高石 花子	1年1組 高石学級 ○TT指導 ○参観授業など	12:25～ ○給食 ○清掃 ○昼休み	13:50～14:35 ○5校時・授業参観 14:35～ ○終わりの会 ○下校指導	14:45～15:30 ○研究協議 (下記参照)

6. 研究協議 (例)

①参加者

○若手幼稚園教諭、小学校体験学級担任、小学校学年担任・主任など。

②協議内容

《幼稚園から》

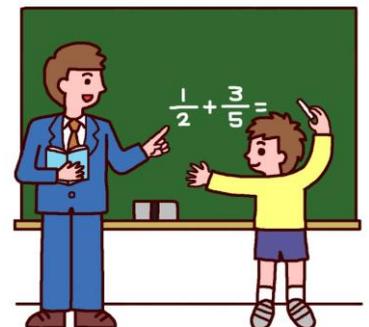
- 幼稚園時(昨年度)の様子について。
- 幼稚園から小学校への質問。
- 幼稚園から小学校への要望。
- その他 など

《小学校から》

- 小学校(今年度)での様子について。
- 小学校から幼稚園への質問。
- 小学校から幼稚園への要望。
- その他 など

《自由協議など》

- 「しつけ」や「学習規律」等について。
- 保護者対応について。
- 今後の交流について。
- その他 など



幼稚園教育

■平成 22 年度 主査研修会

	日時		内容	場所
	日	時		
①	5月18日 (火)	3:30~ 4:50	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度年間計画について ・支援を要する幼児について 	高石市役所 本館 2 階 203
②	6月21日 (月)	3:30~ 4:50	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「小学校での食育について」 講師 高陽小学校 佐竹なな 栄養教諭	高石市役所 本館 2 階 202
③	7月23日 (金)	3:00~ 4:50	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「発達障がい児の思春期と二次障がい 予防のシナリオ」 講師 元宮川医療少年院長 小栗 正幸 氏	和泉市コミュニティー センター 多目的ホール
④	7月28日 (水)	10:00~ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・実習「書類作成について」 講師 教育総務課	高石市教育研究センター パソコン教室
⑤	10月22日 (金)	3:30~ 4:50	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童虐待について」 講師 教育指導課 生徒指導担当指導主事	高石市役所 本館 2 階 203
⑥	3月1日 (木)	3:30~ 4:50	<ul style="list-style-type: none"> ・「支援教育に係る就学及び進学指導について」 講師 教育指導課 支援教育担当指導主事 <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換 	高石市役所 本館 2 階 203

高石市の教育の取組みについて

高石市の教育の取組みについて



「全国学力・学習状況調査」が今年度も平成22年4月20日に小学校第6学年児童と中学校第3学年生徒を対象に実施されました。今年度の調査は、抽出調査という形式で行われたため、高石市としてのデータはありません。ただ、昨年度までの調査結果の検討から、高石市で取り組むべき課題として、下記の内容が挙げられます。

【課題】

- ・ 「話すこと・聞くこと」の分野や記述式の問題形式
- ・ 無解答率が高く、理解度の二極化
- ・ 規則正しい生活習慣等に関する課題。

このような課題に向けた取り組みを今年度も継続して行っています。以下は、学力向上の部分に係る内容です。



学力向上のために

☆今後も教育委員会が中心となって主に取り組んでいくこと

- ◆ 各小・中学校ともに学力向上のための施策を実施しています。各校独自で取り組みを進めていますが、その輪を中学校区に拡大し、合同の学力担当者会議等により、情報交換と共有を行い、小中連携による学力向上のための取り組みを行っています。
- ◆ 市の教育課題に応じた研修を積極的に行い、教職員の資質・指導力向上を図ります。
 - ・ ICT活用研修会、授業力向上研修会
 - ・ 支援教育研修会
 - ・ 初任者、講師、経験9年以下、10年目等研修会
 - ・ 人権教育及び道徳教育研修会
 - ・ 新教育課程研究授業及び研究討議会
 - ・ 生徒指導研修会、子ども理解研修会 等
- ◆ 今年度も引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」キャンペーンを実施し食育の推進と奨励、家庭における基本的生活習慣の定着を推進します。また大阪府の地域による3つの朝運動(朝食・あいさつ・朝読書)とも連動した取り組みを実施していきます。
- ◆ 放課後や、長期休業期間に実施する補充学習へのボランティアを募集し、学校での学習のサポート活動を進めています。
 - ・ おおさか・まなび舎事業(放課後学習)
 - ・ 学校支援ボランティア募集
- ◆ 市の事業において授業改善に取り組む研究推進校を指定し、公開授業等による研究成果発表と効果の検証を行いながら、授業力向上に向けてさらに取り組みを進めています。
 - ・ 道徳教育実践研究事業
 - ・ 発達段階に応じたキャリア教育支援事業
 - ・ 新教育課程推進事業

☆各学校が現在取り組んでいる、または今後取り組んでいくこと

(下記の内容は必ずしも全学校で取り組んでいるのではなく、各小中学校が実態に応じて取り組んでいます。)

- ◆ 学習におけるつまずきの把握と補充指導の充実
 - ・ 放課後学習の実施
 - ・ つまずきテストの実施
 - ・ 長期休業期間中の学習会
- ◆ 指導内容・指導方法の工夫の推進
 - ・ 習熟度別授業を取り入れた、少人数指導や複数教員による指導等による、きめ細かな指導の充実
 - ・ 基礎・基本の徹底と繰り返し学習
 - ・ 実験・観察などの活用場面を取り入れた授業の研究
 - ・ 児童・生徒のコミュニケーション能力を高めるため、音読・話し合い・発表など子どもたちが授業の中で聞いたり、話したりする学びあいのある授業展開の工夫
 - ・ 児童・生徒が不得意とする記述式の問題等への対応のための指導工夫
- ◆ 読書活動の一層の推進と充実化
- ◆ 学習規律の徹底を図り、より一層の「落ち着いた授業」への取り組み
- ◆ あいさつ運動など基本的生活習慣の向上のための取り組み
- ◆ 一人ひとりが尊重される集団づくりの実現化
 - ・ 人権教育の一層の推進と道徳教育のさらなる推進



ご協力・ご支援のお願い

ご協力・ご支援のお願い

昨年度より「高石市学校園教育推進計画（高石っ子元気っ子プラン）」を策定し、プランが示す子ども像を育むために、各学校の実態に応じて取組を推進しています。今後も、このプランを、学校—地域・家庭（保護者）—教育委員会が連携しながら進めていくために家庭や地域の皆さまに引き続き、下記のような点についてご協力・ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

- ◆ 子どもの宿題の確認や、学校の予習や復習等の自主的な家庭学習に対する意欲向上のご協力をお願いいたします。
- ◆ ご家庭における読書の機会向上や子どもへの啓発についてご協力をお願いいたします。
- ◆ 学校のさまざまな学力向上等の取組みについてご協力をお願いいたします。
（学校支援・図書ボランティアや、放課後学習活動のボランティア等へのご参加・ご協力）
- ◆ P T A 活動へのご参加とご協力をお願いいたします。
- ◆ 各中学校区の「すこやかネット」の活動へのご参加とご協力をお願いいたします。
- ◆ 学校と共にあいさつ運動や、早寝・早起き・朝ごはん運動など、基本的な生活習慣の向上のための取組みへのご協力をお願いいたします。



夏休み中の生活についてのお願い

子どもたちにとって待ち遠しく、とても楽しみにしている夏休みを迎えます。市内小・中学校及び教育委員会では、この夏休みを人間性の向上をめざした有意義なものにし、心身ともに健康で安全な生活を過ごせるよう、次のような観点に留意して子どもたちに指導しています。ご家庭におかれましてもご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

夏休み中の生活について

夏休みは家庭での生活が中心です。小学校高学年や中学生は、自分自身で自分をコントロールして生活をするよう心がけましょう。公正で正しい判断をすることによって理性が生まれ、おとなへとたくましく成長してくれるものと期待します。具体的なポイントを次に示しますので参考にしてください。

1.規則正しい生活習慣を心がけよう!!

起床・就寝時刻(睡眠時間の確保)や食生活など、毎日安定したリズムで生活をしましょう。

2.自分の目標や課題に向かって、計画的に取り組もう!!

学期末の懇談会等で自分の目標や課題を知り、その解決に向けて、計画を立てて自分自身に挑戦しましょう。よい結果が得られるようベストを尽くすことが大切ですが、いつも必ずしもよい結果が得られるとは限りません。最も大切なのは、努力を続けることで、計画に無理があったり、修正する必要があると気づくことが向上への第一歩です。修正を繰り返すうちに、きっと今までにない自分を発見できるのではないのでしょうか。新しい自分に出会う過程が、おとなへの成長のステップなのです。

3.豊かな心情を育もう!!

新しいことへの挑戦や、すでに続けている自分でやると決めたことには、最後までねばり強く取り組みましょう。

初めての経験には不安や失敗は常につきまとうものです。思うようにいかなかったり、失敗しながらも続けていくうち、やがて慣れてきてうまくいくようになり、自信がついてきます。「がんばってよかった、やってみてよかった」というような満足感や充実感が心を豊かにしてくれるのです。

「学習」「習い事」「クラブ活動」「家事手伝い」「ボランティア活動」など、すでに取り組み始めていることやこれからやろうと考えていることは、人間的な成長にとっても大切なことばかりです。何事もあきらめずに最後までやり遂げられるよう、がんばりましょう。

4.行動(言動)には責任を!!

善悪の判断は、いつでもどこでも正しくできるよう責任をもちましょう。「してはいけないことは絶対にしない。」「しなければならないことは、しなければならない時にきちんとする。」人として当たり前のことなのですが、時として「自分さえよければいい」と自分自身を見失ってしまったり、「みんなもやっているから」とつい判断を誤ってしまい、多くの人に迷惑をかけた、取り返しのつかない「心の傷」をつくってしまったりしてしまいます。善悪の判断を公正に行い、理性的に行動することによって、充実した生活が過ごせるものと思います。

右欄の生活場面での具体的な注意事項に留意するとともに、自分自身の行動(言動)には責任を持ちましょう!

注意しましょう!

☆高石市内で不審者や変質者が出没しています。

- ・夜間の外出はできるだけしないようにしましょう。
- ・ひとりで行動するときには、万一の場合に備えて安全対策を万全にしておきましょう。
- ・知らない人に道を聞かれたときは、一緒についていったり、車に乗ったりしないようにしましょう。き然とした態度で応対し、わからないときは「わかりません」と、はっきり言いましょう。
- ・不審と感じたら、すぐにその場を離れましょう。身に危険を感じたら、大声で助けを求めたり、近くのお店や家に助けを求めてください。『高石っ子をまもるおうち(黄色い旗)』や、『こども110番の家』も忘れずに!
- ・すぐにおうちの人に知らせ、警察や学校に連絡してください。

公共機関の利用について

公園や、高石駅前の「たかいし市民文化会館(アプラホール)」内の施設等を使用する際は、利用マナーを守りましょう。

- 公共物に落書きをしたりすることは、絶対にやめましょう。
- 3～4階『アプラホール』前の通路等に座り込んだり、飲食して散らかすことは、やめましょう。
- ☆4階『図書館』では、騒ぐことのないよう気をつけましょう。

みんなが使う公共の施設の利用については、利用者の道徳性が問われます。社会生活のマナーは、人が人として生きるためにお互いに守るべき大切なルールなのです。

☆「外出」について

- ・子ども同士の旅行や遠出は危険を伴う場合もありますので、次の点にご留意ください。
- で、次の点にご留意ください。
- 目的 ○行き先(宿泊先) ○期間 ○同伴者(同行者)
- 行程 ○緊急時の連絡方法 等
- 特に夜店や地域の盆踊り等、夜間に開催されるものについては保護者と一緒に行くようにしてください。

※お知らせ

夏季休業期間中、校舎・体育館等の学校施設の耐震工事に伴い、学校防犯システム「ツイタもん」のシステムを休止させていただきます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

※『子どもたちが自分の目標や課題をしっかりとらえ、効果的な方策を考え、計画的に取り組みを継続することにより目標や課題解決に向かう。』このような過程をたどるなかで、子どもたちは「たくましく生きる力」が身についていきます。保護者や教師は、子どもたちの自主的な活動に対し、方向性を示す、アドバイスを与えるなどの支援をしながら見守る必要があるのではないのでしょうか。夏休みはまさに「地域で子どもたちを育てる」機会です。情報交換を密接にとりながら子どもたちの健全育成に取り組むたいと考えます。

夏休み中の生活についてのお願い

子どもたちにとって待ち遠しく、とても楽しみにしている夏休みを迎えます。市内小・中学校及び教育委員会では、この夏休みを人間性の向上をめざした有意義なものにし、心身ともに健康で安全な生活を過ごせるよう、次のような観点に留意して子どもたちに指導しています。

ご家庭におかれましてもご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

夏休み中の生活について

夏休みは家庭での生活が中心です。小学校高学年や中学生は、自分自身で自分をコントロールして生活をするよう心がけましょう。公正で正しい判断をすることによって理性が育まれ、おとなへとたくましく成長してくれるものと期待します。

具体的なポイントを次に示しますので参考にしてください。

1.規則正しい生活習慣を心がけよう!!

起床・就寝時刻(睡眠時間の確保)や食生活など、毎日安定したリズムで生活をしましょう。

2.自分の目標や課題に向かって、計画的に取り組もう!!

学期末の懇談会等で自分の目標や課題を知り、その解決に向けて、計画を立てて自分自身に挑戦しましょう。よい結果が得られるようベストを尽くすことが大切ですが、いつも必ずしもよい結果が得られるとは限りません。最も大切なのは、努力を続けることで、計画に無理があったり、修正する必要があると気づくことが向上への第一歩です。修正を繰り返すうちに、きっと今までにない自分を発見できるのではないのでしょうか。新しい自分に出会う過程が、おとなへの成長のステップなのです。

3.豊かな心情を育もう!!

新しいことへの挑戦や、すでに続けている自分でやると決めたことには、最後までねばり強く取り組みましょう。

初めての経験には不安や失敗は常につきまとうものです。思うようにいかなかったり、失敗しながらも続けていくうち、やがて慣れてきてうまくいくようになり、自信がついてきます。「がんばってよかった、やってみてよかった」というような満足感や充実感が心を豊かにしてくれるのです。

「学習」「習い事」「クラブ活動」「家事手伝い」「ボランティア活動」など、すでに取り組んでいることやこれからやろうと考えていることは、人間的な成長にとっても大切なことばかりです。何事もあきらめずに最後までやり遂げられるよう、がんばりましょう。

4.行動(言動)には責任を!!

善悪の判断は、いつでもどこでも正しくできるよう責任をもちましょう。特に、窃盗(万引き・自転車盗・単車盗)・器物損壊・未成年者の喫煙・薬物・シンナー等の法律で禁止されているような問題行動は絶対に行わないようにしましょう。

時として、自分自身を見失ってしまったり、「みんなもやっているから」とつい判断を誤って、多くの人に迷惑をかけてしまったり、取り返しのつかない「心の傷」をつくってしまうことがあります。善悪の判断を公正に行い、自分を律して行動することによって、充実した生活が過ごせるものと思います。

右欄の生活場面での具体的な注意事項に留意するとともに、自分自身の行動(言動)には責任を持ちましょう!

注意しましょう!

☆高石市内で不審者や変質者が出没しています。

- ・夜間の外出はできるだけしないようにしましょう。
- ・ひとりで行動するときには、万一の場合に備えて安全対策を万全にしておきましょう。
- ・知らない人に道を聞かれたときは、一緒についていたり、車に乗ったりしないようにしましょう。き然とした態度で対応し、わからないときは「わかりません」と、はっきり言いましょう。
- ・不審と感じたら、すぐにその場を離れましょう。身に危険を感じたら、大声で助けを求めたり、近くのお店や家に助けを求めてください。『高石っ子をまもるおうち(黄色い旗)』や、『こども110番の家』も忘れずに!
- ・すぐにおうちの人に知らせ、警察や学校に連絡してください。

公共機関の利用について

公園や、高石駅前の「たかいし市民文化会館(アプラホール)」内の施設等を使用する際は、利用マナーを守りましょう。

- 飲食してごみを散らかしたり、周りの方に危険を感じさせるような遊びはやめましょう。
- 公共物に落書きをしたりすることは、絶対にやめましょう。
- 喫煙や器物損壊等のいたずらも厳禁です。
- 3～4階『アプラホール』前の通路等に座り込んだり、飲食して散らかすことは、やめましょう。
- ☆4階『図書館』では、騒ぐことのないよう気をつけましょう。

みんなが使う公共の施設の利用については、利用者の道徳性が問われます。社会生活のマナーは、人が人として生きるためにお互いに守るべき大切なルールなのです。

その他

☆「アルバイト」について

・労働基準法により、満15歳未満の生徒を雇うときには、親権者の「同意書」「年齢証明書」のほかに、「就学にさしかえのないことを証明する学校長の証明書」「労働基準監督署長の許可」がなければならぬことになっていますのでご注意ください。

☆「外出」について

- ・子ども同士の旅行や遠出は危険を伴う場合もありますので、次の点にご留意ください。
- 目的 ○行き先(宿泊先) ○期間 ○同伴者(同行者)
- 行程 ○緊急時の連絡方法 等

※『子どもたちが自分の目標や課題をしっかりとらえ、効果的な方策を考え、計画的に取り組みを継続することにより目標や課題解決に向かう。』このような過程をたどるなかで、子どもたちは「たくましく生きる力」が身についていきます。保護者や教師は、子どもたちの自主的な活動に対し、方向性を示す、アドバイスを与えるなどの支援をしながら見守る必要があるのではないのでしょうか。夏休みはまさに「地域で子どもたちを育てる」機会です。情報交換を密接にとりながら子どもたちの健全育成に取り組みたいと考えます。

学校にケータイは 必要ありません！



インターネットや携帯電話は上手に使うと私たちの日常生活や仕事に役立つ、便利で楽しい道具です。

しかし、携帯電話を子どもたちに持たせることで、子どもたちの世界が大きく変わり、様々なトラブルに巻き込まれるケースが発生しています。また、長時間の使用により学習時間が減少し・学力の低下につながることも心配されています。

このような状況を踏まえ、高石市教育委員会では小中学校への児童生徒の携帯電話の持ち込みを原則禁止としています。

子どもたちが情報機器を使う際、時間制限を設けることや、有害サイトは閲覧しない等ルール作りをして適切に使用することが大切です。情報モラル教育は、家庭での取り組みが学校教育以上に大切です。子どもに要求されるがままにむやみに買い与えるのではなく、使用目的や危険性、ルールやマナーについて、各家庭においてしっかりと話し合しましょう。現在の携帯電話は、「電話」ではなく「インターネット端末」であることを踏まえ、本当に子どもに持たせる必要があるのか、どうしても携帯電話がないとダメな状況があるのか、よく考えてみてください。

保護者の皆様のご理解とご協力が必要です

〔高石市立小中学校内での携帯電話の取り扱いについて〕

**★学校への児童生徒の携帯電話の持ち込みは
原則禁止です。**

子どもを守るのは あなたです！

やむをえず子どもが携帯電話を使用することになっても、以下の点については家庭内で必ずルール作りをすすめるなど、持たせる責任者としての責務を果たしましょう。

①我が子が携帯電話をどのように使っているのか、保護者として関心を持って把握しましょう。（ブログやプロブを開設しているかどうか等）

- ・子どもの反発を恐れず、保護者として責任をもって管理しましょう。
- ・充電アダプタの置き場を検討するなど、子ども部屋での長時間利用を避けましょう。

②携帯電話のアクセス制限機能を利用しましょう。

- ・携帯電話会社の提供する有害サイト等へのアクセスを制限するフィルタリングサービスを利用しましょう。
- ・携帯電話の料金等の利用制限契約をしておきましょう。



③子どもと話し合っ、家庭での使用ルールを決めましょう。

- ・利用時間の制限や、食事中は携帯電話の電源を切るなど、家庭でのルールを決めましょう。
- ・支払料金を親に支払ってもらっていることをしっかり自覚させましょう。
- ・ネット上のモラル（個人情報の保護、無用な書き込み、有害サイトへのアクセス等）について、しっかり話し合ひましょう。

「やめよう！」と子どもたちに伝えてください。

●携帯・ネット上の誹謗中傷は、犯罪につながります。

- 人の悪口をブログや掲示板に書き込む行為
- 「なりすましメール（人の名前をかたったメール）」を送る行為
- 他人の個人情報や画像をネット上で公開する行為

☆ネット上の書き込みは、「だれが書いたのか」の記録が残ります！

●サイトには危険がいっぱいです。

- 出会い系サイトなどへのアクセス
- 知らない人からのメールへの返信
- 個人情報の安易な書き込み



平成23年 4月
高石市教育委員会



はやねはやおき 朝ごはんキャンペーン

「全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査」(生活習慣や学習環境に関する調査)が今年度も平成22年4月20日に小学校第6学年児童と中学校第3学年生徒を対象に実施されました。今年度の調査は、抽出調査という形式で行われたため、高石市としては分析を行っておりません。ただ、昨年度までの調査結果の検討から、大阪府の課題と高石市の課題が重なることが、わかっています。

したがって、大阪府の調査結果をもとに今年度も「高石市はやね はやおき 朝ごはんキャンペーン」を進めています。

このリーフレットをぜひご家族でご覧いただき、大切な生活リズムについて、お子様と一緒に考えてみてください。

高石市キャンペーン目標

1. 生活のリズムを整えましょう。(はやねはやおき)

学校から帰ったあとの過ごし方について、見直してみましょう。

2. 朝ごはんをしっかり食べましょう。

少し早おきして、しっかり朝ごはんを食べましょう。



どれぐらいできているか、おうちの人といっしょにチェックしてみましょう。

- 朝ごはんを毎日食べる
- 決まった時間に、食事をしたり寝たりする
- 毎日、宿題や復習をする
- 前日に次の日の準備をする
- テレビやゲームなどの時間を決めている
- あいさつを自分からすすんでする
- 本をたくさん読む
- 社会のルールやマナーを守る

平成23年3月

高石市教育委員会

キャンペーン目標 ① 生活のリズムを整えましょう。

大切な自分の時間。時々ゆっくりすることも大事です。でも、毎日規則正しく続けることもとても大切です。限られた時間を上手に使えるように考えてみましょう。

学校から帰ったあとの計画を
一緒に立ててみましょう！



たとえば・・・

- 手洗い・うがいをする。
- 宿題は、いつする？
- お手伝いをする。(何ができるかな?)
- 明日の学校の準備
- テレビはどれくらいの時間見るのかな？
- できるだけ早く就寝しましょう。

※大切な自分の時間を工夫して使いましょう。

<平成 22 年度全国学力・学習状況調査から 大阪府の児童生徒の様子>

普段(月～金曜日)、何時ごろ起きますか。

全国・大阪とも改善
傾向にあります

(小学校)

	大阪府 (公立)	全国 (公立)
AM6:00 より前	4.9	8.1
AM6:00 以降 AM6:30 より前	13.1	28.7
AM6:30 以降 AM7:00 より前	35.1	40.3
AM7:00 以降 AM7:30 より前	38.9	19.9
AM7:30 以降 AM8:00 より前	7.2	2.6
AM8:00 以降	0.7	0.4

※単位は%

(中学校)

小学生と同様、改善傾向にありますが、まだ起床時間は遅めです

	大阪府 (公立)	全国 (公立)
AM6:00 より前	3.3	8.9
AM6:00 以降 AM6:30 より前	10.4	25.4
AM6:30 以降 AM7:00 より前	23.1	32.8
AM7:00 以降 AM7:30 より前	41.0	24.4
AM7:30 以降 AM8:00 より前	19.7	7.5
AM8:00 以降	2.5	0.9

※単位は%

普段(月～金曜日)、何時ごろ寝ますか。

(小学校)

	大阪府 (公立)	全国 (公立)
PM9:00 より前	4.3	5.9
PM9:00 以降 PM10:00 より前	27.9	37.9
PM10:00 以降 PM11:00 より前	41.9	39.9
PM11:00 以降 AM0:00 より前	20.0	13.2
AM0:00 以降	5.7	2.9

※単位は%

(中学校)

	大阪府 (公立)	全国 (公立)
PM9:00 より前	0.7	0.7
PM9:00 以降 PM10:00 より前	3.2	5.2
PM10:00 以降 PM11:00 より前	17.7	26.5
PM11:00 以降 AM0:00 より前	38.4	39.8
AM0:00 以降 AM1:00 より前	26.6	19.5
AM1:00 以降	13.1	8.2

※単位は%

キャンペーン目標 ② 朝ごはんをしっかりと食べましょう。

少しだけ早く起きて朝ごはんを食べるゆとりを持ちましょう。甘い菓子パンやインスタント食品だけで済ませることなく、栄養のバランスもしっかり考えられるようにしたいですね。

1日に食べてほしい栄養素や食品のめやすです



朝食を毎日食べていますか？

(小学校)

	大阪府 (公立)	全国 (公立)
食べている	85.6	89.0
どちらかといえば 食べている	9.2	7.4
あまり食べていない	4.3	3.0
全く食べていない	0.9	0.6

※単位は%

(中学校)

	大阪府 (公立)	全国 (公立)
食べている	77.2	83.5
どちらかといえば 食べている	11.9	9.8
あまり食べていない	7.3	4.8
全く食べていない	3.5	1.9

※単位は%

○朝ごはんを早い時間に食べると・・・

脳のパワーが全開になるのは、食事をした1～2時間後から！

☆朝食なしで一日の最初の食事が昼食となった場合、園や学校が終わるころに、ようやく脳のはたらきが活発になります。

朝食を食べないと、せっかくの学習や活動がムダになります！

体



**集中力がつき
けがもふせげる**

脳



**朝ごはんて脳を活性化
させ、学習に集中！**

心



**心が安定し、
よい食習慣がつく**

☆遅くとも午前7時までに起床して、朝ごはんを食べると、学校や幼稚園での朝の活動から、脳がよい状態で取り組むことができます。

朝食をできるだけ早い時間に食べて、朝からしっかり活動を！

子どもたちの健やかな成長のためには、保護者・学校・行政が協力し合っていくことがとても大切です。教育委員会や学校では、授業力の向上・繰り返し反復学習の推進や幼・小・中学校の連携等の取組を進めています。詳しくは、高石市ホームページにまとめていますのでご覧ください。

【お問い合わせ】

高石市教育委員会事務局 教育指導課

TEL 072-265-1001 FAX 072-262-1794

高石市三つの朝運動

(あいさつ・朝食・朝読書)

高石市では平成21年度から、大阪府が取り組んでいる三つの朝運動を受け、「高石市三つの朝運動」を推し進めています。

あらためて、三つの朝の活動の重要性について、子どもたちの課題とともにお伝えします。

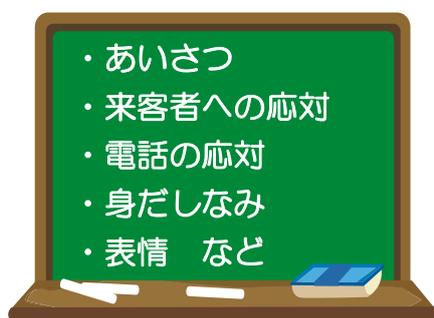
「あいさつ」について

あいさつの語源は、仏教のある宗派で師匠と弟子、又は弟子同士が悟りの深淺を試すことを「一挨拶（いちあいっさつ）」と言ったことから出ている、という説があります。

現在でこそあいさつは、儀礼的な意味合いが強くなっていますが、もともとはお互いを深く知ることを表す言葉であったと考えられます。

しかし、コミュニケーションが希薄になっているといわれる現在の社会で、あいさつの持つ意味合いは大きく変貌してきています。お互いのことを知りあうきっかけとして、あいさつの重要性は高まっている、と考えられます。

多くの会社で、研修のプログラムとして



といった点について取り入れられています。

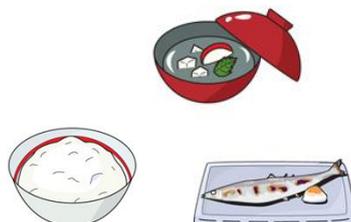
初対面の人には「はじめまして〇〇です。よろしく申し上げます」、日常のあいさつでは「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」等、お世話になった方には「いつもお世話になります」、不愉快な思いをさせてしまったら「ごめんなさい」、人に何かを頼むときには「お願いします」、感謝の気持ちを表すときには素直に「ありがとうございます」。このような言葉がすべて魔法の言葉のように相手の心をなごやかにするだけでなく、自分の心もいい気持ちにしてくれるのではないのでしょうか？

私達人間は一人では生きてはいけません。社会の中で人と関わる中でお互いに助け合い、支えあい、励ましあいながら、時には迷惑や心配をかけることもあるでしょう。

人から恩恵を受けることもあるでしょう。でもあいさつがきちんとできていたら、たいいてい人間関係は円満にいくのではないかと思います。「あいさつ」は相手に対する気づかいでもあると感じます。そして「あなたの存在を大切に思っていますよ」という意思の表れでもあると思うのです。

朝、みんなと気持ちよくあいさつできたら、その日のいい出発につながるのではないのでしょうか。

「朝食」について

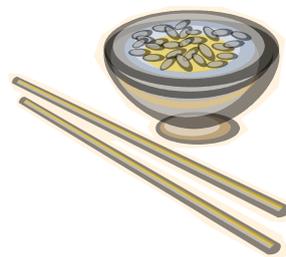


つい朝食を抜いたりしていませんか？

朝食の食材には、健康に関わるいろいろな力が含まれています。朝食によくつかわれる食材の効果について、いくつかまとめてみました。

ご飯

意外と知られていませんが、ご飯にはタンパク質がたくさん含まれています。ご飯は、昔、日本人の重要なたんぱく源でした。ご飯に足りないリジンも、大豆のたんぱく質が補うので、ご飯に味噌汁という理想の組み合わせができたのでしょう。たんぱく質は血や肉、細胞を形成し体の基本をつくる切な栄養素です。高たんぱくな食生活がよいとされるのはそのためで、特に成長期にはたくさん取りたいものです。また、ご飯はたんぱく質の利用効率を高めるエネルギー源でもあるので、おかずといっしょに残さずちゃんと食べましょう。



味噌汁

豆腐や味噌など、大豆製品の成分イソフラボンは、骨からカルシウムが溶け出す作用を抑えたり、コレステロール値を抑える働きがあります。

納豆

納豆には、特有のナットウキナーゼという血栓を予防する効果を持つ酵素があります。また、骨を丈夫にする作用があるビタミンK も多く含まれています。



のり

のりは各種ビタミンとミネラルがバランスよく含まれています。食物繊維も多く含まれており、コレステロールの抑制作用や、体内のビフィズス菌の減少を防ぐ効果もあります。

ゴマ

ゴマの成分セサミンには肝臓の機能を助ける作用があります。さらに体の老化を防ぐ抗酸化作用もあります。

トースト

トーストやコーヒーの香りの成分ピラジンは、血液をサラサラにする働きがあります。しかし、パンとコーヒーだけの朝食ではバランスのとれた食事とはいえません。タンパク質と野菜も摂るよう心がける必要があります。



ヨーグルト

ヨーグルトは腸内の善玉菌が増える、おなかの健康に役立つ食品として知られています。シリアルやドライフルーツをヨーグルトにトッピングすると豊富な食物繊維やビタミン、ミネラルが加わってバランスの良い食事を摂る事ができます。

一部の食材だけしか取り上げていませんが、これだけの効果が毎日の朝食に隠されていると思うと、朝食を食べないと損な気がしませんか？

「朝読書」について



最後に朝読書の話をしたと思います。

「朝読書」は、本来、子どもたちが本を心の栄養素として、豊かな人間性を育むことを目的としています。しかし、「朝読書」に継続して取り組んだ結果、子どもたちの学習態度が落ち着き、学力の向上が見られた学校の事例は多数報告されており、「朝読書」が学力に与える影響についての調査、研究がさらに進められています。実際、国語や算数の成績が向上したり、家庭での生活態度も改善されるなど、良い効果が表れることもわかってきました。「朝読書」は、いくつかの学校で実施されていますが、今後は、ご家庭で、取

り組んでみては、いかがでしょう。ここでは、ご家庭で行う具体的な読書方法を簡単に紹介します。

- (1) 朝の10分間、読書の時間を設定する。
- (2) 読む本はマンガ以外、自由とします。感想は求めません。

たったこれだけのことを守り、実行してみてください。

本嫌いな子どもほど、なかなか自分から本を読もうとしません。放っておけば、いつになっても読むようにはならないケースが多くあります。読まなければ、読む力もつかないし、学年が進むほど、ますます本嫌いになっていくのではないのでしょうか？

現代の子どもの多くは、読書習慣が身につけていないのではないかといわれます。

しかし、読書は、私たちにとって、非常に大切なものだと思います。私たちは体を鍛えるために運動をし、頭脳を育てるために勉学をします。読書は、心を育てるためにも大切なことだと思います。

読書時間は、わずかに10分間です。しかし、1週間続けると、1時間を超えます。1年間続けると60時間を超えます。



最初の内は、なかなか集中できないかもしれません。しかし、「邪魔くさい」という否定の言葉は、とりあえず、胸の中に納めておいてください。「くだらない」とか、「しんどい」という否定の言葉は、1秒で終わります。けれども、もしかしたら わずか1秒で否定した人には決してわからない世界がそこにあるかもしれません。

60時間集中して読書した者にしか分からない世界というものがそこにあると思いませんか。

【問合せ先】

〔事務局〕高石市教育委員会 教育指導課



小・中学校の ICT機器 校内LAN が充実しました

1. 普通教室



実物投影機を使ってテレビ画面に大きく映し出したり、電子黒板を使った授業により、視覚効果を利用したわかりやすい学習を進めることができました。

2. パソコン教室



インターネットを用いた調べ学習や、学習ソフトでのドリル学習を行っています。

3. 職員室



学習で使うプリントや家庭に配布する手紙作り、事務の仕事でコンピュータを活用しています。

「たかいしスクール・ニューディール」の取り組みによって、本市の小・中学校ではICT（情報通信技術）機器・校内LAN（学校内ネットワーク）の整備が進み、様々な場面で活用されるようになりました。



高石市のICT環境

- ・すべてのテレビをデジタル化
- ・すべての普通教室に校内LANを整備
高石市 100% : 全国 81.2%
- ・教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数
高石市 3.6人 : 全国 6.4人
- ・校務用コンピュータを教員1人あたり1台
高石市 100% : 全国 98.3%

ICT機器を活用した授業の効果

- 写真や図表を大きく提示して、着眼点や作業の指示の明確化をはかります。
- 身近に感じる教材を使って、児童・生徒の関心や意欲を高めるように努めます。
- 映像等を利用した動きのある教材を使い、学習内容の理解を深めます。
- みんなで一つの資料を見て、話し合うことができるようになります。



各小・中学校では、整備された校内LAN及びデジタルテレビや電子黒板・コンピュータ等の機器を使い、今後もICTを活用した教育の充実をはかります。

問合先 教育指導課

「不登校連絡協議会・ヒアリング等」

資料

実施日・実施期間	内 容
5月13日(木)	<p>「第1回 不登校対策連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小中学校生徒指導・不登校担当教員 ・内容 学校における不登校対応 (校内体制・チーム支援等)
5月13日(木) ～ 5月21日(金)	<p>「1学期不登校ヒアリング」</p> <p>新年度の各校の生徒指導・教育相談体制と前年度の不登校児童生徒の新年度の動向について</p> <p>※市内全小中学校を教育研究センター職員と教育指導課担当指導主事が訪問し、ヒアリングを実施する。</p>
7月6日(火)	<p>「第2回 不登校対策連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小中学校生徒指導・不登校担当教員 ・内容 長期休業期間中の不登校児童生徒への関わり
9月27日(月) ～ 10月8日(金)	<p>「2学期不登校ヒアリング」</p> <p>長期休業期間中及び新学期初めの児童生徒の動向と校内での今後の対応について</p> <p>※市内全小中学校を教育研究センター職員と教育指導課担当指導主事が訪問し、ヒアリングを実施する。</p>
12月7日(火)	<p>「第3回 不登校対策連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小中学校生徒指導・不登校担当教員 ・内容 課題を抱えた児童生徒への対応と関係機関との連携についての事例検討会
1月31日(月) ～ 2月10日(木)	<p>「3学期不登校ヒアリング」</p> <p>今年度のこれまでの不登校児童生徒の動向と長期欠席児童生徒の年度末及び年度初めの対応について</p> <p>※市内全小中学校を教育研究センター職員と教育指導課担当指導主事が訪問し、ヒアリングを実施する。</p>
2月22日(火)	<p>「第4回 不登校対策連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小中学校生徒指導・不登校担当教員 ・内容 不登校等課題のある児童生徒の円滑な引き継ぎと個別の課題に応じた支援の継続について

「生徒指導について（平成 22 年度実施の研修）」資料

実施日	研修名・内容	講師
8月4日（水） 10：00～ 12：00	「子どもへの人権侵害事象の未然防止」 子どもの成長発達の保障と体罰・セクハラ の防止や児童虐待についての講演会	大阪府スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー 弁護士 峯本 耕治 氏
8月10日（火） 15：00～ 17：00	「つれづれ全大会」 様々な課題を抱える児童生徒への関わり方を事例を通して学習する。	八尾市立サポートセンター 臨床心理士 大畑 豊 氏
8月24日（火） 10：00～ 12：00 13：30～ 15：30	「子ども理解のための研修会Ⅰ」 学級集団分析尺度Q-Uを使って、子どもや学級集団の状態や関係を把握し、よりよいクラスづくりに生かす方法を学ぶ。	奈良教育大学 教職大学院 准教授 粕谷 貴志 氏
11月24日（水） 15：30～ 17：00	「子ども理解のための研修会Ⅱ」 いじめ・不登校問題への理解と対応について 講演会	奈良教育大学 教職大学院 准教授 池島 徳大 氏
1月12日（水） 15：30～ 17：00	「子ども理解のための研修会Ⅲ」 『子どもの成長と発達』をテーマに、心を育てる教育についての講演会	追手門学院大学 心理学部 教授 三川 俊樹 氏

1 パッケージ研修支援とは

- 大阪府内の小・中学校において「授業改善をしていきたい。」「校内研究の体制をつくりたい。」等の希望のある学校に、全体研修会、指導案検討、事前授業、研究授業・研究協議と、4回を最小の単位として継続的な支援を行うものです。
- 1教科・領域(国語、算数、数学、外国語、外国語活動)の授業改善を通して、学力向上に向けた全校挙げた取組の推進を図っていきます。平成23年度から、理科も加わります。
- 学校の課題を改善するという校内研究の取組を推進していきます。

詳しくは次のページ



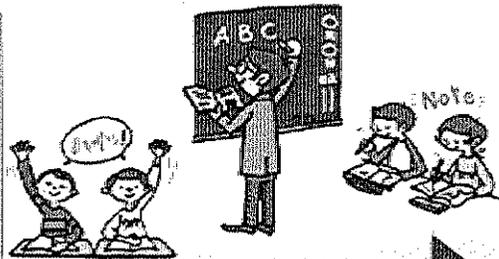
パッケージ研修支援「国語・算数・数学・理科・外国語活動・英語」

教科における子どもの課題

- ・活用する力に課題
- ・書いて表現する力に課題
- ・学習内容に興味を持ってない
- ・推論する問題に課題
- ・探究する態度に課題

学校が抱える教育上の課題

- ・学習態度がはぐくまれていない



各教科の授業改善を通して

子どもにはぐくむ力

- ・思考力(科学的)、表現力
- ・コミュニケーション能力
- ・学習意欲

学校の課題改善

- ・授業規律の確立など

- 小学校、中学校とも4回を最小の単位として、継続した研修支援を行う
- 1教科・領域の授業改善を通して、学力向上に向けた全校を挙げた取組みの推進を図る
- 学校の課題を改善するという校内研究本来の取組みを推進する

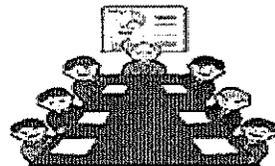
打ち合わせ

◇管理職・研修担当者・授業者・学年担当者教科担当者とのパッケージ研修についての共通認識



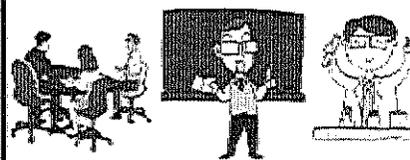
校内全体研修会 (1回)

◇パッケージ研修とは
◇学校の課題
◇校内研究のあり方
◇教育環境・備品・器具の状況



学年・教科担当者研修 (2回)

◇教科における課題
◇単元の教材研究
◇指導案検討
◇模擬授業・予備実験
◇事前授業



校内全体研修会 (研究授業・研究協議)

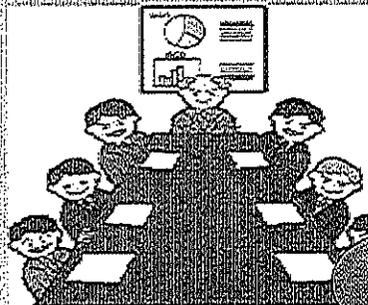
◇授業実践の具体を全校に提案
・検証の仕方
・他の授業への反映の仕方
・研究協議の進め方



パッケージ研修支援

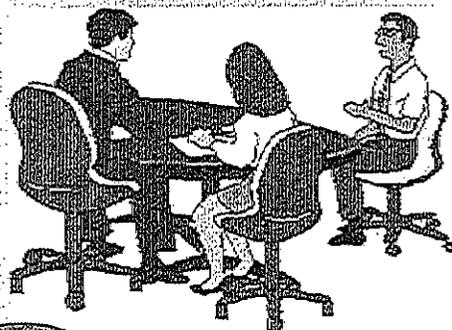
1. 校内研修全体会①

学校の課題は？
こんな校内研修にしましょう！



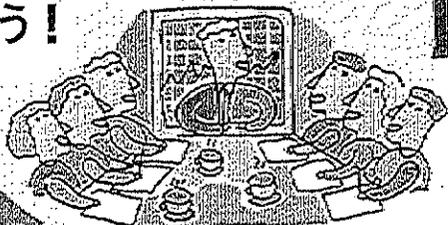
2. 指導案検討

こんな授業にしましょう！



4. 校内研修全体会②

これから、他の教科でも
こんな点を取り入れま
しょう！



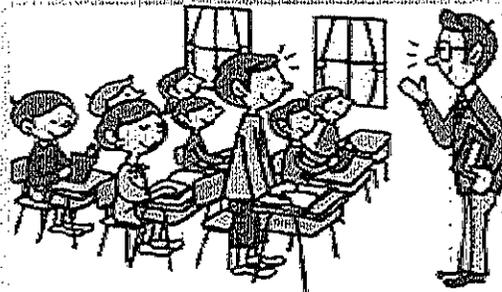
研究討議会



研究授業

3. 事前授業

こうすればもっとよくなりますよ。



	高石小学校	羽衣小学校	高陽小学校	取石小学校	東羽衣小学校	清高小学校	加茂小学校	高石中学校	高南中学校	取石中学校
研究授業 研修	ブロック別の研究授業・スキルアップ研修 ICT機器の活用研修(和歌山大学豊田先生)	研究授業や研究会の実施 校内研修重点教科の設定(国語・英語) 研究会・講習会の校内伝達	「基礎・基本を大切に学習」を進める研修 外国語活動パッケージ研修(府教育センター土居指導主事)	児童の実態に合った「わかる授業」の展開 豊かな心を育む効果的な道徳の授業研究 ICT機器の活用	研究授業や研究会の実施 外国語活動パッケージ研修(府教育センター土居指導主事)	国語を重点化…「話す・聞く・コミュニケーション能力の育成」の推進	授業研究を増やし授業改善のテーマに則し研究協議を高める	わかりやすい授業をテーマにした校内研修	学力向上パッケージ支援研修(府教育センター土居指導主事) 小・中合同校内研修の実施	「わかる」授業から「できる」授業への創意工夫に努める 豊かな心を育む効果的な道徳の授業研究
個に応じたきめ細かな指導	中・高学年で算数科の少人数学習を実施	少人数・習熟度別指導の充実 長期休業中の補充授業の実施 学習定着のための補充	反復学習(読み・書き・計算等)に取り組む 自学自習力を育てる「じしゅべんノート」の取組	中・高学年での算数の習熟度別少人数授業の深化・充実 取石中学校との「道徳教育」における小中連携	算数・国語を中心とする少人数学習の指導法の工夫 5・6年混合で7～8分割の習熟度別学習	算数による2クラス3分割の習熟度別指導による基礎基本の定着 ◎府事業「携帯ゲーム機を活用した反復学習調査研究校」指定校 「家庭学習の手引き」の作成と配布	習熟度別指導を含めた少人数授業の充実 家庭学習の向上＝宿題の充実化 放課後学習会実施でつまずきの補充	◎府事業「まなび舎Youth」実施校 放課後など質問日や補習の時間の設定	少人数による習熟度別指導 自学自習力UPプロジェクト ◎府事業「まなび舎Youth」実施校	習熟度別指導等少人数授業の充実 教科質問日開設 放課後学習等の補充学習会の実施 ◎府事業「まなび舎Youth」実施校
異校種間連携	小中合同校内研修の継続と定着化 いきいきスクールによる小中の連携性	いきいきスクールによる小中の連携性	小中合同校内研修の継続と定着化 いきいきスクールによる小中の連携性	いきいきスクールによる小中の連携性 反復メソッドを取り入れた学習	高石中学校と連携したキャリア教育 いきいきスクールによる小中の連携性	小中合同校内研修の継続と定着化 いきいきスクールによる小中の連携性	いきいきスクールによる小中の連携性	東羽衣小学校と連携したキャリア教育	小中合同校内研修の継続と定着化	取石小学校との「道徳教育」における小中連携 学習意欲・関心を高める教材の活用
授業における改善	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する学年の目標の一覧表作成 朝学習等で学習指導ツール等を活用	反復学習(漢字)を中心に現在の取組の充実 2～3年九九の百マス計算の徹底 単元別テスト・つまづき調査等学習指導ツールを活用	思考力をつける改善・問題づくりの時間場 各学年指導のポイントを共通認識 ノート指導等	ノートづくり 言葉や式を用いて説明する、記述する活動 図表にして問題場面を理解する、解決の見通しをもって筋道を立てて考える活動	朝学習等で学習指導ツール等を活用 情報機器を活用した授業の展開	単元別テスト・つまづき調査等学習指導ツールを活用 教材の開発・作成 情報機器を活用した授業の展開	加茂校定(反復学習)の充実 「自分で考える」「考えたことを書く」ことを日々の授業に組み込む	課題提出の徹底 問題演習の徹底 生徒自作の文章題 「自分で考える」「考えたことを書く」ことを日々の授業に組み込む	反復学習を推進することで基礎学力の充実をはかる 教え合いによる説明力育成 教材の工夫による学習意欲の向上 文章を書く機会の意図的増	朝の帯どりによる基礎学習による反復練習実施を最優先課題 小グループ編成による小先生指導、生徒が生徒を教えることによる説明力育成 頻繁な教科会議による教師同士の連携強化
読書活動の充実	朝読書 読書ノート 読み聞かせ	朝読書	朝読書の徹底 読み聞かせ(全学年)	10分間読書	読書の継続と家庭での読書時間定着を目的に宿題化	図書室の充実 朝読書の定着化と更なる推進	読書指導の推進	朝読書の充実	読書の習慣化 朝読書の導入・検討	読書時間の設定
その他	親子読書週間 図書室の整備 道徳教育の推進 外国語活動の研究推進	規範意識の向上 特にいじめに対する認識を高める	あいさつ運動の徹底 感謝・尊敬の念の育成	達成感・自信 認める・褒める 個々の目標設定 学習規律の継続化 1年～6年の共通の学習規律のプログラム化 生活面のケア	読書タイム 校内LANの活用 法の研究 地域連携の活動 挨拶運動の展開	家庭環境の課題から学習意欲にかけている子どもの支援 生活指導の充実 朝の時間に一人ずつスピーチ活動で表現力UP	「食」教育を中心とした総合教育の推進	家庭学習の習慣の定着化 学習規律の徹底 チャイム禮席・課題提出等の徹底化	道徳の時間の充実 に学校全体で取組中 けじめと思いやりの持てる中学生に	家庭を巻き込んでの取り組み一学校オリジナルの家庭学習ノートを作成し配布予定 他に読書・基本的生活習慣等

平成22年度 支援教育研修計画および支援教育に係る進路指導予定表

高石市教育委員会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	木	土	火	木	日	1 水	金	月 就学時健診(清高小)	水 進路希望確認③	1 土	火	火
2	金	日	水	金	月	2 木	土	火	木 ※支援学校最終確認	2 日	水	水
3	土	月	木	土	火	3 金	日	水	金	3 月	木	木
4	日	火	金	日	水	4 土	月	木	土 和泉(小)体験学習 和泉(中)見学会	4 火	金	金
5	月	水	土	月	木	5 日	火	金	和泉(小)体験学習 和泉(中)見学会	5 水	土	土
6	火	木	日	火	金	6 月	水	土	中学校別交流会⑤	6 木	日	日
7	水	金	月	水	土	7 火	木	日	和泉(小)体験学習 和泉(中)見学会	7 金	月	月
8	木	土	火	木	日	8 水	金	月	和泉(小)体験学習 和泉(中)見学会	8 土	火	火
9	金	日	水	金	月	9 木	土	火	和泉(小)体験学習 和泉(中)見学会	9 日	水	水
10	土	月	木	土	火	10 金	日	水	和泉(小)体験学習	10 月	木	木
11	日	火	金	日	水	11 土	月	木	和泉(高)体験学習 ※必ず参加のこと	11 火	金	金
12	月	水	土	月	木	12 日	火	金	和泉(高)体験学習 ※必ず参加のこと	12 水	土	土
13	火	木	日	火	金	13 月	水	土	進路希望確認②	13 木	日	日
14	水	金	月	水	土	14 火	木	日	和泉(小)見学会・ 体験学習申込締切	14 金	月	月
15	木	土	火	木	日	15 水	金	月	就学時健診(加茂小)	15 土	火	火
16	金	日	水	金	月	16 木	土	火	就学相談終了 ※4月入校締切	16 日	水	水
17	土	月	木	土	火	17 金	日	水	和泉(中)体験学習	17 月	木	木
18	日	火	金	日	水	18 土	月	木	たまがわ異学会	18 火	金	金
19	月	水	土	月	木	19 日	火	金	たまがわ異学会	19 水	土	土
20	火	木	日	火	金	20 月	水	土	和泉(中)体験学習	20 木	日	日
21	水	金	月	水	土	21 火	木	日	和泉(中)体験学習	21 金	月	月
22	木	土	火	木	日	22 水	金	月	支援学校決定 最終締切	22 土	火	火
23	金	日	水	金	月	23 木	土	火	水	23 日	水	水
24	土	月	木	土	火	24 金	日	水	水	24 月	木	木
25	日	火	金	日	水	25 土	月	木	水	25 火	金	金
26	月	水	土	月	木	26 日	火	金	和泉(中)体験学習 和泉(中)見学会	26 水	土	土
27	火	木	日	火	金	27 月	水	土	水	27 木	日	日
28	水	金	月	水	土	28 火	木	日	水	28 金	月	月
29	木	土	火	木	日	29 水	金	月	水	29 土	火	火
30	金	日	水	金	月	30 木	土	火	水	30 日	水	水
31	土	月	木	土	火	31 日	月	金	水	31 月	木	木

※必ず、日時の確認をお願いします。

67

平成22年度 支援教育研修計画および支援教育に係る進路指導等予定表

平成22年11月12日(金)
高石市教育委員会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	木	土	火	木	日	1 水	金	月 就学時健診(清高小)	水 進路希望確認③	1 土	火	火
2	金	日	水	金	月	2 木	土	火	木	2 日	水	水
3	土	月	木	土	火	3 金	日	水	金	3 月	木	木
4	日	火	金	日	水	4 土	月	木	土	4 火	金	支援学校出願
5	月	水	土	月	木	5 日	火	金	日	5 水	土	土
6	火	木	日	火	金	6 月	木	土	月 中学校別交流会④	6 木	日	日
7	水	金	月	水	土	7 火	木	日	火	7 金	月	月
8	木	土	火	木	日	8 水	金	月	水	8 土	火	火
9	金	日	水	金	月	9 木	土	火	水	9 日	水	水
10	土	月	木	土	火	10 金	日	月	金	10 月	木	木
11	日	火	金	日	水	11 土	月	木	土	11 火	金	金
12	月	水	土	月	木	12 日	火	金	日	12 水	土	土
13	火	木	日	火	金	13 月	木	土	月	13 木	日	日
14	水	金	月	水	土	14 火	木	日	火	14 金	月	月
15	木	土	火	木	日	15 水	金	月	水	15 土	火	火
16	金	日	水	金	月	16 木	土	火	木	16 日	水	水
17	土	月	木	土	火	17 金	日	月	金	17 月	木	木
18	日	火	金	日	水	18 土	月	木	土	18 火	金	金
19	月	水	土	月	木	19 日	火	金	日	19 水	土	土
20	火	木	日	火	金	20 月	木	土	月	20 木	日	日
21	水	金	月	水	土	21 火	木	日	火	21 金	月	月
22	木	土	火	木	日	22 水	金	月	水	22 土	火	火
23	金	日	水	金	月	23 木	土	火	木	23 日	水	水
24	土	月	木	土	火	24 金	日	月	金	24 月	木	木
25	日	火	金	日	水	25 土	月	木	土	25 火	金	金
26	月	水	土	月	木	26 日	火	金	日	26 水	土	土
27	火	木	日	火	金	27 月	木	土	月	27 木	日	日
28	水	金	月	水	土	28 火	木	日	火	28 金	月	月
29	木	土	火	木	日	29 水	金	月	水	29 土	火	火
30	金	日	水	金	月	30 木	土	火	木	30 日	水	水
31	土	月	木	土	火	31 日	月	木	金	31 月	木	木

※必ず、日時の確認をお願いします。

平成23年度 支援教育に係る進路指導予定表

高石市教育委員会

9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	水	金		月		水		1	土	火		火	1
2	木	土		火		木		2	日	水		水	2
3	金	日		水		金		3	月	木		木	3
4	土	月		木		土		4	火	金	支援学校出願	金	4
5	日	火		金	堺支援見学会	日		5	水	土		土	5
6	月	水		土		月		6	木	日	※願書受取時、 出願日決定	日	6
7	火	木		日		火		7	金	月		月	7
8	水	金		月		水		8	土	火		火	8
9	木	土		火		木		9	日	水		水	9
10	金	日		水		金		10	月	木		木	10
11	土	月		木		土		11	火	金		金	11
12	日	火		金		日		12	水	土		土	12
13	月	水		土		月		13	木	日		日	13
14	火	木		日		火		14	金	月		月	14
15	水	金		月		水		15	土	火	高石市立小学校新1年 学校見学会	火	15
16	木	土		火		木		16	日	水	たまたがわ、共生校、 自立支援出願	水	16
17	金	日		水		金		17	月	木		木	17
18	土	月		木	たまたがわ見学会	土		18	火	金		金	18
19	日	火		金		日		19	水	土		土	19
20	月	水	堺支援(10/27)申込締切	土		月		20	木	日		日	20
21	火	木		日		火		21	金	月	自立支援面接	月	21
22	水	金	岸和田支援見学会 申込締切	月		水		22	土	火		火	22
23	木	土		火		木		23	日	水	たまたがわ 検査	水	23
24	金	日		水		金		24	月	木	たまたがわ 共生校 面接 面接	木	24
25	土	月	たまたがわ支援見学会 申込	木		土		25	火	金		金	25
26	日	火		金		日		26	水	土		土	26
27	月	水	堺支援見学会	土		月		27	木	日		日	27
28	火	木	岸和田支援見学会 和泉支援見学会	日		火		28	金	月		月	28
29	水	金	岸和田支援見学会 和泉支援見学会 堺支援(11/6)申込締切	月		水		29	土			火	29
30	木	土		火		木		30	日			水	30
31	日					金		31	月			木	31

※必ず、日程を確認してください。

平成23年度 支援教育に係る進路指導について

※必ず、日時の確認をお願いします。

		入学者決定について	入学者選抜について		
		府立支援学校 高等部	府立高等支援学校		府立公立高等学校
			和泉支援 (知的障がい) 堺支援 (肢体不自由) 岸和田支援 (肢体不自由) 等	たまがわ高等支援学校 (知的障がい)	
		本校		共生推進教室	堺東高等学校 貝塚高等学校等 他 7校
			久米田高等学校等 他 3校		
10月	↓ 支援 学校 決定	<ul style="list-style-type: none"> ・10/27 10:00 堺見学会 (締切10/20) ・11/5 10:00 堺見学会 (締切10/29) ・10/28 9:30 岸和田見学会 (締切10/22) ・10/29 9:30 岸和田見学会 	※療育手帳が必要です。 ・10/25～11/5 見学会申込	※療育手帳が必要です。 ※必ず、中学校長から受験高等学校に連絡をお願いします。	※療育手帳が必要です。 ※必ず、中学校長から受験高等学校に連絡をお願いします。
11月		<ul style="list-style-type: none"> ・10/28 10:00 和泉見学会 ・10/29 10:00 和泉見学会 	<ul style="list-style-type: none"> ・11/18 14:00 見学会 ・11/19 14:00 見学会 		
12月		■1月中旬 和泉体験学習 ※必ず参加して下さい。			
2月	前期選抜	※願書受取時、出願日決定 ・2/4～2/14 出願	<ul style="list-style-type: none"> ・2/16, 2/17 出願 ・2/23 検査 ・2/24 面接 ・3/2 合格者発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・2/16, 2/17 出願 ・2/23又は2/24 面接 ・3/2 合格者発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・2/16, 2/17 出願 ・2/21～2/24のうち1日面接 ・3/2 合格者発表
3月	後期選抜	<ul style="list-style-type: none"> ・3/17 検査 ・3/25 14:00 入学予定者発表 		【募集人員に満たない場合】 <ul style="list-style-type: none"> ・3/10 出願 ・3/16 面接 ・3/24 合格者発表 	【募集人員に満たない場合】 <ul style="list-style-type: none"> ・3/10 出願 ・3/16 面接 ・3/24 合格者発表

支援教育に係る就学及び 進学指導について

高石市教育委員会
教育指導課 山本 恵美子

(1) 支援学級数 【大阪府】

区分	種別	学級数	児童数	知的障がい	肢体不自由	病弱・身体虚弱	自閉症・発達障がい	その他障がい	合計
小学校	支援学級	14	19	933	367	216	1,055	0	2,604
	通常学級	38	64	4,509	998	609	5,305	0	11,523
中学校	支援学級	7	20	381	159	90	368	0	1,025
	通常学級	17	46	1,846	398	245	1,572	0	3,924
合計	学級数	21	39	1,314	526	306	1,423	0	3,629
	児童数	55	110	6,165	1,396	854	6,877	0	15,447

平成22年 5月1日現在
大阪府教育委員会 ホームページより

(2) 支援学級数及び在籍児童生徒数 【高石市】

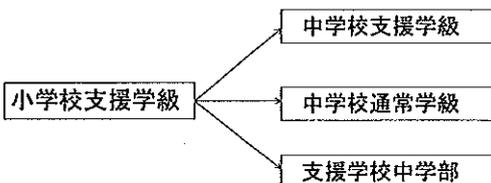
	7小学校	3中学校	合計
学級数	22	7	29
在籍人数	95名	29名	124名

平成22年5月1日現在

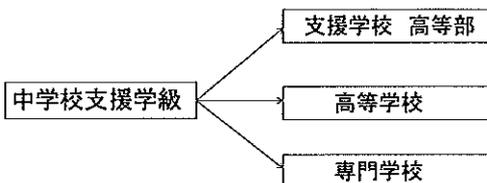
(3) 支援学級在籍児童生徒数の動向 【高石市】

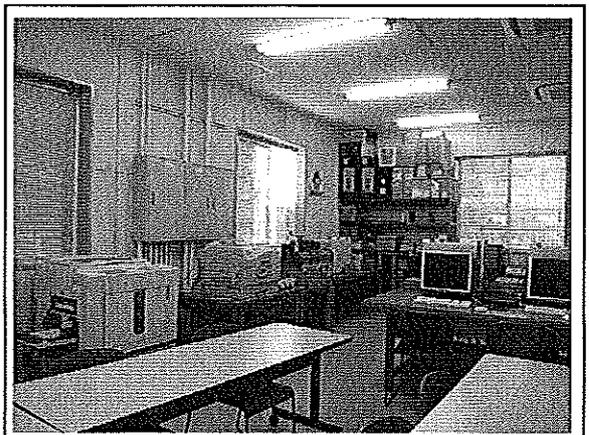
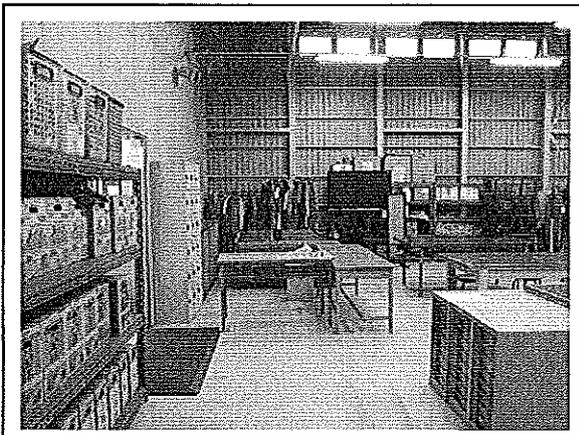
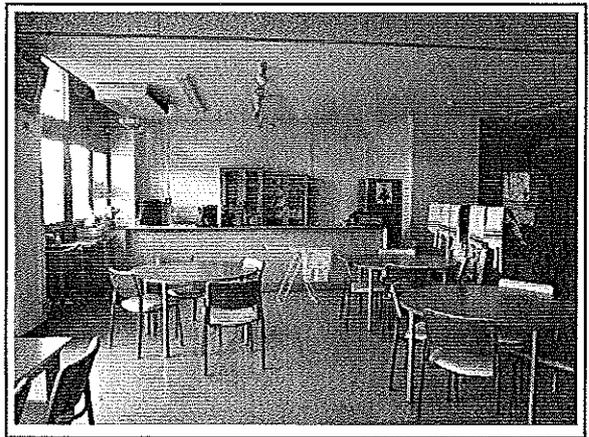
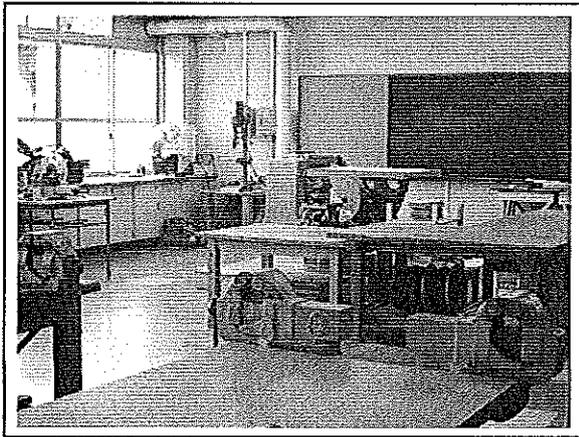
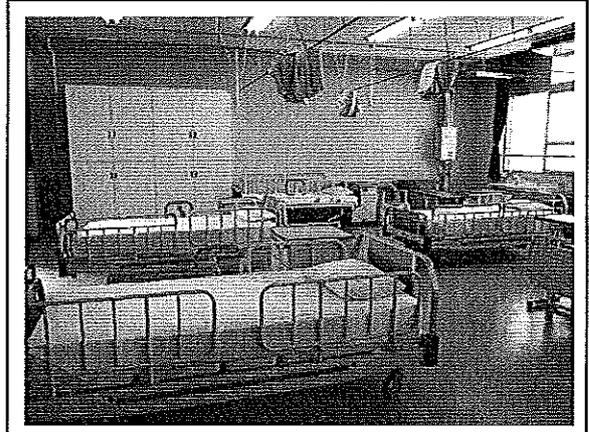
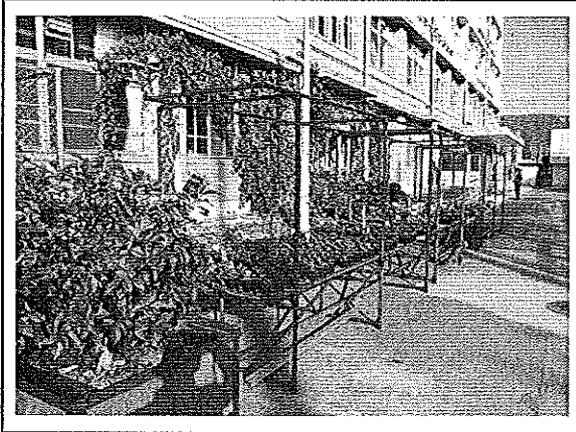
	小学校	中学校	合計
平成20年度	84名	13名	97名
平成21年度	91名	19名	110名
平成22年度	95名	29名	124名

(4) 小学校(支援学級)からの進路

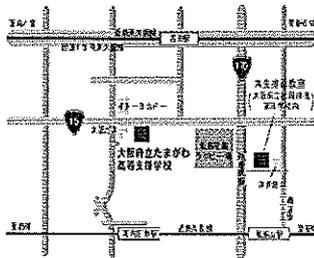


(5) 中学校(支援学級)からの進路





たまがわ高等支援学校周辺図



(3) たまがわ高等支援学校(本校)
共生推進校

・第4学区: 久米田高等学校など

平成24年度 就学に向けて

- 6月 就学相談開始
保護者向け案内配布
- 7月 懇談会等にて個別に教育相談等へ
つなぐ
- 11月 就学時健診にて教育相談
- 12月 来年4月支援学級入級についての
就学相談は12月15日(木)まで

【道徳教育】

《研修会等》

1. 高石市道徳教育研修会（年5回開催）

〈実施要項〉

1. 目的

学校における道徳教育の要となる「道徳の時間」の授業実践を通して、児童・生徒の「学ぶ意欲」と学力の基礎を高め、授業の構成要素及び在り方を探ることを目的とした授業研究を行い、大阪府教育委員会・大阪府教育センター等との連携のもと授業力の向上を目指すことを目的とする。

2. 実施内容

I. 「道徳の授業」に着目した授業研究

「読み物資料」の読みを中心とした研修を行い、「道徳の時間」の授業作りの具体的な実践力を養う。

※大学教授等との連携

II. 効果的な研究協議の在り方について研修

授業研究を通して「授業力」についての共通理解を深め、授業改善の振り返りを行う。

※授業者への依頼。学校との連携。

3. 計画一覧

①「高石市道徳教育推進教師等連絡会」の実施（1学期に1回程度開催）

※対象→道徳教育推進教師等

○平成22年度は、読み物資料のワーキングや模擬授業を中心に行う予定にしてこれまでの3年間の研修会を進めてきた。

	日時・内容	講師	場所
第1回	7月28日(水) 15時～17時15分 「読み物資料の読み方についてⅠ」 ※小・中学校の道徳の読み物資料の読み方と、内容項目について考え、授業での中心発問について考えます。	高石市教育委員会 指導主事 等	高石市役所 別館 1F 会議室 111
第2回	8月5日(木)15時～17時 「読み物資料の読み方についてⅡ」 ※小・中学校の道徳の読み物資料をもとにした模擬授業	京都市立修学院中学校 教諭 藤井 裕喜 氏	高石市役所 正庁北会議室
第3回	10月20日(水) 15時～17時 「読み物資料の読み方についてⅢ」 ※小・中学校の道徳の読み物資料をもとにした授業例の解説を行い、道徳の時間の授業について考えます。	高石市教育委員会 指導主事 等	高石市役所 別館 1F 会議室 111

<p>第 4 回</p>	<p>12月16日(木) 15時30分～17時 「読み物資料の読み方についてⅣ」 ※小・中学校の道徳の読み物資料をもとにした授業例の解説を行い、道徳の時間の授業について考えます。</p>	<p>高石市教育委員会 指導主事 等</p>	<p>高石市役所 本館 2F 正庁会議室北</p>
<p>第 5 回</p>	<p>2月21日(月) 15時30分～17時 「読み物資料の読み方についてⅤ」 ※小・中学校の道徳の読み物資料をもとにした授業例の解説を行い、道徳の時間の授業について考えます。</p>	<p>高石市教育委員会 指導主事 等</p>	<p>高石市役所 本館 2F 正庁会議室北</p>

【人権教育】

《研修会等》

1. 平成22年度高石市人権教育担当者連絡会

- 第1回 平成22年5月21日（金）午後3時40分～5時
 ○「人権教育について」中学校区別ワーキング
 ○各校の人権教育担当者による今年度年間計画についての交流
- 第2回 平成22年9月16日（木）午後3時40分～5時
 ○国際的な視野に立った人権教育
 ○道徳教育との関連
- 第3回 平成22年12月3日（金）午後3時40分～5時
 ○「ハンセン病と人権」について（人権教育研修会と同時開催）
- 第4回 平成23年1月20日（木）午後3時30分～5時
 ○「女性の人権」について（人権教育研修会と同時開催）

2. 平成22年度高石市人権教育研修会

回	日 時	内 容
1	平成22年6月17日（木） 午後3時40分 ～ 午後5時15分	講演 「同和問題について」 講師 大阪府教育センター 人権教育推進室 稲垣 靖 総括主任指導主事
2	平成22年7月23日（金） 午後3時00分 ～ 午後5時	講演 「発達障がい児の思春期と二次障がい予防のシナリオ」 —指導困難な状態像への見立てと対処法の基礎— 講師 三重県伊勢市宮川医療少年院元院長 小栗 正幸 氏 ※泉北3市1町支援教育研修講座と同時開催
3	平成22年8月4日（水） 午前10時 ～ 午前12時	演習 「子どもへの人権侵害事象の未然防止について」 講師 大阪府SSWスーパーバイザー 弁護士 峯本 耕治 氏 ※生徒指導担当者、学年主任担当者研修会と同時開催
4	平成22年12月3日（金） 午後3時40分 ～ 午後5時	演習 「ハンセン病と人権」について 講師 ハンセン病療養所退所者 川島 保 氏

5	平成23年1月20日（金） 午後3時30分 ～ 午後5時	演習 「女性の人権」について 講師 大阪府男女共同参画・青少年センターカウンセラー <div style="text-align: right;">川喜田 好恵 氏</div>
---	---	--

《作成物等について》

1. 人権標語・ポスターの募集
2. 標語・ポスターの人権週間展示について
3. 高石市立学校園人権作文集「わたしにもいわせて」
4. 「人権尊重のまちづくりを市民の力で
5. 高石市人権教育実践集の作成

平成22年度 高石市子ども元気広場(学び舎事業)実績

	元気広場事業			学び舎事業		
	平日	土日	長期 (夏季)	平日	土日	長期 (夏季)
高石小学校	1,765	—	—	—	—	—
羽衣小学校	446	718	—	—	—	—
高陽小学校	—	611	—	1,597	—	—
取石小学校	—	1,139	—	4,554	—	—
東羽衣小学校	—	1,070	—	144	357	—
清高小学校	495	1,839	13	484	1,850	13
加茂小学校	492	3,259	182	1,000	—	—
小 計	3,198	8,636	195	7,779	2,207	13
合 計	12,029			9,999		

あおぞら児童会入会児童数

平成22年4月1日 在籍

施設名	1年				2年				3年				4年				5年				6年				合 計				
	入会		待機		入会		待機		入会		待機		入会		待機		入会		待機		入会		待機		入会			待機	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女
高石	6	7	0	0	4	6	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	16	14	0	0
羽衣	10	7	0	0	10	9	0	0	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	28	22	0	0
加茂	22	13	0	1	13	11	1	0	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	46	30	1	1
東羽衣	13	11	0	0	14	14	0	0	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	36	37	0	0
取石 A	7	14	0	0	7	7	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	17	26	0	0
取石 B	7	7	0	0	7	10	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	20	23	0	0
高陽 A	14	14	0	0	5	6	0	0	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	23	26	0	0
高陽 B	13	14	0	0	6	4	0	0	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	23	24	0	0
清高 A	5	5	0	0	6	6	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	16	14	0	0
清高 B	6	7	0	0	3	6	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	14	15	0	0
合 計	103	99	0	1	75	79	1	0	61	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	472	239	231	1	1

平成22年度 公民館利用状況 集計

	公民館事業		登録団体		公共団体		青少年団体		婦人団体	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央公民館	53	491	1,085	15,372	139	4,630	236	5,404	32	523
千代田公民館	2	50	990	14,428	13	230	51	1,571	26	411
高師浜公民館	36	865	971	9,111	15	283	8	78	10	82
取石公民館	66	356	580	5,810	57	1,040	62	1,502	18	246
東羽衣公民館	40	815	1,076	13,900	10	248	35	628	18	319
清高公民館	—	—	517	6,254	77	2,592	42	911	20	440
羽衣公民館	29	523	1,145	16,316	51	1,797	45	1,166	20	299
合計	226	3,100	6,364	81,191	362	10,820	479	11,260	144	2,320

	成人団体		高齢者団体		その他		計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央公民館	67	1,463	5	51	169	2,927	1,786	30,861
千代田公民館	—	—	9	180	238	5,588	1,329	22,458
高師浜公民館	132	1,023	13	223	1	10	1,186	11,675
取石公民館	35	592	21	289	61	706	900	10,541
東羽衣公民館	113	2,861	20	309	194	2,201	1,506	21,281
清高公民館	67	994	24	120	98	754	845	12,065
羽衣公民館	342	4,905	25	352	—	—	1,657	25,358
合計	756	11,838	117	1,524	761	12,186	9,209	134,239

平成22年度 公民館事業実施報告

	事業名	実施日	時間	場所	対象	募集人数	参加人数
1	親子ふれあいリズム遊び	4月24日(土)	10:30~11:30	中央公民館	幼児と家族	30組	50
2	親子で楽しくフラダンス	10月22日(金)	10:00~11:30	中央公民館	幼児と保護者	25組	45
3	ポップスコンサート	10月24日(日)	14:00~15:00	中央公民館	中学生以上	120	48
4	骨盤体操	11月17日(水)	10:00~11:30	中央公民館	就学前のお子さんを持つ保護者	30	18
5	エコ・エネルギーの学習と工場見学	12月1日(水)	13:00~15:00	大阪ガス科学館	在住在勤在学	40	32
6	初めてのタイ語講座①	12月4日(土)	10:00~12:00	東羽衣公民館	在住在勤在学	24	24
7	第1回健康講座「誰も気づかなかった腰痛体操」	12月10日(金)	14:00~16:00	羽衣公民館	在住在勤在学	30	28
8	初めてのタイ語講座②	12月11日(土)	10:00~12:00	東羽衣公民館	在住在勤在学	24	24
9	人形劇フェスティバル	12月12日(日)	10:30~11:30	中央公民館	在住在勤在学	60	45
10	親子でエアロビクス	12月17日(金)	10:00~11:30	千代田公民館	幼児と保護者	25組	28
11	初めてのタイ語講座③	12月18日(土)	10:00~12:00	東羽衣公民館	在住在勤在学	24	24
12	歴史街道「街道を行く」①	1月21日(金)	13:00~15:00	中央公民館	在住在勤在学	30	30
13	歴史街道「街道を行く」②	1月28日(金)	13:00~15:00	中央公民館	在住在勤在学	30	30
14	第2回健康講座「こころと身体をリフレッシュ」	1月28日(金)	14:00~16:00	とろしプラザ	在住在勤在学	30	17
15	陶芸教室	1月29日(土)	13:00~16:00	千代田公民館	在住在勤在学	15	14
16	歴史街道「街道を行く」③	2月4日(金)	13:00~15:00	中央公民館	在住在勤在学	30	30
17	パステル画講座	2月4日(金)	10:00~12:00	東羽衣公民館	在住在勤在学	20	14
18	親子でクッキング	2月5日(土)	10:00~12:00	取石公民館	4歳~小学生 低学年と保護者	12組	26
19	パステル画講座	2月18日(金)	10:00~12:00	東羽衣公民館	在住在勤在学	20	14
20	パステル画講座	2月25日(金)	10:00~12:00	東羽衣公民館	在住在勤在学	20	14
21	リラックスコンサート	2月27日(日)	14:00~16:00	羽衣公民館	大人~子ども	130	78
22	国際交流「ベトナム料理を作ってみよう」	3月4日(金)	10:00~12:00	東羽衣公民館	在住在勤在学	24	12
23	中高生の子育てを考える	3月5日(土)	13:30~15:30	中央公民館	在住在勤在学	40	19
24	そば打ち体験	3月12日(土)	10:00~12:00	取石公民館	在住在勤在学	24	22
25	国際交流「ベトナム交流をしよう」	3月12日(土)	13:00~15:00	羽衣公民館	在住在勤在学	30	9
26	大阪ことばあそびうた	3月12日(土)	13:30~15:00	中央公民館	在住在勤在学	120	58

1	小学生定期講座 絵画教室	毎木曜日 33回実施	16:00~17:00	高師浜公民館	小学3年以上	30	26
2	小学生定期講座 読書講座	毎木曜日 34回実施	16:00~17:00	東羽衣公民館	小学1年以上	20	20
3	小学生定期講座 英会話講座	毎木曜日 31回実施	10:00~11:00	取石公民館	小学5・6年	20	7
4	小学生定期講座 音楽講座	毎木曜日 28回実施	13:00~14:00	羽衣公民館	小学1年以上	20	20
5	定期講座 日本語よみかき教室	毎木曜日実施	10:00~11:30	中央公民館	在住在勤の15歳以上の外国人	10	75
6	定期講座 日本語よみかき教室	毎日曜日実施	10:00~11:30	取石公民館	在住在勤の15歳以上の外国人	10	48

平成22年度 公民館クラブ交流会（発表会）入場者数等 集計表

期 日：平成23年2月10（木）～13日（日）

場 所：アプラホール（3階 ギャラリー・情報コーナー、小ホール）

（単位：人）

	展示発表（ギャラリー・情報コーナー）			演技発表（小ホール）			合 計
	出展者	入場者	計	出演者	入場者	計	
1/10（木）	203	70	273	---	---	---	273
1/11（金）	20	168	188	---	---	---	188
1/12（土）	20	281	301	153	287	440	741
1/13（日）	20	491	511	192	359	551	1,062
合 計	263	1,010	1,273	345	646	991	2,264

演 技 発 表
アブラホール3階小ホール

2月12日(土)

《午前の部》 10:00

NO	クラブ名	公民館名	内 容	予定時間
	開 会			10:00
1	取石箏系クラブ(琴)	取 石	「春の曲」演奏	05
2	高師浜箏系クラブ(琴)	高師浜	愛唱歌メドレー集	20
3	沖繩同好会(沖縄の踊り)	羽 衣	①加那ヨ一天川②黒島口説(くるしまくどうち) ③安里屋ユンダ	35
4	東羽衣詩吟クラブ	東羽衣	①川中島②弘道館にて梅花を賞す ③春日の作④富士山⑤寒梅	50
5	ひよこクラブ(社交ダンス)	清 高	チャチャチャ・ルンバ 他	11:05
6	LET (英会話)	清 高	英語のクイズ・英語の歌	20
7	歌兆会 (三味線・小唄・端唄・長唄)	東羽衣	端唄(長唄) 京底子娘道成寺・梅はさいたか・お伊勢まいり お江戸日本橋	30
8	花水木(女性コーラス)	千代田	①ハナミズキ ②ラテンメドレー	45

《休 憩》 12:00

《午後の部》 12:45

NO	クラブ名	公民館名	内 容	予定時間
9	舞踊サークル末広会	東羽衣	紫日記・雪月花・午前様	12:45
10	高師浜民謡同好会加茂教室	中 央	①鳴門馬子唄ばやし②祖谷の粉挽唄 ③西条酒造り唄④堀江盆唄(合唱)	13:00
11	高師浜民謡同好会	高師浜	①齊太郎節(宮城県)②こきりこ節(高知県) ③ろきよく炭鉱節(歌謡曲)④万才くずし(佐賀県)	15
12	健(すこやか)太極拳	羽 衣	入門八式太極拳・24式太極拳・剣	30
13	友謡会(謡曲)	羽 衣	羽衣	45
14	新舞踊クラブ	中 央	①むらさき雨情②夢芝居③月の娘	14:05
15	手作りマジック	千代田	手作りマジック	20
16	冠月会(詩吟舞)	東羽衣	①旧都の月②雪梅③田児の浦ゆ	35
17	藤の会(舞踊)	取 石	①浮草情話②無法松の一生③華の宴 ④花の幡障院⑤南国土佐を後にして	50

演 技 発 表
アブラホール3階小ホール

2月13日(日)

《午前の部》 10:00

NO	クラブ名	公民館名	内 容	予定時間
18	大正琴華美紗会	東羽衣	せんせい・大正琴一代・真赤な太陽	10:00
19	聖琴会(琴・三絃)	東羽衣	絵日傘によせて	15
20	高石マジッククラブ	中 央	奇術演技	30
21	サブナ21(健康体操)	羽 衣	丹田呼吸法・自きょう術・ペアー体操 他	45
22	アマリリス	羽 衣	愛のままで・四季の歌	11:00
23	新日本婦人の会ハモニー (コーラス)	千代田	三つのわらべうた・見上げてごらん夜の星を この広い野原いっぱい・汽車ポッポ	15
24	プリランテ(コーラス)	羽 衣	①夢をあきらめないで ②YELL ③A Little Jazz Massより「Kyrie」「Gloria」	30

《休 憩》 12:00

《午後の部》 12:45

NO	クラブ名	公民館名	内 容	予定時間
25	歩み(大正琴)	高師浜	ゲゲゲの鬼太郎・千曲川・証城寺のためぎ囃子	12:45
26	高石三味線同好会	取 石	人生劇場・真室川音頭・月の砂漠・万才くずし	13:00
27	イージーコーラス(演奏)	千代田	アザブル・ウインド・サロメ	15
28	女性合唱団コーロ羽衣	羽 衣	①ねさせうた②椿③未来へ	35
29	民謡教室高師浜公民館クラブ	高師浜	白頭山節・新相馬節・日光和楽踊 十三の砂山	50
30	高石民謡富木クラブ	取 石	①鳴門馬子唄ばやし②鏡吹き唄③しげさ節 ④東祖谷粉碾唄	14:05
31	若瑞穂(民謡・舞踊)	千代田	大阪行進曲・大阪なさけ・踊り8曲	20
32	十区民謡クラブ	東羽衣	①串本節②虹色のバイヨン③小原節	35
33	千代太極拳好々クラブ	千代田	簡化24式太極拳	50
34	ダンスクラブ「ワリア」	清 高	タンゴ・ワルツ 他	15:05
35	高石「土笛の会」 (オカリナ)	千代田	①汽車ドレ②見上げてごらん夜の星を ③幸せなら手をたたこう④リンゴの唄 ⑤青い山脈⑥ふるさと	20
	閉 会			35

展 示 発 表

アブラホール 3階
ギャラリー・情報コーナー

- ★2月10日(木) 午後1時～5時
- ★2月11日(金・祝) 午前9時30分～午後5時
- ★2月12日(土) 午前9時30分～午後5時
- ★2月13日(日) 午前9時30分～午後3時

展示発表のクラブ

(31クラブ)

中央公民館 (1クラブ)

書悠の会 (書道)

千代田公民館 (3クラブ)

木彫同好会・木彫クラブ・瑞松俳句同好会 (俳句)

羽衣公民館 (6クラブ)

高齢者羽衣体操クラブ (体操)・絵手紙「茜会」・絵手紙「楓会」

絵手紙「れんげ会」・合歓の会 (ちぎり絵)・新月句会 (俳句)

取石公民館 (4クラブ)

泉州労山高石 (山岳活動)・とろし囲碁クラブ (囲碁)

卓球趣味の会 (卓球)・取石和裁同好会 (和裁)

高師浜公民館 (5クラブ)

日本画トリビア・サロン (日本画)・年金者組合員手芸部 (手芸)

竜光写真クラブ (写真)・高石囲碁同好会 (囲碁)

高石中国語研究会 (中国語)

東羽衣公民館 (9クラブ)

虹の会 (水彩画)・高石川柳柳笑会 (川柳)・絵手紙「野の花」

絵手紙「花かご」・絵手紙「茜会」・絵手紙「はまなす会」

七衣句会 (俳句)・白馬国際芸術会 (油絵)・着物着付クラブ (着付)

清高公民館 (3クラブ)

書道クラブ清高会 (書道)・果林会手編同好会 (手編み)

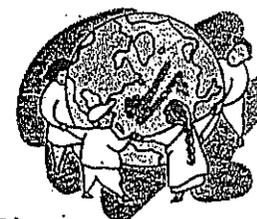
華やぎ公典会 (華道)



平成22年度 高石市立公民館 クラブ交流会・発表会

公民館で活動しているクラブの皆さんが、日頃の学習の成果を発表します。
今回は、市内の7つの公民館のクラブが一堂に会しアブラホールで行います。
多数の皆さんのご来場をお待ちしております。

展 示 発 表



★期 日 平成23年2月10日(木)～13日(日)

★時 間 午前9時30分～午後5時
ただし、10日(木)は午後1時～5時
13日(日)は午前9時30分～午後3時

★場 所 たかいし市民文化会館「アブラホール」
(3階 ギャラリー・情報コーナー)

演 技 発 表

★期 日 平成23年2月12日(土)・13日(日)

★時 間 午前の部 午前10時～12時
午後の部 午後12時45分～4時

★場 所 たかいし市民文化会館「アブラホール」3階 小ホール



中央公民館 (TEL: 265-6422)	千代田公民館 (TEL: 264-0886)
羽衣公民館 (TEL: 265-3227)	高師浜公民館 (TEL: 263-2208)
取石公民館 (TEL: 260-0550)	東羽衣公民館 (TEL: 262-8545)
清高公民館 (TEL: 263-5885)	

平成 22 年 度

市民文化祭見学者数

事業名	日時	場所	内容	見学者
菊花展	10月27日(水) ～11月10日(水)	高石駅西側 ポケットパーク	菊花の展示	
市展	11月1日(月) ～3日(祝・水)	アプラホール ギャラリー サブギャラリー こどもプラザ 情報コーナー	写真・手工芸・着付 陶芸・短歌・俳句・随筆	前期 1,776名
	11月5日(金) ～7日(日)		絵画・書道・華道 川柳・俳画・編物	後期 1,954名
高石市民文化祭セレモニー	11月3日(祝・水) 10時30分	アプラホール 大ホール	文化祭開催にあたり式典を行います	300名
民謡・民謡大会	11月3日(祝・水) 10時30分～4時30分	アプラホール 大ホール	民謡・民謡の披露	500名
詩吟大会	11月3日(祝・火) 10時00分～17時00分	アプラホール 小ホール	詩吟の披露	150名
日本舞踊	11月7日(日) 10時30分～12時30分	アプラホール 大ホール	日本舞踊の披露	350名
三曲演奏	11月7日(日) 13時30分～16時30分	アプラホール 大ホール	箏・尺八・三絃の演奏	350名
茶席	11月7日(日) 10時30分～14時	アプラホール ホワイエ	来館者に呈茶 (菓子類がなくなり次第終了)	150名
文化講演会	11月12日(金) 開場13時30分 開会14時～16時	アプラホール 小ホール	インドネシア・バリ島のガム ン音楽と舞踊及び講演	110名
茶席	11月23日(祝・火) 10時30分～14時	アプラホール ホワイエ	来館者に呈茶 (菓子類がなくなり次第終了)	150名
音楽会	11月23日(祝・火) 1時30分～4時	アプラホール 大ホール	市内諸団体による演奏会	300名

平成22年度高石市文化協会 部門別登録団体

(76団体)

舞台披露部門			作品展示部門		
種 別	所属団体数	登録会員数	種 別	所属団体数	登録会員数
茶 道	4	43	華 道	6	61
民 謡 民 踊	19	404	書 道	2	21
詩 吟	7	498	絵 画	8	133
音 楽	2	53	手芸・工芸	4	54
三曲演奏・ 日本舞踊	7	101	陶 芸	2	37
			園 芸	1	50
			和裁・洋裁・ 着付	2	29
			文芸部	7	77
			料 理	0	0
			写 真	5	69
合 計	39	1099	合 計	37	531

第55回高石市民体育大会経過一覧表

※実施日：平成22年10月24日（日） 於：鴨公園

NO	種 目	参加対象者	定 員 (出場予定人数)			予 定 時 間		経 過 時 間		競 技 時 間		出場人数	備 考
			1回の出場人数	競技回数	計		所要時間 (分)		所要時間 (分)		所要時間 (分)		
1	開会式				1,000	9:30~10:10	40	9:26~10:02	40			1,040	
2	力をあわせて	体育協会	4人×5~6連盟	3	68	10:10~10:20	10	10:02~10:12	10	10:05~10:12	7	28	
3	ジャンボバトンリレー	PTA連絡協議会	8人×8チーム	2	128	10:20~10:30	10	10:12~10:25	11	10:14~10:25	11	128	
4	50m競走	小学1・2・3年生	8人	40	320	10:30~10:55	25	10:25~10:53	28	10:25~10:45	20	255	
5	50m競走	30歳以上の男女	8人	10	80					10:45~10:48	3	49	
6	100m競走	小学4・5・6年生	8人	40	320					10:25~10:48	23	245	
7	100m競走	一般男女 (中学生以上)	8人	10	80					10:48~10:53	5	66	
8	ビッグスプーンレース	一般女子 (中学生以上)	10人	15	150	10:55~11:05	10	10:53~11:00	10	10:54~11:00	6	71	
9	バーゲンセール	婦人団体協議会	8人×7チーム	1	56	11:05~11:15	10	11:00~11:05	5	11:01~11:05	4	56	
10	タルころがしレース	一般男女 (中学生以上)	10人	15	150	11:15~11:30	15	11:05~11:23	22	11:06~11:23	17	106	
11	がんばろう高石っ子！それはむりや輪	こども会育成協議会	40人	10	400	11:30~11:50	20	11:23~11:37	14	11:24~11:37	13	320	
12	ダルマさんが転んだ	幼児と保護者	10組 20人	10	300	11:50~12:10	20	11:37~12:02	22	11:38~12:02	24	120	
13	紅白玉入れ	スポーツ少年団	250人	3	250	12:10~12:20	10	12:12~12:25	13	12:03~12:14	11	183	
14	400m競走	小学生 (男女)	25人程度	5	100	12:20~12:30	10	12:25~12:44	19	12:14~12:30	16	109	男60 女49
15	800m競走	一般男女 (中学生以上)	30人程度	3	60	12:30~12:45	15	12:44~13:01	17	12:30~12:45	15	56	男50 女6
16	ヒップダウン	一般女子 (中学生以上)	10人	20	200	12:45~12:55	10	12:45~12:52	7	12:46~12:52	6	88	
17	自治会こども対抗メドレーリレー (予選)	各自治会	6人×4~5チーム	6	156	12:55~13:15	20	12:52~13:17	25	12:55~13:17	22	156	26チーム
18	自治会対抗メドレーリレー (予選)	各自治会	6人×5~6チーム	4	138	13:15~13:30	15	13:17~13:33	16	13:18~13:33	15	138	23チーム
19	落穂ひろい	幼児と保護者	10組 20人	15	300	13:30~13:45	15	13:33~13:44	11	13:34~13:44	10	138	
20	鉄人ツライアスロン	一般男女 (中学生以上)	10人	15	150	13:45~14:00	15	13:44~14:01	17	13:47~14:01	14	92	
21	ボールけり競争	小学生 (男女)	10人	17	255	14:00~14:20	20	14:01~14:19	18	14:03~14:19	16	251	
22	ナイスちよっと！	60歳以上の男女	10人	8	80	14:20~14:30	10	14:19~14:27	8	14:21~14:27	6	53	
23	グッブアウェイ	一般男女 (中学生以上)	15人	14	200	14:30~14:45	15	14:27~14:41	14	14:29~14:41	12	185	
24	自治会こども対抗メドレーリレー (決勝)	各自治会	6人×6チーム	2	72	14:45~14:55	10	14:41~14:52	11	14:43~14:52	9	72	
25	自治会対抗メドレーリレー (決勝)	各自治会	6人×6チーム	2	72	14:55~15:05	10	14:52~15:00	8	14:53~15:00	7	72	
26	閉会式				144	15:05~15:30	25	15:00~15:33	33	15:02~15:33	31	144	
	計				5,229							4,221	

88

平成22年度 高石市体育協会各連盟事業一覧

連盟名	実施日	大会名等	会場
キックベースボール	5/5	第7回羽衣学園理事長杯争奪戦大会	羽衣学園
	5/30	第18回奥田杯争奪レディース大会	鴨公園運動広場
	7/25	サマーキャンプ	高師浜野外活動センター
	8/22	第17回高石市長杯大会	高砂公園運動広場
	9/6・9/13	第21回高石ライオンズクラブ会長旗争奪大会	鴨公園運動広場
	9/23	第20回三井化学杯大会	三井化学グランド
	11/14	第2回高石キックベースボール大会(レディース)	高砂公園運動広場
	11/14	第2回高石キックベースボール大会(レディース)	高砂公園運動広場
	12/19	第18回高石市長杯レディース大会	加茂小学校
	3/6	6年生社行会	加茂小学校
3/27	平成23年 新人戦	清高小学校	
グラウンド・ゴルフ	4/15	第10回奥田杯グラウンド・ゴルフ大会	鴨公園運動広場
	5/21	第15回高石市グラウンド・ゴルフ連盟杯大会	鴨公園運動広場
	6/4	第5回藤井病院杯グラウンド・ゴルフ大会	鴨公園運動広場
	9/11	第4回泉北地区グラウンド・ゴルフ大会	鴨公園運動広場
	9/11	第10回高石市長杯グラウンド・ゴルフ大会	鴨公園運動広場
	11/4	第7回高石市老連会長杯グラウンド・ゴルフ大会	鴨公園運動広場
	11/9	第2回高石市グラウンド・ゴルフ連盟レディース大会	鴨公園運動広場
	12/1	第2回連盟会長杯グラウンド・ゴルフ大会	鴨公園運動広場
12/16	連盟特別グラウンド・ゴルフ大会	鴨公園運動広場	
ゲートボール	4/18	春季ゲートボール大会	市ゲートボール場
	5/15	泉大津市長杯ゲートボール大会	泉大津市東雲グランド
	5/16	忠岡セルビス杯ゲートボール大会	忠岡町ゲートボール場
	6/20	大阪連盟会長杯ゲートボール大会	岸和田中央グランド
	9/2	第28回社協ゲートボール大会	市ゲートボール場
	9/25	泉大津市セルビス杯ゲートボール大会	泉大津市東雲グランド
	10/21	シルバー杯ゲートボール大会	大阪城公園
	11/3	和泉市秋季ゲートボール大会	和泉市多目的グランド
	11/6	泉大津市秋季ゲートボール大会	泉大津市東雲グランド
	11/21	高石市秋季ゲートボール大会	市ゲートボール場
剣道	5/23	府下高石剣道優勝大会	臨海スポーツセンター
	9/5	昇級審査	市立体育館
	11/7	高石市民剣道大会	市立体育館
サッカー	4/25~11/28	第40回高石社会人サッカーリーグ	高師浜運動広場
	1/16~2/13	第27回高石社会人クラス別トーナメント大会	高師浜運動広場
	2/26~3/13	第43回高石少年サッカーフェスティバル	高師浜運動広場他
	3/6~3/27	第33回大阪・市町村連盟優勝大会	長居第2他
柔道	1/10	初稽古・鏡開き	市立体育館
	2/27	昇級審査	市立体育館
	3/27	高石市民柔道大会	市立体育館

連盟名	実施日	大会名等	会場
少林寺拳法	4/11	大阪府・高石市合同技術審査会	大阪市中央体育館
	4/28	合同練習	中央公民館
	5/2	遷都1300年祭少林寺拳法合同発表会	大和西大寺
	6/13	大阪府・高石市合同技術審査会	大阪市中央体育館
	7/4	2010年 大阪府民体育大会	大阪市中央体育館
	7/28	合同練習	中央公民館
	9/19	大阪府・高石市合同技術審査会	吹田市洗心館
	10/3	合同練習	中央公民館
	12/12	広域交流平成22年度泉北地区少林寺拳法スポーツ少年大会	桃山学院大学 総合体育館
	12/19	大阪府・高石市合同技術審査会	大阪市中央体育館
	1/19	合同練習	中央公民館
	2/6	大阪府・高石市合同技術審査会	大阪市中央体育館
	2/13	合同練習	市立体育館
	3/21	平成22年度高石市少林寺拳法連盟大会	市立体育館
	3/23	合同練習	中央公民館
水泳	8/2~8/12	水泳教室	中央・高陽小学校プール
	8/12	上級者・上級終了者テスト	高陽小学校プール
	8/14	指導員・上級修了者テスト	高陽小学校プール
ソフトテニス	3月~12月	ママさんソフトテニススクール	高師浜テニス場
	4/4	第63回高石市ソフトテニス大会	高師浜テニス場
	5月~8月	ソフトテニス教室(前期)	新公園テニス場
	6/6	第21回高石市団体戦ソフトテニス大会	高師浜テニス場
	9/4	第64回高石市ソフトテニス大会(ジュニアの部)	新公園テニス場
	9/5	第64回高石市ソフトテニス大会(一般の部)	高師浜テニス場
	11月~2月	ソフトテニス教室(後期)	新公園テニス場
2/5	第25回高石市選抜インドアソフトテニス大会	臨海スポーツセンター第1体育館	
ソフトボール	4/4~4/18	市民春季ソフトボール大会	高師浜運動広場他
	5/9~5/16	大阪RS協会 会長杯(女子の部)大会	高砂公園野球場他
	9/5~9/19	高石市秋季ソフトボール大会	高砂公園野球場他
卓球	5/16	高石市ラージボール大会	市立体育館
	6/20	第83回市民卓球大会	市立体育館
	9/12	第25回高石市オープンダブルス卓球大会	市立体育館
	11/21	第84回市民卓球大会	市立体育館
	2/13	第28回高石市民卓球ダブルス大会	市立体育館
庭球	4/18~5/16	第37回高石市テニスフェスティバル	高師浜テニス場他
	6/20~7/18	第28回高石市チーム対抗テニス大会	高師浜テニス場他
	7/24~8/21	ジュニア テニス教室	高師浜テニス場他
	7/26~7/30	キッズ テニス教室	高師浜テニス場他
	9/26~10/24	第37回高石市庭球選手権	高師浜テニス場他

連盟名	実施日	大会名等	会場
バドミントン	4/18	高石市民バドミントン選手権大会(個人戦)	市立体育館
	6/6	大阪府総体強化練習	市立体育館
	9/26	高石市民バドミントン講習会(中学生)	市立体育館
	11/14	高石市民バドミントン混合戦大会(個人戦)	市立体育館
	1/16	高石市民バドミントン講習会	市立体育館
	3/6	高石市民バドミントン混合戦大会(団体戦)	市立体育館
	3/13	高石市民小・中学生バドミントン大会	市立体育館
バレーボール	4/18	第1回市民バレーボール大会	加茂小学校
	5/23	第2回市民バレーボール大会	加茂小学校
	6/27	第3回市民バレーボール大会	三井化学グランド
	11/23	府民バレーボール大会	なみはやドーム
	12/5	第4回市民バレーボール大会	加茂小学校
	1/16	第5回市民バレーボール大会	加茂小学校
陸上競技	5/30	第42回高石市民陸上競技大会	高南中学校
	7/11	第10回高石市種目別陸上競技大会	取石中学校
	12/12	第44回高石市民マラソン大会	浜寺公園
軟式野球	4月～10月	前期野球大会	高師浜野球場他
	4月～10月	市町村野球大会	高師浜野球場他
	4月～翌3月	後期野球大会	高師浜野球場他
空手	12/5	第25回高石市空手道選手権大会	市立体育館
	1/9	寒げいこ	市立体育館

平成22年度 ふるさと村（キャンプ場）利用状況

月	区分	日 帰 り			宿 泊												合 計		
					1 泊			2 泊			3 泊以上			小 計					
		市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
6	件数	0	0	0													0	0	0
	人数	0	0	0													0	0	0
7	件数	0	0	0	30	1	31	4	1	5	0	0	0	34	2	36	34	2	36
	人数	0	0	0	724	8	732	54	210	264	0	0	0	778	218	996	778	218	996
8	件数	2	0	2	70	7	77	5	0	5	0	0	0	75	7	82	77	7	84
	人数	9	5	14	1,052	326	1,378	150	0	150	0	0	0	1,202	326	1,528	1,211	331	1,542
9	件数	2	0	2													2	0	2
	人数	8	2	10													8	2	10
合計	件数	4	0	4	100	8	108	9	1	10	0	0	0	109	9	118	113	9	122
	人数	17	7	24	1,776	334	2,110	204	210	414	0	0	0	1,980	544	2,524	1,997	551	2,548

平成22年度 野外活動センター（キャンプ場）利用状況

月	区分	日 帰 り			宿 泊												合 計		
					1 泊			2 泊			3 泊以上			小 計					
		市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
4	件数	8	0	8													8	0	8
	人数	491	11	502													491	11	502
5	件数	12	3	15													12	3	15
	人数	667	98	765													667	98	765
6	件数	6	0	6													6	0	6
	人数	173	31	204													173	31	204
7	件数	5	0	5	4	0	4			0			0	4	0	4	9	0	9
	人数	119	12	131	524	0	524			0			0	524	0	524	643	12	655
8	件数	5	2	7	1	0	1			0			0	1	0	1	6	2	8
	人数	178	62	240	60	100	160			0			0	60	100	160	238	162	400
9	件数	5	2	7													5	2	7
	人数	161	40	201													161	40	201
10	件数	3	3	6													3	3	6
	人数	60	54	114													60	54	114
11	件数	1	1	2													1	1	2
	人数	56	30	86													56	30	86
12	件数	2	0	2													2	0	2
	人数	67	0	67													67	0	67
1	件数	1	0	1													1	0	1
	人数	120	0	120													120	0	120
2	件数	0	0	0													0	0	0
	人数	0	0	0													0	0	0
3	件数	2	0	2													2	0	2
	人数	127	0	127													127	0	127
合計	件数	50	11	61	5	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	5	55	11	66
	人数	2,219	338	2,557	584	100	684	0	0	0	0	0	0	584	100	684	2,803	438	3,241

平成22年度社会体育主要事業

生涯学習課 スポーツ振興係

事業名	実施期間	事業内容
市民プール一般開放	7/11、7/18～8/23	中央プール
学校プール開放事業	7/22～7/28	高陽小学校プールを開放委員会が市補助で運営
	8/2～8/8	取石小学校プールを開放委員会が市補助で運営
第54回市民体育大会	10/24(日) 予備日10/31	市民対象に個人・団体種目・自治会対抗リレー等
学校体育施設開放事業	毎月20日抽選	市立小・中学校10校・高石高校開放事業 (登録団体 33)
第18回泉州国際市民マラソン	2/20(日)	阪南9市4町で構成する実行委員会を実施 事務局員は通過市町から1名派遣
体育協会総会・実行委員会	随時	年間事業計画・予算等の審議
大阪府総合体育大会	6/27(日) 8/29(日)	府総合体育大会泉北地区大会・中央大会の実施
泉北地区スポーツ少年団指導者研修会	9/7(木)	泉北3市1町指導者研修会 ジュニア世代の栄養講座

体育指導委員協議会事業

事業名	実施期間	事業内容
ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク	5/9(日)	浜寺公園コース(3km・5km)各ポイントでゲーム を行いながら親子でウォーキングする 参加者267名
ニュースポーツ教室	6/26(土)	こどもから高齢者まで参加にできるニュースポーツの普及に努め、手軽にスポーツや遊びができる環境をつくる目的。種目としてファミリーバドミントン・カローリング・スリーアイズ 会場 市立体育館 参加者 47名
親と子の軽体操教室	8/2～8/6(火曜日除く) (月)(金)	「親子のふれあい」を目的として3.4.5歳の幼児と保護者 対象に夏休み期間(4日間)を利用して実施 羽衣小体育館 リズム体操・ボール遊び・フォークダンス等実施 会場 中央公民館 参加者 親子30組
泉北ファミリーバドミントン講習会	11/13(土)	ファミリーバドミンントンの普及振興のため泉北3市1町交流会 会場 市立体育館 参加者 43名
市民ハイキング	3/13(日)	市民の健康づくりと体力向上のためハイキングを実施
協議会総会・定例会	毎月第3木曜	毎月の事業実施等の打合せ及び調整 (16名)
泉北地区体育指導委員研修会	8/18(水)	泉北4市1町体育指導委員の交流と資質向上(和泉市)
大阪府体育指導委員研修会	9/4(土)	市町村におけるスポーツにおける諸問題について研究協議
近畿体育指導委員協議会	2/4(金)・5(土)	近畿地区におけるスポーツの諸問題について研究協議・講習会

平成22年度運動施設月別利用状況

（生涯学習課所管分・市立体育館を除く。）

施設 名 月	総 数		高師浜野球場		高砂公園野球場		高師浜運動広場		高砂公園運動広場		高師浜テニ場 (4面)		新公園テニート (3面)	
	利用 件数	利用 人数	利用 件数	利用 人数	利用 件数	利用 人数								
4	740	11,746	74	2,754	30	1,163	63	2,497	26	1,235	292	2,616	255	1,481
5	856	14,123	72	2,536	35	1,450	75	2,967	38	1,830	345	3,014	291	2,326
6	617	10,222	61	1,996	20	686	60	2,473	19	990	238	1,988	219	2,089
7	725	13,156	71	2,581	32	1,194	74	2,769	30	1,520	293	3,049	225	2,043
8	799	15,458	74	2,756	45	2,021	85	3,621	33	1,625	330	3,287	232	2,148
9	719	11,783	82	2,763	31	1,085	59	2,404	30	1,453	287	2,589	230	1,489
10	781	12,891	81	2,812	34	1,413	74	2,885	28	1,380	335	2,915	229	1,486
11	802	12,383	52	1,919	22	1,153	73	2,704	31	1,575	366	2,814	258	2,218
12	704	11,406	43	1,545	27	1,240	66	2,647	27	1,324	312	2,655	229	1,995
1	681	10,780	53	1,933	28	980	56	2,237	26	1,220	279	2,250	239	2,160
2	678	10,649	65	2,053	26	1,073	52	2,185	25	1,235	287	2,057	223	2,046
3	802	12,302	80	2,903	25	930	67	2,862	24	1,172	339	2,941	267	1,494
計	8,904	146,899	808	28,551	355	14,388	804	32,251	337	16,559	3,703	32,175	2,897	22,975

市立プール入場者数

平成22年度					
中央プール					
月日	曜日	天候	大人	小人	計
7/11	日	雨	22	56	78
7/18	日	晴	71	142	213
7/19	月	晴	87	178	265
7/20	火	晴	28	234	262
7/21	水	晴	46	212	258
7/22	木	晴	43	196	239
7/23	金	晴	37	194	231
7/24	土	晴	88	146	234
7/25	日	晴	101	158	259
7/26	月	晴	51	145	196
7/27	火	晴	49	147	196
7/28	水	曇	39	138	177
7/29	木	雨	1	2	3
7/30	金	晴	45	166	211
7/31	土	晴	72	50	122
8/1	日	晴	78	119	197
8/2	月	晴	72	50	122
8/3	火	晴	38	107	145
8/4	水	晴	58	142	200
8/5	木	晴	46	134	180
8/6	金	曇	34	105	139
8/7	土	晴	55	90	145
8/8	日	晴	87	96	183
8/9	月	曇	38	104	142
8/10	火	晴のち曇	54	113	167
8/11	水	曇	36	75	111
8/12	木	雨のち曇	7	15	22
8/13	金	曇	66	105	171
8/14	土	晴	60	55	115
8/15	日	晴	74	73	147
8/16	月	晴	66	108	174
8/17	火	晴	54	102	156
8/18	水	晴	54	137	191
8/19	木	晴	55	116	171
8/20	金	晴	51	129	180
8/21	土	晴	75	99	174
8/22	日	晴	96	108	204
合計			2,034	4,346	6,380

平成22年度 第1期スポーツ教室受講料

(継続+新規)

(単位：人・円)

教室名	定員数	新規募集人数	受講申込者数			受講料	受講料合計
			継続	新規	計		
少年バトミントン	40	30	15	9	24	3,800	91,200
少年器械体操 A	45	10	35	10	45	3,800	171,000
少年器械体操 B	45		43	0	43	3,800	163,400
少年器械体操 C	45	11	34	11	45	3,800	171,000
少年器械体操 D	45		48	0	48	3,800	182,400
少年器械体操 E	45		42	0	42	3,800	159,600
レディースバレーボール	40	26	14	8	22	5,300	116,600
レディースバトミントン A	35	12	23	7	30	5,800	174,000
レディースバトミントン B	35	17	18	0	18	5,800	104,400
レディース卓球	40	24	16	1	17	5,300	90,100
レディース体操 A	45	26	19	2	21	5,300	111,300
レディース体操 B	45	24	21	1	22	5,300	116,600
ママと幼児の健康体操 A	20組		3	0	3	3,800	11,400
ママと幼児の健康体操 B	20組	20	0	20	20	3,800	76,000
エアロビクス	45	32	13	7	20	5,300	106,000
合計	550	232	344	76	420		1,845,000

平成22年度 第2期スポーツ教室受講料

(継続+新規)

(単位：人・円)

教室名	定員数	新規募集人数	受講申込者数			受講料	受講料合計
			継続	新規	計		
少年バトミントン	40	19	21	3	24	3,800	91,200
少年器械体操 A	45	7	38	7	45	3,800	171,000
少年器械体操 B	45		41	0	41	3,800	155,800
少年器械体操 C	45	5	40	5	45	3,800	171,000
少年器械体操 D	45		45	0	45	3,800	171,000
少年器械体操 E	45		42	0	42	3,800	159,600
レディースバレーボール	40	22	18	7	25	5,300	132,500
レディースバトミントン A	35	9	26	3	29	5,800	168,200
レディースバトミントン B	35	17	18	2	20	5,800	116,000
レディース卓球	40	30	10	1	11	5,300	58,300
レディース体操 A	45	26	19	4	23	5,300	121,900
レディース体操 B	45	26	19	6	25	5,300	132,500
ママと幼児の健康体操	20組	17	3	5	8	3,800	30,400
ママと幼児の健康体操	20組	4	16	4	20	3,800	76,000
エアロビクス	45	28	17	4	21	5,300	111,300
合計	550	210	373	51	424		1,866,700

平成22年度 第3期スポーツ教室受講料

(継続+新規)

(単位：人・円)

教室名	定員数	新規募集人数	受講申込者数			受講料	受講料合計
			継続	新規	計		
少年バトミントン	40	18	22	1	23	2,750	63,250
少年器械体操 A	45	13	32	13	45	2,750	123,750
少年器械体操 B	45		42	0	42	2,750	115,500
少年器械体操 C	45	6	39	6	45	2,750	123,750
少年器械体操 D	45		46	0	46	2,750	126,500
少年器械体操 E	45		40	0	40	2,750	110,000
レディースバレーボール	40	24	16	2	18	3,750	67,500
レディースバトミントン A	35	11	24	2	26	4,250	110,500
レディースバトミントン B	35	11	24	3	27	4,250	114,750
レディース卓球	40	29	11	2	13	3,750	48,750
レディース体操 A	45	24	21	0	21	3,750	78,750
レディース体操 B	45	28	17	2	19	3,750	71,250
ママと幼児の健康体操 A	20組	12	8	6	14	2,750	38,500
ママと幼児の健康体操 B	20組	1	19	1	20	2,750	55,000
エアロビクス	45	27	18	3	21	3,750	78,750
合計	550	204	379	41	420		1,326,500

平成22年度 市立体育館室別月別利用状況

室名 月	総 数		体 育 室		卓 球 場		剣 道 場		柔 道 場		トレーニング室	
	利用 件数	利用 人数										
4	964	5,601	124	2,285	163	432	83	1,629	270	931	324	324
5	1,052	5,977	128	2,347	184	485	84	1,742	271	1,018	385	385
6	1,033	6,195	117	2,510	158	438	85	1,841	271	1,004	402	402
7	998	6,215	109	2,535	141	400	72	1,974	263	893	413	413
8	924	5,458	102	2,209	141	411	68	1,549	254	930	359	359
9	913	5,967	101	2,351	131	387	76	1,919	245	950	360	360
10	938	5,843	112	2,341	121	356	86	1,899	253	881	366	366
11	892	5,942	101	2,308	118	365	81	1,849	268	1,096	324	324
12	823	4,711	94	1,689	94	298	83	1,497	214	889	338	338
1	873	5,391	99	2,120	148	434	80	1,457	218	1,052	328	328
2	904	5,693	116	2,301	134	381	83	1,631	228	1,037	343	343
3	1,047	6,603	120	2,442	179	547	97	2,020	246	1,189	405	405
計	11,361	69,596	1,323	27,438	1,712	4,934	978	21,007	3,001	11,870	4,347	4,347

平成22年度の図書館郷土資料室での展示

会 期	題 名	概 要
3月 3日(水)から 4月26日(月)	1930年代の東アジア各国 の写真と清朝宮中写真展	中国清朝宮中写真帳・台湾風俗写真帳、 および東アジア各国の近代の写真を展示。
5月12日(水)から 5月30日(日)	作家「(故)中野隆夫」作品展	(図書館事業) 市内在住の作家であり画家の中野隆夫さん の童画など、今は遠い時代の高石の風や光、 人々の息遣いを感じられる作品を展示。
6月 2日(水)から 7月31日(土)	伽羅橋・伽羅橋東・大園遺跡展	市内3遺跡から出土した中世の資料を展示。 当時の人々の暮らしの息吹を感じさせる土器 や陶磁器、また中国産輸入磁器の他、中世 の民家模型、京都の町屋模型などもあわせて 並べる。
8月 4日(水)から 9月27日(月)	戦国時代の綾井城展	専称寺本堂建て替えに伴う発掘調査で出土 した遺構や遺物などを展示。鎌倉時代から 戦国時代末まで続いた綾井城の実態を探る。
10月 6日(水)から 11月29日(月)	近・現代新聞展	時代を感じさせる紙面が、当時の出来事を 生々しく伝える明治初年の大阪朝日新聞・ 明治天皇崩御朝日新聞・太平洋戦争関係 新聞などを展示。
12月 8日(水)から 1月30日(日)	濱寺ロシア人俘虜収容所展	濱寺ロシア人俘虜収容所長隈部潜少将の ご子孫にあられる鈴木正子氏からの寄贈 品など市所蔵の収容所関係資料を展示。
2月 9日(水)から 3月28日(月)	高石の貝細工展	貝細工の工程見本や製品などを展示。 明治後期より高石(千代田)の地場産業と して発展した貝細工を紹介。

なんでも高石学入門

市民の皆さんから私たちの住んでいる高石のことをもっと知りたいという声がよく聞かれます。そこで、高石のもつ歴史・文化の紹介だけでなく、自然・地理・産業・食・ことばの分野なども含め、歴史的なことから現代的なことまで、クイズ形式でとりあげ、幅広い知識・情報を発信していきます。

高石の魅力を知っていただくことで、わがまち高石への愛情を高め、市民としての誇りを再認識してもらえることを願っています。この「なんでも高石学入門」が郷土高石を知る一助となれば幸いです。

【生涯学習課】

設問

Q 今から100年あまり前、高石市の海浜一帯に、ある国の捕虜2万人以上を収容した施設があったことから、浜寺公園内には、日本と同国の友好の碑が建てられています。ある国とはどこでしょう？

- ①中国 ②アメリカ ③ロシア ④ドイツ

解説

1904年(明治37年)から1905年に戦われた日露戦争に際し、7万人以上のロシア軍の俘虜が日本国内の収容所に収容されました。そして、高石村大字高石北7高石南から上条村大字助川にかけての海浜地帯に、約2万8千人を収容した国内最大の規模の俘虜収容所が設置されました。木造の宿舎が建てられ、病院も設けられ、パン工場もあり、住民との交流もあったと云われています。当時の高石村の人口は3500人であったため、俘虜の人数はその約8倍にあたり、高石村の人たちにとっては大事件でした。見物に訪れる人たちが食料をはじめ諸物資を運搬する車馬も多く、高石村は時ならぬ賑わいを見せ、一時的にせよ、地元へ経済効果をもたらし、1915年(大正4年)の町制施行に繋がったと思われます。(参考文献)高石市教育委員会「濱寺ロシア人俘虜収容所資料集」2007 正解 ③ロシア

郷土史研究委員 宇田川誠一

濱寺ロシア人俘虜収容所展を開催します!

期間：12月8日～平成23年1月30日 場所：図書館郷土資料室
※開館時間・休館日は図書館本館と同じ

なんでも高石学入門

設問

鎌倉時代から南北朝時代にかけて、芦田川の河口には中世の町が成立し、さまざまな物資が運び込まれ大いに栄えました。出土した遺物には、備前(びぜん)焼のすり鉢や瀬戸焼・常滑(とこなめ)焼の重などのほか、長崎産の石罫や中国大陸からもたらされた陶磁器などもありました。発掘されたその遺跡を何と言うでしょう？

- ①大田遺跡 ②伽羅橋遺跡 ③水源地遺跡 ④日明山遺跡

◎正解は次のページ

解説

正解 ②伽羅橋遺跡

伽羅橋(きゃらばし)遺跡は、1955年に発見され、平安後期や室町期の瓦や中世土器など多くの遺物が出土し、本格的な中世集落遺跡研究の先駆けとして調査が行われました。2001年の発掘調査では、芦田川の河口湊を中心とする都市的集落が確認され、13世紀初頭の鎌倉時代から14世紀前半の南北朝時代に栄えた港津都市としては、極めて貴重なものです。大鳥郷文書等で知られる「高石浦」「大鳥郷浦」に相当するものと考えられます。発掘された遺構には、幅6mの直線道路と23棟以上の堀立柱建物、20基以上の井戸などがあり、遺物には多くのカワラケや瓦器碗、備前焼、瀬戸焼、常滑焼のほか、中国からの青磁や白磁のような高価なものも含まれています。陶磁器の大半は、海上輸送をになう回船商人によって運びこまれたもので、港津都市としての伽羅橋遺跡の性格を象徴するものといえるでしょう。

(参考文献)同志社大学先史学会「伽羅橋遺跡調査報告書」1955・大阪府文化財研究センター「伽羅橋遺跡の発掘調査」2001 郷土史研究委員 堀内 和明

高石市立図書館利用状況

累 計 平成22年4月1日～平成23年3月31日

(開館日数 274 日 前年比 +2)

1. 全館個人利用統計

	利用者数 (前年比)	貸出冊数 (前年比)
一 般	77,016 (714)	173,164 (608)
児 童	22,072 (48)	110,056 (-1,002)
合 計	99,088 人 (762)	283,220 冊 (-394)

2. 全館団体利用統計

	利用団体数 (前年比)	貸出冊数 (前年比)
一 般	100 (-31)	1,000 (-211)
児 童	933 (-31)	10,985 (-1,051)
合 計	1,033 団体 (-62)	11,985 冊 (-1,262)

3. 本館個人利用統計

	利用者数 (前年比)	貸出冊数 (前年比)
一 般	69,176 (363)	155,353 (1,396)
児 童	19,239 (372)	95,225 (-2,056)
合 計	88,415 人 (735)	250,578 冊 (-660)

4. 本館団体利用統計

	利用団体数 (前年比)	貸出冊数 (前年比)
一 般	94 (-30)	948 (-213)
児 童	838 (-40)	8,712 (-769)
合 計	932 団体 (-70)	9,660 冊 (-982)

5. 分館個人利用統計

	利用者数 (前年比)	貸出冊数 (前年比)
一般	7,840 (351)	17,811 (-788)
児童	2,833 (-324)	14,831 (1,054)
合計	10,673 人 (27)	32,642 冊 (266)

6. 分館団体利用統計

	利用団体数 (前年比)	貸出冊数 (前年比)
一般	6 (-1)	52 (2)
児童	95 (9)	2,273 (-282)
合計	101 団体 (8)	2,325 冊 (-280)

7. 総 合 計

	利用者数 (前年比)	貸出冊数 (前年比)
一般	77,116 人 (683)	174,164 冊 (2,397)
児童	23,005 人 (17)	121,041 冊 (-2,053)
合計	100,121 人 (700)	295,205 冊 (344)

たかいし市民文化会館の事業

平成22年度 事業実績報告書（ホールその他）

年	月	日	公演名	施設	予算	結果	傾向と対策
22	4	7	スイス&高石プラス国際交流コンサート	大H	450	124	平日の演奏会ということもあり、観客動員につながらずアンケートでも動員に関する内容の回答が多かった。公演に関しては、満足いただき、またジョイントコンサートを御願する声が多かった。今後は吹奏楽が盛んな高石市内の各学校等にも広報活動を行い、集客につなげたい。
		10	ゆったりウィーク「My Dream Concerto」	小H	150	150	いつも、大ホール（中ホール仕様）で開催されるゆったりウィークだが、今回は小ホールでの開催。独唱・二重唱やピアノの連弾などの演奏が行われた。集客も予定通りだった。
		17	アブラ名画鑑賞会「さまよう刃」	大H	650	588	少年犯罪で被害者のやりきれない部分を考えさせられる映画で、お客様の声も最後のシーンに賛否両論の声が多かった。天候が良かったこともあり、当日券を購入頂いたお客様が多かった。
		17	Saturday Jazz Time Vol.82	小H	100	119	「昂」や「いとしのエリー」、後半は「ダイアナ」や「ヤングマン」といった幅広いジャンルの演奏を聞かせてくれた。お客様からも好評だった。
		24	アブラ 百緑ライブ「うたとも70年代」	ホワイエ	100	49	参加者全員に歌本を配り、観客に曲のリクエストとその曲にまつわるエピソードをインタビューで向う進行で実施したが、インタビューよりもたくさんのお歌を歌いたいという声が多かった。次回はリクエストを簡潔に取って、たくさん歌える進行内容で実施したい。
5		4	アブラ 百緑ライブ「世界の不思議楽器」	ホワイエ	100	14	WS参加者の来場もあり、一日をアブラホールで楽しんで頂くことができた。ただ、今までに開催したことがない音楽のジャンルだったので、来場者が少なかった。今後は、他の催事と連動したりしながら、更に広報に力を入れていきたい。
		3	びあの10トスタインウェイ試弾会	大H	100	112	第1回目ということで、来場者の大半が参加者の家族、友人、知人で一般来場者が少なかった。参加者、来場者からは、普段経験のできないステージでの演奏や、スタインウェイを弾ける事に満足いただいていた方が多かったので、一般来場者が多く来ていただけたらいいと思う。
		5	アブラ子供祭り「カールじいさんの空飛ぶ家」	大H	500	1220	11時からの上映会は朝早くから並びはじめ、家族連れの方が多く700名以上の来場者で賑わった。開場時目立った混乱もなくスムーズに進行し、たくさんのお客さんに楽しんでいただけた。午後の上映会は午前程多くはなかったが駅前広場の催しから来場いただいた方も多く、駅前広場とホールで連携した催しの運営が出来た。
		9	ゆったりウィーク「第3回たかいしフレッシュコンサート」	中H	150	138	高石市および周辺地域在住の新人演奏家の発表の場として、今後も高石市音楽家クラブの公募で毎年開催されることを期待したい。
		22	Saturday Jazz Time Vol.83	小H	100	126	「ルート66」等アメリカンポップスを中心に演奏。
		22	アブラ名画鑑賞会「オーシャンズ」	大H	800	650	いつもは会員の来場が中心だが、海の生物、生態を題材にした映画という事で、小中学生などいつも来場されない年齢層の方に来場いただいた。また、2階専門店の景品として提供した映画鑑賞券で来場いただいた保護者同伴の小さいお子様も多く、当日券購入の保護者も比較的いらっしやっただけで、今後の上映内容、企画の参考になった。
6		6	アブラ合唱祭	大H	600	650	例年、高石市合唱連盟が主体となって実施しているため、運営などもスムーズに行われた。来年も合唱連盟の自主性を尊重し、アブラホールが催事をバックアップするカタチで実施する。
		12	Saturday Jazz Time Vol.84	小H	100	94	映画音楽特集。いつも好評で100名を超えるが今回はまいり客足が伸びなかった。今後もアンケートを中心にリクエストなどリスナーの要望に応えたい。
		5	アブラ名画鑑賞会「ゆずり葉」	大H	800	1340	ろうあ者をテーマにした映画上映ということで、高石市医師会の協力をいただき招待券を1000枚配布。病院関係者、患者のご家族など、多くの方々に来場いただいた。また、高石市障害者作業所から、招待券でお越しの方、先着100名対象で作業所で作られたお菓子、入浴剤などの配布も高石市医師会の協力で行われた。
		13	アブラ 百緑ライブ「中国琵琶」	小H	100	93	天候が優れなかったにもかかわらず、予想に近い集客が得られた。初めて公演したジャンルだったが、お客様からも「大変良かった」「またお願いします」との声が多く、次回開催の手ごたえがあった。
		22	ゆったりウィーク「良やかモーニングコンサート」	ホワイエ	200	76	演奏者と近い距離でヴァイオリン、フルートの音色が聞ける事と、知っている曲が沢山演奏され聴きやすいとの声が多く、同じ様な企画を希望される声が多かった。
		29	マンデーシネマ「ココシャネル」	小H	200	153	名画鑑賞会とは違い、1階での買い物客や、ファッションに興味のある方の来場が多く、通常のイベント来場者とは違うお客様にアブラホールの周知、利用にアプローチ出来たと思う。映画の内容を検討し、次回開催を考えたいと思う。
7		3	アブラ百緑ライブ「ゆめ心地ギター」	ホワイエ	100	83	ギター奏者のわたなべゆうさんのロビーコンサート。初夏に聞く音楽を特集し、お客様には満足との回答が多かった。アブラホールでは、このような催事は初めての試み。集客に関しては、予想より少し下回ってしまったが、好評だった為宣伝方法を強化し、次回につなげたい。
		17	Saturday Jazz Time Vol.85	小H	100	108	ベシー&エリントン特集。先月（6月）のコンサート中に今月の特集を予告した為、今回も100人を上回る事が出来た。

平成22年度 事業実績報告書（ホールその他）

年	月	日	公演名	施設	予算	結果	傾向と対策
		23	ゆったりウィーク「たからものさがしだせ！」	大H	200	139	子ども向けのコンサートだった為、風船を舞台上に用意する等の工夫が好評化を得た。今後このようなコンセプトの演奏会では、低予算でも可能な照明効果などのアイデアをホール側からも出して、演出に少し協力できるものと思われる。
		25	高石市吹奏楽フェスティバル2010	大H	600	610	各出演団体の迫力ある息のあった演奏と、吹奏楽独特のパフォーマンスもあり多くのお客様に感動いただいた。音楽文化の盛んな高石市の毎年恒例イベントとして、成功をおさめた。今後も定期的に発表の場を設け、各合唱団のレベルアップにつながるようサポートする。来場頂いたお客様からも安い入場料でレベルの高い演奏を聞く事ができ、満足された声を多く頂いた。
		31	アブラ名国鑑賞会～特別上映会～「おとうと」(2回上映)	大H	800	890	上映内容が良かった為、本日だけで23名の新規会員獲得につながった。今後も定期的に話題作の上映での新規会員獲得へ繋げていきたい。ただ、会員の年齢層に偏りがあり20代から40代の客層に、アプローチ出来る内容を考えていきたい。
8		1	ゆったりウィーク「ピアノフェーレ・スペシャルサマーコンサート」	大H	200	254	大ホール平土間仕様で開催されたコンサートなので客席数に限りがあり、入場者数に反映されない部分があったとおもう。また、ホールでのチケット販売数が少ないので、今まで以上に館内・高石市内の広報に力を入れていく必要がある。
		21	Saturday Jazz Time Vol.86	小H	100	132	「ムーンライトセレナーデ」や「真珠の首飾り」等、スタンダードな演奏曲などが多かった為集客がいつもより少し増えた。かと言って、毎回このようなスタンダード曲を演奏することは、出来ない為今後の対策として、リクエスト特撮や他の権等とのコラボレーションを考えていきたい。
		28	アブラ名国鑑賞会～特別上映会～「ポルト」(2回上映)	大H	600	810	夏休み期間とアニメの上映会だったので、会員の方とお連れの子どもの入場可で開催。子ども連れの来場者が多くにぎやかな上映会になった。ただ、見込みよりも少ない来場者で夏休み最後の土曜日より一週早く開催してもよかったかもしれない。
		30	アブラご百線ライブ「うたととも」坂本九トリビュート」	ホワイエ	100	95	声を出して歌える事もあり、気持ちよく、楽しく参加いただいた方が多かった。今回で2回目だったが、前回よりもリエスト曲に知っている歌が多く、たくさん歌えたので「楽しかった」との声が多かった。
9	4・5		OSK日本歌劇団第3回高石チャリティ公演(3回公演)	中H	1200	1020	高石市民を明るく楽しくさせる会主催・アブラホール協力で、OSKチャリティ公演を開催した。3回公演で、「公演あたり400人という計算で高石市民を明るく楽しくさせる会と計画を練ったが、予想人数を下回った。今後の対策として、チケット販売箇所を増やす等の案が挙がった。が、公演自体はお客様も好評だった。
		12	東京プラススタイル アニソン☆プラスタ2010	大H	600	516	出演者とお客様が一体となり、盛り上がったコンサートとなった。来場者の大半が参加団体の保護者だったが、今回、置きチラシを録音、日本橋、天王寺橋、色々などところにお頼みし、アンケート回収後確認したところ、高石市以外からの来場者もあり、市外の方にアブラホールを周知出来た。
		17	ゆったりウィーク「ゆったりたっぷりクラシック Vol.5」	大H	200	30	「ゆったりたっぷりクラシックVol.5」を開催した。広報等も問題がなかったと思うが、地元のお客様の入場が少なかった。今後の対策として、音楽家クラブ様と当日券を積極的に（アブラたかいし1F・2F等で）販売していけばどうかと検討している。
		18	Saturday Jazz Time Vol.87	小H	100	93	「コーナーポケット」「トランペット・ブルース」等を演奏。いつも100人を超えるSaturday Jazz Time だが、予想人数を下回った。
		19	アブラご百線ライブ「音登夢デュオ～ハッピーコンサート」	ホワイエ	100	37	音登夢デュオ（・木村直子 ヴァイオリン・木村政雄 チェロ）のロビーコンサート。チェロの体験演奏や「見上げてごらん夜の星を」「ルパン三世のテーマ」等の演奏で大人から子供まで楽しめるコンサートだった。が、集客が伸びなかった。
		23	アブラ名国鑑賞会「ていがかんかん」(2回上映)	大H	600	748	当日朝、天候が優れず動員の心配があったが、開演前には雨もやみ、動員としては、通常と変わらなかった。今年の夏に上映された映画だったので、30代の来場者も多く、チケット入場者の大半が30代だった。
		26	第2回 アブラニューウェーブコンサート	大H	600	616	高石市合唱連盟の加盟団体がアブラホールでの公演を主体に結成したアブラフィルハーモニー合唱団の本公演。アブラホールで文化芸術を育み、発信するものとして実施。合唱の盛んな高石市のイベントとして広く周知もでき、成功をおさめた。今後も定期的に発表の場を設けて、アブラフィルハーモニー合唱団および各合唱団のレベルアップにつながるようサポートする。
10		11	名国鑑賞会「アリス イン ワンダーランド」(2回上映)	大H	600	433	最近上映された人気の映画だったが、連休中、体育の日と言う事もあり観客動員につながらなかった。
		16	Saturday Jazz Time Vol.88	小H	100	97	「Just The Way You Are」「Super Star」「渚のアデーレ」などを演奏。先月に引き続き、100名を下回る入場者数であった。
		17	アブラ 百線ライブ「あぶらくご」	小H	100	95	来場者からは、3人とも若手ですがとても面白く来ていただきたいとの声が多かった。前売開始前半は売行きが良くなかったが、高石駅周辺、堺町周辺のマンションや団地にチラシのポスティングを行い、なんと100人近い来場者になった。落語、漫才などの催しが少ないためか次回も希望の声が多かった。
		25	アブラ文化まつり	大H		384	昭和の時代をテーマに、ターゲットを団塊の世代にしぼり、石原裕次郎の映画と懐メロを会場のおさんで歌うという内容。高石市福祉協議会、高石都市開発、高石老人クラブ等に協力を得て、事前に整理券を600枚配布。当日、残念ながら天候が悪く、事前配布200名程、一般180名程だったが、来場者の方からの評判は良かった。
		30	ゆったりウィーク「ジュエルボックスコンサート」	大H	200	106	若手の声楽家によるヴォーカルコンサート。集客は予想の半数程度にとどまってしまった。

平成22年度 事業実績報告書 (ホールその他)

年	月	日	公演名	施設	予想	結果	傾向と対策	
11	6		ゆったりウィーク「オータムコンサート」	大H	200	111	神戸女学院大学音楽学部卒業の同期生5人によるコンサート。	39
		13	名画鑑賞会「シェーン」(2回上映)	大H	600	564	7月の上映会でリクエスト累計したところ一番人気だった映画で、洋画上映としては集客も多く、お客様からも「大変よかった」との声が多かった。	40
		13	アブラ ご百緑ライブ「うたとも♪～コーラスしましょう～」	ホワイエ	100	33	「うたとも♪」としては、初めての夕方17時半開演ということもあってか、集客にはつながりにくかったように思われる。	41
		13・14	MOA美術館	ギャラリー	400	1,131	毎年恒例のMOA美術館の協力により、開催。今回、アブラホールMOA美術館協力し合い、広報等に力を入れた結果、集客につながった。今後も、ギャラリー活性化の為続けていきたい事業のひとつである。	42
		20	Saturday Jazz Time Vol.89	小H	100	96	「Manbo No.5」「Trumpet Cha Cha」「Malaguena」などを演奏。	43
12	4		なにわのジャズの物語	大H		182	毎月開催しているアブラ Saturday Jazz Time のスイングサイズオーケストラの協力で、関西の有名ジャズマン(古谷充や大塚善章等)の共演！客席の一部を平土間にし、ドリンクを楽しみながらジャズを聴くという企画は来場者の方から大変好評だった。	44
		11	Saturday Jazz Time Vol.90	小H	100	86	12月の開催ということもあり、「Jingle Bell Jazz」や「Winter Wonderland」などクリスマスソング特集を開催。	45
		11	名画鑑賞会「素晴らしき哉、人生！」(2回上映)	大H	600	557	お客様からのクレームで、ホール内の空調に問題があり、今回は、寒かったため上映終了後に「寒かった」との声が多かった。上映開始から1時間ほど経過してから、温度をあげるようお願いしたが、大ホールなので急に温度があがらなかった。	46
		19	クリスマス ミニコンサート(ジュニアコーラスひびき)	1F特設会場			1階の駅側エレベーター前に特設ステージを設け、約20名の子どもたちにコーラスを披露してもらった。足をとめてくれる買い物中のお客様もいて、多くの方々に見て頂くことが出来たと思う。	47
		20	クリスマス ロックインナイト(CRUSH)	ホワイエ		83		48
		21	クリスマス ゴスペルナイト(AGC)	ホワイエ		56		49
		22	クリスマス バラードナイト(西浦 葉々)	大ホワイエ		121		50
		23	クリスマス ファミリーコンサート(リコーダアンサンブル・フルーテの会)	大H		285		51
		24	クリスマス ハンドベルコンサート(ホープハンドベルクワイヤー)	大ホワイエ		59		52
		24	ゆったりウィーク「クリスマスコンサート」	大H	250	145		53
		25	アブラ ご百緑ライブ「メリーモーニングコンサート」	小H	100	135		54
			クリスマスイルミネーション	駅前広場				55
		23	アブラ キャンドルナイト	駅前広場				56
23	1	8	アブラ名画鑑賞会「オーケストラ！」(2回上映)	大H	600	534	前回の上映会でホール内が寒いというクレームが多かったことから、開場前、開場時、上映時に確認し問題なく終了した。作品については話題の感動作ということから好評であった。	57
		8	アブラ Saturday Jazz Time Vol.91	小H	100	69	毎年、正月公演は古き良き日本の名曲を演奏しており、パターン化されてきているが、ビッグバンドでの演奏は珍しいので来年も続けてほしい。	58
		15	第56回 南海 NEW YEAR コンサート	大H	500	514	大阪フィルハーモニー会員の来場のほか、市外からの来場者が多く、広くアブラホール周知いただけたいと思う。しかし、市内からの来場者が予想より少なく今後のPRや動員方法について検討する必要がある。	59
		16	アブラ ご百緑ライブ「新春！お年玉！お笑いライブ」	大H	500	488	大阪では誰もが知っているお笑い芸人と歌手の来場だったが、思っていた入場者にはならなかった。市内広報掲示板、ポスティング、広報たかし掲載、館内ポスター掲出以外の広報検討が必要かと思う。入場いただいた方からは、とても面白い催しと言う事だったので市民の方々に知っていただく(新聞掲載)などの広報に努めたいと思う。	60
		21	ゆったりウィーク「ニューイヤーコンサート」	大H	200	196	ワンコインでかなり充実の内容だった。出演者が多かったこともあるが、榎本先生の特別出演によるオーボエ演奏もあり、アンケートでも「500円でかなりお得した」「満足の内容でした」との声が多かった。ただ、大ホール使用で200名の入場者と今回も来場者数につながりなく残念だった。	61
		23	TAKAISHI OMATSURI TAP 2010 打鼓	大H	400	404	アンケートからは、「今回のステージは良かった」との声が多く聞かれ生徒達の練習の成果が良い形で発表出来た良かった。さらに生徒数を増やすことを狙い「こどもスマイル」でタップのワークショップの開催を検討する。	62
		30	びあの10」スタインウェイ リレーコンサート	大H	100	113	申込者の方が、高槻市、八尾市、和歌山県橋本市など遠方の方が前回の開催時よりも多く、広く周知が出来たと思う。また、入場者数も多く、親客の前で演奏する緊張感と楽しさが体感いただけた。申込者からは「来年も是非参加したい」との声が多かった。	63

別紙参照

平成22年度 事業実績報告書（ホールその他）

年	月	日	公演名	施設	予想	結果	傾向と対策
2		5	アブラ名国鑑賞会「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」(2回上映)	大H	600	820	邦画の上映ということで、たくさんのお客様に会場いただいた。一般売りチケット入場者は40名あり、年齢層も30、40代の若い世代にも来場していただいた。笑いあり、涙ありの作品で、「田舎の風景を見て幼少期を思い出す」と好評であった。
		7	ゆったりウィーク「バレンタインによせて～愛～」	大ホワイエ	200	102	お茶、お菓子付きのコンサートはいつも多くの入場者であり、今回も多くの方に入場いただいた。
		11~20	アブラ鉄道フェスティバル	大H		5858	当初の計画では、仕事終わりのサラリーマンの来場を予想し平日の開催時間を13:00から21:00に決定した。実際は近隣の子ども連れのお母さんの来場者が大半で、18:00から21:00の来場者は100人程度となり、会社帰りの来場者は、10人程だった。また、鉄道マニアの来場者も予想に反して少なかった。要因としては、鉄道マニアが楽しめる走行体験コーナーでの、待込走行可能の告知が出来ていなかった事が来場につながらなかったと考えられる。しかし、ファミリー層の来場者からは、子どもが楽しめる、ぬり絵、走行体験、プラレールコーナーがあることから、次回の開催希望の声が多く聞かれた。天候に恵まれない日も数日あり目標来場者には達しなかったが、高石市内、市外の多くのファミリー層がアブラたかひしに来館いただき、周知につながった。
		19	アブラ Saturday Jazz Time Vol.92	小H	100	107	前売券の販売数が少なく集客が心配されていたが、当日券で40名を超え、100名を上回った。前売・当日が同料金であり、当日の気候に左右されやすい催しであることがよくわかった。
3		13	アブラ名国鑑賞会「春との旅」(2回上映)	大H	600	680	東北地方大太平洋沖地震の影響で観客動員の減少が懸念されたが、まずまずの結果となった。「感動で涙が止まりませんでした。」「いい映画をありがとうございます。」など、お客様からは好評を頂いた。
		19	アブラ Saturday Jazz Time Vol.93	小H	100	85	今回93回目となり、演奏曲もマンネリ化しているが、少しずつ違うジャンルの曲に挑戦するなど、工夫はされている。しかし、演奏予定や特集内容などの告知する情報がないため広報にも限度があり、本年度こそは演奏計画を立ててもらい分かりやすい広報で100名を超える集客をキープさせたいと思う。なお本日は出演者の意向により、東日本大震災チャリティコンサートとして開催（収益は日本赤十字を通じて寄付すること）され、受付には義援金をつのる募金箱が設置された。
		20	アブラ ご百練ライブ「うたとも♪～花ごころ歌ごころ」	大ホワイエ	100	56	最後の曲『今日の日はさようなら』を歌い終わった後、東日本大震災被災者のみなさんに対する思いで涙ぐむ出演者や参加者であったが、「希望を持って生きて行きましょう」との言葉に全員で拍手し、感動的な終演となった。
		27	ゆったりウィーク「スプリングコンサート」	小H	200	40	観客動員は40名と厳しい結果となった。平成23年度の開催に向けて、高石市音楽家クラブと広報・内容等の検討を行う。
		27	市民ミュージカル劇団アブラ 第8回定期公演「駄菓子屋エンジェル」	大H	800	793	今回も前年の運営体制を引継ぎ、当日朝から整理券を配布。昨年よりも運営人員体制がしっかりしていたこともあり、スムーズな開場が出来た。今年の活動開始当初は、劇団員が少なかったが、ワークショップの開催により新しい劇団員が増え、大きなエネルギーとなり発表が出来た。また、劇団員が増えたことにより昨年よりも多い観客動員だった。ワークショップの実施が観客動員に大きな影響を生んだと思われる。

19,950 27,494